

令和2年度南部圏域課題解決プラン

実施結果及び評価



1 強靱・安心を実現する地域づくり

(1) 強く・しなやかな地域社会の構築

【プラン1】すべての命を守り・つなぐソフト対策の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 地域防災を担う人材の育成	イ 関係機関との連携・協働による防災訓練等の実施
ウ 災害に備えた応援体制の充実	エ 災害時を見据えた健康な地域づくり
オ 要配慮者支援対策の推進	カ 災害医療力の強化
キ 山地災害の危険性の高い地域の調査や点検の実施	ク 効果的な住民避難に繋げる「洪水浸水想定区域図」の活用
ケ 水位周知河川の「洪水タイムライン」の活用	コ ファミリータイムラインの作成
サ 避難行動促進のための水位情報の発信	シ 土砂災害警戒区域に関する情報の周知
ス 地域におけるきめ細やかな雨量情報を提供	セ BCP（事業継続計画）の策定・実践力向上

プラン評価	順調	
<p>事務局所見</p>		<p>「迎え撃つ！防災減災県南プログラム」に基づき、市町との指揮機関訓練の実施などにより防災関係機関との連携強化を図るとともに、「とくしまー0(ゼロ)作戦」防災出前講座・「まなぼうさい教室」等や、防災旬間事業における避難所開設運営訓練の実施などにより地域住民への防災教育・啓発に取り組んだことで、地域防災力の強化が図られた。</p> <p>要配慮者支援対策としては、個別避難計画策定支援のための対策担当者会議の開催により、災害発生時における要配慮者の円滑な避難に対する理解が深まった。</p> <p>災害医療力強化のため、医療救護活動訓練等への参加・支援を行うとともに南部圏域の災害時コーディネーター等を集めた研修会・調整会議を開催することにより、災害時コーディネーターを中心とした連携強化を図り、災害時医療救護体制の向上が図られた。</p> <p>また、山地に起因する災害から地域住民の生命及び財産を守るため、災害情報を収集する山地防災ヘルパーを新たに2名追加し、災害危険箇所などの調査・点検パトロールを実施した。</p> <p>水位周知河川(6河川)においては、策定した「洪水浸水想定区域図」、「洪水タイムライン」を周知することにより、住民の避難意識の醸成を図るとともに、防災機関がそれらを活用することにより、地域における防災活動の迅速化など、災害対応能力の向上が図られた。</p> <p>さらに、指定を完了した土砂災害警戒区域に関する情報を広く住民に周知することにより、住民の土砂災害の危険性に対する認識の向上につながった。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
小・中・高校生を対象にした防災講座等実施回数 '17) 34回 → '22) 40回以上	34回	40回以上 53回	40回以上 40回	40回以上	40回以上	◎
医療救護活動訓練の実施市町数 '17) - → '22) 2市町	-	2市町 2市町	2市町 2市町	2市町	2市町	◎
災害の危険性が高い山地災害危険地区の調査・点検パトロールの実施箇所数 '17) 61箇所 → '22) 60箇所	61箇所	60箇所 72箇所	60箇所 84箇所	60箇所	60箇所	◎
山地防災ヘルパーの認定者数(累計) '17) 36人 → '22) 45人	36人	41人 41人	43人 43人	45人	45人	◎
全ての水位周知河川における「洪水浸水想定区域図」の策定(累計) '17) - → '19) 6河川	-	6河川 6河川	- -	- -	- -	-
全ての水位周知河川における「洪水タイムライン」の策定(累計) '17) 1河川 → '19) 6河川	1河川	6河川 6河川	- -	- -	- -	-
ファミリータイムラインの作成(累計) '17) - → '20) 3地区	-	1地区 1地区	3地区 3地区	-	-	◎
危機管理型水位計の整備(累計) '17) - → '20) 18箇所	-	9箇所 9箇所	18箇所 18箇所	-	-	◎
土砂災害警戒区域の指定率(累計) '17) 53.3% → '19) 100%	53.30%	100% 100%	- -	- -	- -	-
マイナンバーカード利用によるPHR(Personal Health Record)の活用推進 '17) - → '22) 推進	-	推進 推進	→	→	→	-

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 切迫する南海トラフ巨大地震や頻発・激甚化する風水害に備えるため、これまでの教訓を踏まえながら、避難力の向上や女性・要配慮者への配慮を含む避難生活におけるQOLの向上、防災教育・啓発、各種防災訓練など、「迎え撃つ！防災減災県南プログラム」を着実に推進し、防災減災対策の強化を図る。 (ア, イ, ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 防災出前講座（実施回数61回、受講者数2,299人）の実施や、防災訓練の支援など防災教育・啓発の取組を行った。 また、複合災害に対応した避難力や避難生活の向上の取組として、避難所開設運営訓練（美波町・牟岐町・海陽町）、避難所運営ゲーム（HUG）の実施などを行ったほか、市町と連携した市町指揮機関訓練などの防災訓練を実施した。 ■成果 防災出前講座の実施などの取組により「迎え撃つ！防災減災県南プログラム」が推進され、防災減災対策の強化につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策②】 災害時の「防災拠点」として、また平時は防災啓発を行うなど、地域住民の防災意識の高揚や防災知識の普及活動の場として、南部防災館の利活用を図る。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 南部防災館での防災講座及び防災館職員が南部圏域内にて出前講座（実施回数57回、受講者数1,589人）等を実施した。 ■成果 防災講座等の実施により、地域住民の防災意識の高揚や防災知識の普及につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策③】 巨大地震による津波被害を軽減する海岸防災林について、県南地域の住民との協働による保護・管理活動を実施する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 海陽町「大里松原」の海岸防災林において、海陽中学校生や地元住民、海部森林組合などと協働・連携して、クロマツ植樹による海岸林を造成し、保護・管理活動を実施した（R3.2.12、59人参加）。 ■成果 海岸防災林の保護・管理活動の実施により、海岸防災林の整備が推進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策④】 専門知識を有する人材や県職員が講師となり、次世代の防災を担う人材の育成や自主防災組織活動の活性化のため、学校や地域、自主防災組織を対象とした、防災教育・防災啓発を実施する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 南部圏域の小・中・高校生を対象とした防災出前講座の開催（実施回数40回）など、学校、自主防災組織等に県職員を講師として派遣し、防災教育・防災啓発を行った。 また、「家庭で学べる防災」の取組としてパンフレットの作成及びそれをもとにした防災出前講座を行った。 ■成果 防災出前講座（まなぼうさい教室）等の開催により、次世代を担う人材育成につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑤】 南部圏域内で開催される各種イベントにおいて、防災減災の要素を加えるなど、様々な場を活用し、広く防災教育・防災啓発を行う。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 コロナ禍における防災教育の機会創出のため、「家庭で学べる防災」の取組として南部圏域内の小中学生にパンフレットを配布するとともにパンフレットの内容を深めるための動画配信をした。</p> <p>■成果 学校や家庭など様々な場で防災教育・防災啓発を進めることができた。</p> <p>■新型コロナの影響 各種イベントの中止や延期により、防災ブース等の出展ができなかった。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑥】 防災関係機関と連携した実践的な防災訓練の展開や、市町・地域、事業所等が実施する各種防災訓練への参加・支援を通じ、南部地域の防災力向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部圏域内の防災関係機関と連携し、市町指揮機関訓練（図上訓練や勉強会）を阿南市・那賀町・美波町・牟岐町において実施したほか、学校等（阿南高専や日和佐こども園）が行う防災訓練の支援などを実施した。</p> <p>■成果 防災関係機関と連携した実践的な訓練の実施等により、南部地域における防災力向上を推進できた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑦】 多くの地域住民にとって防災減災を考える機会となるよう、様々な展示・体験を用意した防災イベントを防災関係機関と連携し実施する。</p> <p style="text-align: right;">(ア、イ)</p>	<p>■令和2年度取組 「防災旬間事業」においては、市町・自衛隊・気象台などの防災機関が連携し、美波町、牟岐町及び海陽町において避難所開設運営訓練を実施した。</p> <p>■成果 美波町、牟岐町及び海陽町での避難所開設運営訓練には、民生委員や地域住民等延べ200名程度が参加し、地域住民の防災減災を考える機会の創出ができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑧】 休日等勤務時間外における緊急事態や災害発生時の応急対応のため、配備編成計画の作成、初動要員及び市町派遣職員の指定を行うとともに、研修の実施等、職員の災害対応力向上に努める。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 休日等勤務時間外の災害等の対応については、配備編成計画の策定を行い、初期体制を構築するための幹部職員参集要領を定めている。 また、応急対応のための特別初動要員として23名、市町との連絡調整を行う市町派遣職員として40名の職員に対して指定を行い、職員に対しては研修等を行った。</p> <p>■成果 指定職員への研修等により、職員の災害対応能力向上につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑨】 非常時における防災関係機関等との円滑な情報共有のため、衛星携帯電話など通信端末の整備による、通信手段の複数化や、災害時情報共有システムの有効活用など、情報連絡体制を充実させる。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 非常時における防災関係機関との情報共有のため ・衛星携帯電話 ・デジタル無線機（電話・メール） ・衛星系防災行政無線（電話・FAX・インターネット） などを整備し、通信手段の複数化を構築している。 また、台風等の災害発生時においては災害時情報共有システムを活用した情報共有の取組を行うとともに、災害時に使用する地図が関係機関でバラバラであったため、これを統一させるためにUTMグリッド地図の活用を図っている。 ■成果 防災関係機関等との円滑な情報活用に取り組んでいる。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑩】 出前講座や市町等との実践訓練を通じて、平時からの健康づくりや快適なトイレ環境とエコノミークラス症候群予防等を併せた「健康避難生活」の普及啓発を図る。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 医療救護活動訓練の実施等に併せ、「健康避難生活」の普及啓発を行った。 ■成果 普及啓発により、関係機関等へ情報提供ができた。 ■新型コロナの影響 研修会は中止。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑪】 災害発生時の避難の際に配慮を要する避難行動要支援者の個別の避難を支援する「個別避難計画」の策定を推進するため、管内5市町と連携し、要配慮者対策会議等を開催し、市町の個別計画策定を支援する。 また、市町等との実践訓練を通じて、災害時における高齢者や母子、障がい者などの要配慮者にやさしい避難所の設置・運営を推進する。 (オ)</p>	<p>■令和2年度取組 管内市町の「個別避難計画」策定を支援するため、「南部圏域災害時要配慮者対策担当者会議」を開催した。 ■成果 個別避難計画策定に向けた課題や効果的な手法についての情報共有が図られた。 また、市と連携し、避難所開設運営訓練を通じて、避難所運営における感染症対策について関係職員に対する啓発を実施した。 ■新型コロナの影響 要配慮者対策会議、一般避難所研修会及び福祉避難所研修会は中止した。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部

主要施策・主要事業	令和2（20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑫】 災害時要配慮者を地域ぐるみで支えるため、在宅等で避難生活を送る要配慮者に対し、発災初期から支援者同士の連携が円滑に進むよう、平時から保健・医療・福祉分野のネットワークを構築するとともに、若年層を中心として広く要配慮者の支援方法等の普及啓発を行うことにより、地域の支援力の向上を図る。</p> <p>(オ)</p>	<p>■令和2年度取組 研修会等の場において、感染症対策を含めた情報提供を行い、要配慮者への支援方法等について協議・検討を行った。</p> <p>■成果 保健・医療・福祉分野の関係機関と、顔の見える連携が図られた。</p> <p>■新型コロナの影響 小児在宅医療に関する研修会を開催予定であったが、中止とした。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑬】 災害発生時に被災者に適切な治療や医薬品の提供を行うため、マイナンバーカード利用による個人の医療・健康等データ（PHR：Personal Health Record）を活用できる仕組みの構築を推進する。</p> <p>(オ)</p>	<p>■令和2年度取組 令和3年10月までに本格運用開始を予定しているマイナンバーカードの「健康保険証利用」を見据え、さらなるカードの取得促進を図るため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「徳島県版プレミアムポイント事業」 ・市町村共同での「マイナンバーカード普及促進キャンペーン」 ・新聞広告、ラジオCMによる周知・広報などに取り組んだ。 <p>■成果 マイナンバーカード交付実績（県内） R元年度末：95,920枚（12.8%）→R2年度末：222,675枚（30.0%）</p>	B	デジタルとくしま 推進課
<p>【施策⑭】 災害時コーディネーターを中心に、災害拠点病院などの医療機関と連携した訓練を実施するとともに、市町に設置される医療救護所と関係機関との医療救護活動における連携体制の強化を図る。</p> <p>(カ)</p>	<p>■令和2年度取組 医療救護活動訓練等への参加・支援を行い、災害時の医療救護体制の向上に努めた。</p> <p>また、南部圏域の災害時コーディネーター等集めた研修会、調整会議等を開催し、連携強化を図った。</p> <p>■成果 訓練を通じ、災害対応能力の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑮】 台風豪雨やゲリラ豪雨による土砂災害から生命・財産を守るため、治山施設や地すべり防止施設等を整備するとともに、山地災害の危険性が高い地域の調査やパトロールを実施し、人的災害ゼロを目指す。</p> <p>(キ)</p>	<p>■令和2年度取組 近年、台風による集中豪雨や線状降水帯による豪雨が頻発していることから、災害時要配慮者施設（幼稚園・老人ホーム等）に隣接する地域や山地に起因する災害が発生した地区などを重点的に調査・点検し、併せて地域住民への啓発活動を行った。</p> <p>■成果 山地災害危険地区等の調査を、美波管内28箇所、那賀管内56箇所、計84箇所で行った。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑯】 山地災害に関する情報収集の迅速化や地域住民に対する防災啓発を推進するため、地域に密着した山地防災ヘルパーの認定を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(キ)</p>	<p>■令和2年度実取組 5月20日～6月30日の「徳島県山地災害防止キャンペーン」期間中において、山地防災ヘルパーと共に山地災害危険地区のパトロールを実施した。</p> <p>■成果 山地に起因する災害情報や情報収集をより迅速化し、地域に密着した山地防災ヘルパーを新たに2名（美波管内1名・那賀管内1名）認定した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑰】 水位周知河川で策定した「洪水浸水想定区域図」の周知や活用により、住民の避難意識の醸成を図るとともに、適切な避難場所の設定や円滑かつ迅速な避難のための措置を講じ、一層効果的な住民避難に努める。</p> <p style="text-align: right;">(ク)</p>	<p>■令和2年度取組 策定した「洪水浸水想定区域図」の周知に努めるとともに、市町村が作成するハザードマップ作成の支援を行った。</p> <p>■成果 平時から洪水に備える避難意識の醸成が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑱】 策定した「洪水タイムライン」を流域住民に周知を図り、安全かつ確実な避難行動へ繋げるとともに、防災機関が活用し、地域における防災活動の迅速化など、災害対応能力の向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ケ)</p>	<p>令和2年度取組 策定した「洪水タイムライン」の周知に努めるとともに、関係防災機関と時系列ごとに取りべき災害対応の確認を行った。</p> <p>■成果 災害時における関係防災機関との連携体制が強化された。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑲】 住民の避難行動を促し、人的被害の軽減を図る水位情報を発信するため、最新のIoTを活用した危機管理型水位計を設置し、河川の水位監視体制の強化を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(サ)</p>	<p>■令和2年度取組 危機管理型水位計を9箇所設置した。（阿南管内4箇所、那賀管内1箇所、美波管内4箇所）</p> <p>■成果 河川の水位監視体制の強化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑳】 「平成30年7月豪雨」や「令和元年台風第19号」による未曾有の大水害を受け、洪水からの「逃げ遅れゼロ」社会の実現に向けた避難意識の醸成を図るため、「ファミリータイムライン作成」の支援を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(コ)</p>	<p>■令和2年度取組 穴喰川の穴喰地区、海部川の海部・海南地区において、「ファミリータイムライン作成」勉強会を開催した。</p> <p>■成果 平時から洪水に備える避難意識の醸成が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑳】 土砂災害による被害から生命・財産を守るため、土砂災害警戒区域に関する情報を広く地域住民等に対して周知するとともに、きめ細やかな雨量情報を提供するIoT雨量計の設置を推進する。 (シ、ス)</p>	<p>■令和2年度取組 IoT雨量計を19箇所設置した。（阿南管内7箇所、那賀管内5箇所、美波管内7箇所） ■成果 局地的集中豪雨等の事前準備として、きめ細やかな雨量情報の提供に寄与し、地域住民の安心・安全に役立てられた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策㉑】 南海トラフ巨大地震による津波災害から農業の早期復興を図るため、管内土地改良区やJAによる「農業版BCP」の実践力向上の取組みを支援する。 (セ)</p>	<p>■令和2年度取組 令和2年12月9日及び23日に、「南部地域農業版BCPに係る研修会」を開催し、農業版BCPの内容の周知を行うとともに、東日本大震災からの復興に関するDVDの上映を行った。 ■成果 農業版BCPに関する知識や、防災意識の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農林水産総合技術 支援センター 農山漁村振興課
<p>【施策㉒】 大規模災害時における橘港の機能継続計画（港湾BCP）（H27策定）、大規模災害時における浅川港の機能継続計画（港湾BCP）（H30策定）に基づき、平素から関係者相互の連絡系統の確立や継続的な活動を行う。 (セ)</p>	<p>■令和2年度取組 浅川港においては、港湾BCPの策定後、関係者相互の連絡体制の確立や継続的な活動を行うための協議会（R2.8）を発足した。 ■成果 港湾BCP（機能継続計画）の実効性が向上した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策㉓】 県内企業における災害時のBCP（事業継続計画）について、大学や商工団体等と連携した研修・指導や認証制度の運用等により、策定を促進する。 (セ)</p>	<p>■令和2年度取組 商工団体の相談支援体制（徳島経済産業会館内にある「とくしまBCP支援センター」）を充実させるとともに、より一層の連携のもと、BCP策定相談や防災対策のための融資制度の紹介などを行った。 また、新型コロナウイルス感染症に対応したBCP研修の実施等普及啓発に取り組むとともに、「徳島県企業BCP認定制度」について、引き続き制度の運用を行い、県内企業におけるBCPの策定を促進した。 ■成果 2社認定</p>	A	商工政策課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●防災に対する共通理解を深め、有事の際の避難行動などに生かすため、「広報あなん」を活用し、様々な情報を提供する。また、地元自主防災会での防災訓練、防災講座等に参加し、防災意識の高揚を支援するとともに、訓練・講座等の実施に際し、補助金を交付する。</p> <p>●自主防災組織の組織率100%を目指す。また、公民館を単位とした市内14地区に自主防災会連合会を結成し、各地域の自主防災組織間の連携を図り、地域の防災力の向上を図る。</p> <p>●地域防災計画やハザードマップ等に基づき、多種多様な災害に対応した総合的かつより有効な防災体制の確立を図る。また、社会・経済の変化に即し、消防体制、救急・救助体制の充実強化や、住民一人ひとりの防火・防災意識の高揚による予防対策の充実に努め、安全・安心で災害に強いまちづくりを目指す。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の防災訓練、防災講座への参加。 ・自主防災組織育成事業補助金の交付。 ・広報紙への防災情報の掲載。 ・土砂災害ハザードマップの改訂。 ・洪水ハザードマップの作成。（令和3年度完了予定） <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の防災訓練5回、防災講座5回。訓練参加等により、住民の防災に対する意識の高揚が図られた。 ・自主防災組織育成事業補助金の交付実績63組織、補助額470,000円 ・住民参加による防災活動の推進を図り、地域の自発的な防災活動を支援した。 <p>令和3年3月31日現在 自主防災会238組織（うち2年度結成3組織） 組織率98.55%</p>	阿南市
<p>●自主防災組織の結成率を上げるとともに、避難訓練をそれぞれの組織で実施することで、地域の防災力強化を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>毎年、自主防災組織訓練を各地区毎に実施していたが、コロナ禍のため、一部地域のみの実施となった。活動を続けることが共助の大きな力となるので、今後もコロナ対応を考えながら、訓練・活動を実施していきたい。</p> <p>■成果</p> <p>活動を続けることで、地域の防災力強化につながっている。</p>	那賀町
<p>●防災活動のリーダー、担い手を育成し、自主防災組織をはじめ各種団体との連携による防災体制の強化を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>地域防災推進員養成研修の受講案内と自主防災組織に周知するとともに自主防災会・民生委員・防災サークルなどで安全な避難路の検討を目的としたワークショップを開催した。</p> <p>■成果</p> <p>防災意識の高揚や防災知識の普及につながった。</p>	牟岐町
<p>●自主防災会の充実、活性化の取組みに対して支援するため、徳島大学地域づくりセンターと連携し、地域に応じた防災活動の普及啓発を図る。</p> <p>●徳島県が発表した想定最大規模の洪水浸水想定による日和佐川ハザードマップの作成、町業務継続計画（BCP）、受援計画の策定等の推進を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島大学地域づくりセンターと連携し、地域の防災力向上に向けて、自主防災会の活動支援や防災活動の普及などを実施した。 ・日和佐川洪水ハザードマップの改訂、土砂災害ハザードマップの作成、業務継続計画（BCP）の改訂、受援計画の策定を行った。 <p>■成果</p> <p>地域及び町の防災力が向上した。</p>	美波町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●住民・自主防災組織等を対象にした防災講座や防災訓練の実施、小中学校での防災教育等防災意識の高揚及び防災知識の普及活動を行う。</p> <p>●徳島県津波浸水想定を受けたハザードマップの作成，地域防災計画，町業務継続計画（BCP）の策定・運用を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 自主防災組織を対象に海部川，宍喰川ファミリータイムラインワークショップを開催（11月）。津波避難訓練，避難所開設運営訓練の開催（12月）。南部防災館と連携した小中学校への出前講座。</p> <p>■成果 ワークショップで水位の上昇により事前に自身や家族がとるべき行動を再確認したことで，素早い行動への意識づけができた。訓練や講座により子どもから大人まで防災への関心を深めることができた。</p> <p>■令和2年度取組 新たに防災のしおりとともにハザードマップを改訂し，6月に各個へ配布。3月に防災会議を開催し，地域防災計画の一部を修正。</p> <p>■成果 改訂後の防災のしおりやハザードマップを確認していただくことにより最新の内容を再確認することで，あらためて防災意識の向上を図ることができた。地域防災計画でR2年度内に修正の必要があった臨時情報に関する内容を追加することができた。</p>	<p>海陽町</p>

【プラン2】あらゆる自然災害を迎え撃つハード対策の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 避難場所や避難路の整備	イ 山地災害の未然防止対策
ウ 緊急輸送道路等の整備・倒木対策	エ 河川・海岸堤防等の地震・津波対策
オ 河川における浸水対策の推進	カ 海部川モデルの推進
キ 長安ロダムの本体改造の完成及び長期的堆砂対策の促進	ク 宍喰地区地域防災公園やそのアクセス道路の整備
ケ IoT・AI等を活用した戦略的なインフラのメンテナンス	

プラン評価	順調
事務局所見	<p>津波浸水被害の想定される沿岸部でのがけ崩れ対策と併せ、避難路を整備したほか、生命線道路等における事前伐採による倒木災害の未然防止、緊急輸送道路の整備等を推進した。</p> <p>長安ロダムの「長期的堆砂対策」については、貯水池機能を将来にわたり確保するため、継続して検討が進められた。また、豪雨による洪水被害から県民を守る予防的な治水事業として、那賀川の加茂地区と和食・土佐地区において、洪水を安全に流すための築堤が完成した。</p> <p>海部川においては、河川堆積土砂の総合対策を実施するなどハード対策を推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
那賀川加茂地区、和食・土佐地区の築堤整備の促進 '17 工事施工中 → '20 完成	工事施工中	促進	完成			◎
長安ロダムの本体改造の促進 '17 工事施工中 → '19 完成	工事施工中	完成	—			—
長安ロダムの長期的堆砂対策の促進 '17 事業着手 → '22 工事促進中	事業着手	促進				—

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
【施策①】 津波避難困難地域解消のため、津波浸水被害の想定される沿岸部での「がけ崩れ対策」と併せ、避難場所・避難路の整備や砂防施設（管理道や作業ヤード等）を活用した避難場所等の創出を推進する。また、地震や台風による災害からの避難場所を確保する。 (ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和2年度取組 「がけ崩れ対策」と併せた避難路を1箇所整備した。 ■ 成果 避難路の整備により、避難場所等が確保された。 	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 那賀川や海部川など上流域における森林の公益的機能の維持増進を目的とした治山事業を推進する</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から地域住民の生命・財産の保全を図る重要な国土保全政策となっていることから、山地において発生した崩壊地や荒廃溪流の復旧整備などを行った。</p> <p>■成果 治山事業を美波管内3箇所、那賀管内14箇所、計17箇所において実施し、森林の維持造成に努めた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 孤立集落の発生を防ぐため、倒木対策協議会（平成26年度設置）を通じ、生命線道路や緊急輸送道路において、台風や大雪等による倒木を防ぐ事前伐採を実施する。 また、発災時に緊急輸送路等の補完道となり得る農林道の整備を推進する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 関係機関と連携し、緊急輸送道路及び生命線道路において事前伐採を実施した。（阿南管内2路線16本、那賀管内1路線483本、美波管内1路線124本）</p> <p>■成果 台風や大雨等による気象災害による倒木災害の未然防止につながった。 引き続き現地調査の上、優先箇所から事業実施を予定している。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 県土整備部
<p>【施策④】 津波迂回ルート設計等を進め、用地取得等が完了したところから工事を実施する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 芥附海部線において、道路改良工事を実施し、事業の促進を図った。</p> <p>■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑤】 救命救急や防災活動を支援する緊急輸送道路などのインフラ整備を推進する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 一般国道193号、195号他の緊急輸送道路において、用地買収及び拡幅工事等を実施した。</p> <p>■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑥】 河川・海岸堤防等の地震・津波対策を推進する。</p> <p>(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 那賀川や桑野川の国管理区間において、堤防の耐震化や液状化対策を実施した。 また、県管理の福井川、今津坂野海岸、日和佐港海岸、浅川港海岸などの堤防において、耐震補強工事等を実施した。</p> <p>■成果 堤防の耐震補強工事の進捗により、津波被害の軽減が図れるとともに、より一層の安全性の確保につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑦】 河川・海岸における、陸閘・水門・樋門の自動化や統合による閉鎖を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 浅川港海岸において、自動閉鎖陸閘1基を設置し、7基のうち6基が完成している。（R1までに中島港で6基、日和佐港海岸で4基の陸閘を閉鎖している） ■成果 陸閘の自動化により、操作性の向上が図れるとともに、迅速な閉鎖が可能となった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑧】 気候変動により頻発化・激甚化する水災害による被害を軽減するため、堤防強化、樹木伐採及び河道掘削等の安全に洪水を流下させる浸水対策を推進する。 (オ)</p>	<p>■令和2年度取組 水位周知河川など、治水上支障となる箇所での樹木伐採や河道掘削を実施した。 ■成果 安全に洪水を流下させる浸水対策の強化につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑨】 平成26年8月、平成27年7月豪雨をはじめとする洪水被害から県民を守る予防的な治水事業として、那賀川加茂地区、和食・土佐地区等の県管理河川（重点対策河川）の整備を推進する。 (オ)</p>	<p>■令和2年度取組 那賀川（国管理区間）の加茂地区の床上浸水対策特別緊急事業により堤防整備が完成した。 那賀川（県管理区間）の和食・土佐地区の床上浸水対策特別緊急事業により、一般国道195号小川橋の橋梁架替や築堤・樋門工事などの整備が完成した。 ■成果 那賀川加茂地区、和食・土佐地区において、戦後最大流量を記録した平成26年8月豪雨と同程度の洪水に対しても、那賀川の氾濫を抑えることができるようになった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑩】 県民の生命や財産を守るため、河川の堆積土砂を撤去から活用まで支援・管理する「海部川モデル」により、堆積土砂の総合対策を推進する。 (カ)</p>	<p>■令和2年度取組 3カ年緊急対策事業を活用し、治水上支障となる箇所の樹木伐採、砂利掘削を推進するとともに、新たな取り組みとして、「竹・樹木」の有効活用を検討した。 【堆積土砂撤去実績】 ・Aゾーン【下流域：公共工事での活用】 V=18,000m³ （河床掘削） ・Bゾーン【中流域：県民との協働事業】 V= 1,100m³ （民間に配布量） ・Cゾーン【上流域：民間による砂利採取】 V=31,755m³ （採取量） ■成果 「海部川モデル」を加速・進化させた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑪】 直轄管理の長安ロダムにおいて、洪水調節能力の増強に向け、放流設備の増設を促進するとともに、長期的堆砂対策を促進する。 (キ)</p>	<p>■令和2年度取組 長安ロダムの長期的堆砂対策の設計・検討を実施。 ■成果 長期的堆砂対策の検討が進められた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑫】 阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備と合わせた穴喰地区地域防災公園へのアクセス道路の整備を推進する。 (ク)</p>	<p>■令和2年度取組 アクセス道路となる久尾穴喰浦線の橋梁詳細設計及び用地買収を行った。 ■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑬】 IoT・AI等を活用し、費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図るため、予防保全等の計画的なインフラのメンテナンスを推進する。 (ケ)</p>	<p>■令和2年度取組 ビデオカメラを搭載した道路パトロール車による路面性状調査を実施した。 ■成果 新技術を活用した路面点検自動化が管内全域に展開できた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	令和2（20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●住宅の耐震化の必要性及び支援制度を詳しく広報するとともに、耐震診断と耐震化を支援する。また、老朽化して危険な空き家・空き建築物の除却を推進する。</p>	<p>＜阿南＞ ■令和2年度取組 ・住宅耐震化に関する広報として、阿南市ホームページ、広報あなんへの掲載やDM、戸別訪問による啓発を行った。 ・9月から11月を耐震化啓発強化月間と定め、市役所2階に、耐震シェルター（1/2縮尺型）を展示、耐震化の幟を掲げるなど、市民の住宅耐震化に関する意識の高揚を図った。 ・周知不足改善のため、来庁者に対してアンケートを実施し、周知方法の改善を検討した。 ■成果 補助事業に関しては、耐震診断47戸、補強計画8戸、本格改修14戸、住替え支援12戸、除去支援活用による空き家の解体・除却11戸（事前調査申込件数27戸）を実施した。</p> <p>＜那賀＞ ●耐震化関係の補助制度について広報。実績として、耐震改修1件、危険空き家の除却6件を実施。</p> <p>＜牟岐＞ ■令和2年度取組 広報として、牟岐町ホームページ、広報むぎへの掲載を行った。 ■成果 補助事業に関しては、耐震診断2戸、シェルター1戸、空き家等除却13戸を実施した。</p> <p>＜美波＞ ■令和2年度取組 住宅の耐震化事業、空き家の活用、除却補助事業等事業継続 ■成果 地域施策冊子等での周知を図り、国及び県の補助事業を活用しながら空き家の活用及び除去事業を進めた。また、コロナ禍により対面での移住相談ができない中オンラインを活用しながら活用可能な空き家について移住者への紹介も同時に進めた。</p> <p>＜海陽＞ ■令和2年度取組 広報活動は、海陽町の広報誌「広報海陽」へ1回掲載した。また、地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイトにも掲載している。 ■成果 木造住宅耐震診断10戸、耐震改修事業4戸、老朽危険空き家取り壊し事業12戸について支援を行った。</p>	<p>各市町</p>

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●民間ビル所有者等との協定締結をはじめ避難場所の確保や整備を推進する。</p>	<p>■令和2年度取組 大規模災害時における阿南市指定避難場所としての施設使用に関する協定締結，津波発生時における一時避難施設としての使用に関する協定締結 ほか</p> <p>■成果 民間ホテル2カ所が指定避難所・福祉避難所となった。また，民間3施設を津波避難ビルとして使用できることとなり，避難場所の確保が図られた。</p>	阿南市
<p>●指定避難所の耐震改修を順次促進していく。</p>	<p>■令和2年度取組 指定避難所である鷺敷中央公民館の耐震改修工事が令和2年度に完成した。</p> <p>■成果 指定避難所として耐震化が完了し，地震災害でも使用が見込まれる。</p>	那賀町
<p>●津波避難ビルの追加指定，避難施設・避難経路の整備充実（誘導表示等）を図るとともに，地域防災計画の見直しを進める。</p>	<p>■令和2年度取組 地域防災計画の改訂をするとともに備蓄倉庫を新設した。</p> <p>■成果 防災力の強化につながった。</p>	牟岐町
<p>●見直した避難場所，避難路の整備の充実（看板・防犯灯）を図るとともに，二次避難場所の整備を進める。</p> <p>●避難困難地域の津波避難タワーの整備を進める。</p>	<p>■令和2年度取組 （仮）奥河内地区津波避難タワーの新築工事を進めた。令和3年8月完成予定。</p> <p>■成果 避難困難地域に津波避難タワーを整備することにより，避難困難者の解消が図られる。</p>	美波町

市・町関連施策	令和2（20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●緊急避難場所、避難路等の整備、備蓄倉庫の充実等計画的に実施する。</p> <p>●河川氾濫の原因となる河川に堆積した土砂を取り除き、増水時における安全性を確保できるよう県と連携して取り組む。</p> <p>●消防団の車両・設備等を計画的に整備・充実し、地域防災力の強化を図る。</p> <p>●住宅の耐震診断・耐震改修や老朽危険空き家の取り壊しの支援を行う。</p> <p>●津波による分断・孤立が懸念される海陽町穴喰地区において、阿南安芸自動車道（海部道路）の整備に合わせて、防災拠点施設となる地域防災公園を整備する。</p>	<p>■令和2年度取組 避難路の整備4カ所。避難誘導灯の整備4カ所。備蓄倉庫・備蓄品の整備5カ所（パーティション、マット、備蓄倉庫、発電機、簡易トイレ等）。</p> <p>■成果 避難路や誘導灯の整備により、災害時の避難にかかる時間が短縮され、夜間における避難がしやすくなった。また備蓄倉庫等の設置により、緊急避難時に必要な物資が揃えられ、さらに地域で必要とする物資も備蓄することができる。パーティションは避難者のプライバシー空間の確保とともにコロナ禍における密の回避にも役立つ。</p> <p>●河川に堆積した土砂及び樹木については、県と協力し海部川、穴喰川で取り除きを行った。 令和3年度より、稼働する町残土処分場を八山地区に整備した。</p> <p>■令和2年度取組 消防車両の整備2台。消防屯所の修繕1棟。</p> <p>■成果 計画的に老朽車両の整備や施設修繕を行い、地域防災力の強化が図ることができた。</p> <p>●木造住宅耐震診断10戸、耐震改修事業4戸、老朽危険空き家取り壊し事業12戸について支援を行った。</p> <p>●穴喰地区防災公園の整備については、洪水調整池が完成するとともに工事用道路工事に着手し、国、県と引き続き協議を行い造成工事の早期完成を目指す。</p>	<p>海陽町</p>

(2) 生涯健康で安全・安心できる暮らしの確保

【プラン3】「人生100年時代」を見据えた質の高い生活の確保

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 医療提供体制の構築	イ 地域包括ケアシステムの深化・推進
ウ 健康寿命延伸に向けた健康づくり	エ 自殺予防対策の推進

プラン評価	順調
事務局所見	<p>学生実習に、災害医療体制・公衆衛生活動の講義・演習に加え、将来、地域の保健医療活動を担う人材を育成したほか、在宅医療・介護コーディネート事業では、研修会や市町村支援を通じて医療と介護の連携強化を図ることで、地域包括ケアシステムの推進に寄与した。</p> <p>また、ヘルシーメニューを積極的に提供する「健康づくり推奨店」の増加により、健康的な食生活の実践に取り組みやすい環境づくりが進んだ。</p> <p>自殺予防対策では、研修会や出前講座で旧海部町における自殺予防因子について、広く普及啓発に努め、自殺予防サポーターを養成するとともに、自殺対策関係職員スキルアップ研修会の開催により、関係機関と地域における自殺予防対策を積極的に推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
認知症サポーター数(累計) <'17> 10,256人 → <'22> 16,800人	10,256人	13,500人 13,957人	14,600人 14,191人	15,700人	16,800人	◎
栄養表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店等(健康づくり推奨店)の登録数(累計) <'17> 20店舗 → <'22> 30店舗	20店舗	24店舗 24店舗	26店舗 27店舗	28店舗	30店舗	◎
自殺予防サポーター数(累計) <'17> 5,541人 → <'22> 7,500人	5,541人	6,300人 6,908人	6,700人 7,043人	7,100人	7,500人	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 南部圏域の公的医療機関が一体となった医療提供体制（海部・那賀モデル）において、医療従事者の相互交流及び協力、ICT活用によるネットワーク構築、治療材料・医療機器の共同調達等を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 海部・那賀地域の各病院における現状及び課題を共有し、課題に対する解決策について協議する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、協議会開催を延期している。</p> <p>■成果 「海部・那賀モデル」推進協定書に基づき、医療従事者の相互交流及び協力等引き続き実施できている。</p> <p>■新型コロナの影響 新型コロナウイルス感染防止のため、協議会開催を延期している。</p>	B	<p>南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課</p>
<p>【施策②】 救急医療電話相談（#7119）や小児医療電話相談（#8000）の利用促進のための周知を図り、活用していただき、急な病気やケガにより不安が生じる県民への安全・安心の確保とともに、保護者が安心して子育てができる環境整備を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 1. 周知用チラシ用いて、県内医療機関へ送付し、周知依頼。 2. 市町村広報誌への掲載依頼 3. 県広報誌（our徳島）、メールマガジンへの掲載 4. インターネット広告掲載（#7119のみ） 5. 徳島市医師会広報に掲載</p> <p>■成果 広報への取組みにより認知度が向上、県民の安全・安心の確保とともに、保護者が安心して子育てができる環境の整備が進んだ。 （#7119相談件数 R2：2,582件、うちすぐに救急車を呼ぶよう案内した件数226件） （#8000相談件数 R2：6,970件、R1：10,057件、H30：11,804件）</p> <p>■新型コロナの影響 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクの着用、手指消毒など家庭内での感染症対策が徹底されたことから、子どものり患しやすいとされる、RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナなどにおいて、いずれも患者数が著しく減少したことにより、相談数が減少していると思われる。</p>	A	<p>南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課</p>

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策③】 県民のさらなる健康向上や医療費の抑制を図るため、患者の診療情報を各医療機関、介護事業所及び薬局で共有化する「阿波あいネット」の機能拡充を図る。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 「阿波あいネット」参加医療機関の間で検査画像について情報提供、参照する機能を拡充するため、画像相互参照基盤や画像公開施設の整備を行った。 ■成果 「阿波あいネット」に参加する一部の医療機関において、自院で検査した画像に加え紹介先・元の過去画像が参照可能となるなど、患者診療情報の共有が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課
<p>【施策④】 県内3大学等から実習生を受け入れ、他職種連携による災害医療や地域包括ケアシステムの推進に重点をおいた臨地実習を行うことにより、将来の保健医療の中核を担う人材育成を図るとともに地域医療の充実を目指す。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 県内2大学及び富岡東高等学校専攻科・看護科等の学生実習（累計101名）を受け入れ、カリキュラムの中で、近年の地震等大規模災害の状況や、災害医療体制・公衆衛生活動についての講義等により、将来、地域の保健医療活動を担う人材育成に努めた。 ■成果 事業を通じ、将来の地域保健医療活動を担う人材の育成に繋がった。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑤】 人生の最期まで本人の生き方が尊重される医療・ケアに携わる医療・保健・介護分野の人材育成と、多職種連携を強化することにより、地域包括ケアシステムの推進を図る。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 在宅医療・介護コーディネート事業にとりくみ、研修会及び市町村支援を実施した。 ■成果 事業を通じ、医療・保健・介護分野の従事者の人材育成に繋がった。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課 長寿いきがい課
<p>【施策⑥】 認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症サポーターを養成するとともに見守りや支援を推進する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 各市町、各種団体や企業の協力のもと、様々な年齢層に対する認知症サポーター養成講座を実施した。 ■成果 認知症についての正しい知識を普及・啓発することができた。 ■新型コロナの影響 感染拡大防止のため、認知症サポーター養成講座の開催機会が減少した。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部 長寿いきがい課 各市町

主要施策・主要事業	令和2（20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑦】 長期の喫煙習慣が主な原因であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について情報提供を行い、受動喫煙防止や喫煙習慣の改善など健康づくり対策を推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 学校・事業所等への出前講座や各種イベントの機会を捉え、パンフレット等を活用した健康教育を行い、たばこによる健康への影響やCOPDの予防・早期発見・治療につなげるための正しい知識の普及啓発を行った。 ■成果 COPDに関する正しい知識の普及啓発が図られた。 ■新型コロナの影響 ハイ・チェッカー（簡易肺年齢測定器）を活用できなかった。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑧】 栄養表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店等（健康づくり推奨店）を拡大し、「食べること」から元気で活力ある地域づくりを推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 ヘルシーメニューのうち、特に「野菜たっぷりメニュー」を積極的に提供する飲食店の登録を推進するとともに、登録店舗の情報発信を行った。 ■成果 目標を上回る3店舗が登録でき、地域住民に対して外食における健康づくりの推進に関する啓発が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑨】 「自殺予防サポーター」の養成に努めるとともに、関係機関と連携した自殺予防のための生き心地の良いまちづくりを推進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 自殺予防対策会議や自殺対策関係職員スキルアップ研修会等を開催し、関係機関との連携強化を図った。また、旧海部町が日本で最も自殺率の低い町であるとの研究により見い出された自殺予防因子について、講演会や出前講座等により普及啓発を行い、自殺予防サポーターを養成した。 ■成果 養成実績 135名</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●阿南医療センターの医師確保を図ることにより、救急医療体制を確立するとともに、災害拠点病院としての機能維持及び安定した経営基盤の確保に向け、必要な支援を行う。</p> <p>●すべての住民が住み慣れた家庭や地域社会で共に助け合い、しあわせに暮らすことができるよう、住民との協働のもとに地域福祉の体制の整備を図るとともに、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けた取組を推進する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部圏域の医師不足解消を図るため、阿南医療センターに開設される「阿南地域医療教育センター」を拠点として実施する、徳島大学の寄附講座（地域医療拡充支援事業）に係る経費の一部を市補助金として交付し、医師確保対策を行った。 ・社会福祉協議会や、あなんパーソナルサポートセンターと協働し、日常生活自立支援事業・生活福祉資金事業・心配事相談・法人後見事業・ご近所ヘルパー・生活困窮者自立支援事業に取り組んだ。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療拡充支援事業（新規事業）の実施により、阿南医療センターでは7人の医師確保が図られた。 ・多くの住民への周知や利用促進が図られた。 	阿南市
<p>●県立海部病院等と連携し、地域医療の充実を図るためには医師の人材確保が不可欠である。牟岐町内医師流出を抑える施策を継続しながら連携強化を推進する。</p> <p>●町全体での見守り支援として、認知症サポーターの増加、生活支援体制を整備するとともに、医療と介護の連携を推進し地域包括ケアシステムの構築に向け内容の充実を引き続き図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう弁当やバレンタインチョコなどを贈った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により顔の見える関係作りは今までのようにできなかった。 <p>■令和2年度の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあった為、認知症サポーター養成講座を令和2年度は規模を縮小しての開催となった。地域に出向き、感染対策を行った上で2回実施し、新たに13人の認知症サポーターが加わった。 ・生活支援体制整備事業にて、専任担当者を置き、月2回の協議会を実施し、地域課題の改善に取り組んでいる。 ・在宅医療・介護連携推進事業を海部郡医師会に委託し、医師会と共に医療・介護の連携に取り組んでいる。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これらの事業を通じて、地域包括ケアシステムに充実が図られた。 	牟岐町
<p>●高台に移転した美波病院又津波への対策がされた医療保健センターを活用し、美波町における総合的、継続的な保健医療福祉サービスの提供を継続していく。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療、保健、福祉の連携や調整を図り、住民の視点に立ったサービスの提供に努めた。健診受診を中心とした予防・健康づくり事業に取り組んだ。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率の向上がはかれた。 	美波町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を図るとともに、中山間地域における「小さな拠点（集落活動センター）」の整備を検討する。</p>	<p>■令和2年度取組 事業所等で計2回認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを24人養成した。見守り事業者は1事業者増えて65事業者となった。介護予防を目的とした体操教室を月2回開催し、体操の自主グループを対象にフォローアップ教室を31回実施した。</p> <p>■成果 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、認知症サポーター養成講座は、学校や地域での開催を積極的に呼びかけなかった結果、開催の希望がなく養成講座の開催件数が減少した。介護予防を目的とした短期集中型の教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	<p>海陽町</p>

【プラン4】地域との協働による安全・安心な暮らしの確保

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 食の安全・安心の確保 ウ 児童虐待防止対策の推進	イ 消費者行政・消費者教育の推進 エ DV・性暴力被害に対する支援の充実
-------------------------------	---

プラン評価	順調
事務局所見	<p>HACCP講習会の開催や徳島県HACCP認証制度の周知、また関係団体と連携してHACCPアドバイザーの育成に努めることで、食品等事業者の自主的な衛生管理能力の向上を図り、県民の食の安全安心確保につながった。</p> <p>「とくしま政策研究センター」での調査研究では、消費者教育の対象となる小・中・大学生を「自立した消費者」として育成するため、学生にとって身近に感じられるプログラムを実施することで、学生が主体的に学ぶことができ、消費意識の向上につながった。</p> <p>また、児童虐待防止や予防のため、関係市町の要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関で連携し、必要に応じて個別ケース会議を開き、対応を協議した。令和2年度については、コロナウイルスの影響で会議の開催が見送られるなど、多くの関係者が集まって協議する機会は減ったものの、必要最小限の関係機関で集まり情報交換をした。</p> <p>DVや性暴力の被害者支援については、警察や関係機関との連携により、相談・保護・自立支援等を行い、関係機関とのネットワークの強化が、緊急時のスムーズな対応に繋がった。コロナ禍におけるDVの増加や深刻化が懸念される中、令和2年5月から「DV相談ナビダイヤル」の24時間化を実施し、相談体制を強化することで、被害者に寄り添った支援ができる体制を整えた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
学校安全ボランティアの登録数 <'17> 2,686人 → <'22> 2,000人以上	2,686人	2,000人以上 2,113人	2,000人以上 2,186人	2,000人以上	2,000人以上	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 監視指導体制の強化による食品表示の適正化，徳島県HACCP認証の普及，HACCPアドバイザー育成による事業者の自主衛生管理の推進に努めるとともに，リスクコミュニケーション機会の提供による消費者と事業者間の相互理解の促進により，県民の食に対する安全安心の確保に努めます。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 ・飲食店9軒に対し立入検査を実施し，産地偽装等不適正な食品表示の防止に努めた。また，食品製造業者や流通業者を対象とした監視に伴い，表示の確認を行った。 ・HACCP普及を推進するため食品事業者等を対象とした講習会を開催し徳島県HACCP認証制度の周知を図るとともに，食品事業者団体と連携し，HACCPの助言・指導のための人材（HACCPアドバイザー）育成に努め，事業者の自主衛生管理を推進した。</p> <p>■成果 ・食品表示ウォッチャーから報告された衛生事項における不適切表示に対し是正指導を行い，危害発生の可能性を低減した。 ・食品衛生法改正に伴い全食品営業者にHACCPに沿った衛生管理が義務づけられることから，法改正に関する講習会を5回開催し，合計228名が受講した。また，HACCPアドバイザーは6名が認定され，小規模事業者の自主衛生管理を推進した。 ・県版HACCPについては，3業種で認証を取得した。 これらの取組により，県民の食に関する安全安心の確保につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 保健福祉環境部 安全衛生課
<p>【施策②】 地域の課題解決につながる政策提言を行う「とくしま政策研究センター」（県立総合大学校）において，「消費者行政・消費者教育」をテーマとした調査研究を実施する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 近年，普及が進むキャッシュレス決済の適切な利用のための知識・判断力の醸成や，持続可能な社会の構築に向けた消費行動が求められている。これについて，①小学生へのプログラミングを通じた消費者教育の実施②中学生を対象に地元農水産物の活用を通じた消費者教育の展開③大学生によるカレー調理を通じた地産地消の普及啓発④食実態調査をもとにしたメニューの考案の4つのプログラムを実施し，学生たちに探究的な学びの機会を設けることで，主体的に判断し行動することができる消費者として育成した。また，参加者に対し，消費生活に関する意識調査を行い，現状と課題を分析し，その対策について検討した。</p> <p>■成果 参加者である小・中・大学生が主体的に学び，プログラム参加後は消費生活に関する意識を高め，「自立した消費者」として育成することができた。また，意識調査を通じ，消費者教育のアプローチ手段を提示することができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 県立総合大学校本部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策③】 圏域内で市町に設置された見守りネットワークが実効性のある活動を継続するための情報提供や研修、事業者の消費者志向経営を推進するとともに、若年者の消費者教育の充実に努めます。また、消費生活相談員の育成及び市の消費生活センター相談員の資質向上への支援による相談体制の強化に努めます。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 多様化する高齢者等の消費者被害防止を図るため、見守りネットワークの活動をさらに活性化させることを目的とした研修会を開催し、ケーススタディや情報共有等を行った。 消費者志向経営推進シンポジウムやセミナーを開催し、事業の取組を発表するとともに、消費者志向自主宣言事業者数の増加に努めた。 若年者の消費者教育については、高校生向け教材「社会への扉」や徳島発「中学生向け消費者教育教材」及び「小学生向け消費者教育教材」の活用に加え、「特別支援学校向け消費者教育動画教材」等のデジタル教材を作成し、令和4年度からの成年年齢引下げに対応した消費者教育を推進した。 消費生活相談員の育成に向け消費生活相談員等養成講座を開催したほか、市の消費生活センターと日頃から情報交換を行うとともに、相談員懇談会を開催するなど、相談体制強化に向けた取組を推進した。</p> <p>■成果 ・R3.3.19に見守りネットワーク研修会（WEB形式）を開催し、参加者の見守り活動のスキル向上につながった ・県内の消費者志向自主宣言事業者数が前年度比3増の36事業者となった。 ・消費者教育の推進により、学生の消費者行動への理解促進につながった。 ・消費生活相談員養成講座を計15回開催し、受講者の中から8名が合格した。また、相談員懇談会の開催（R2.8.7、R3.3.15）、阿南市消費生活センターの訪問（R2.11.19）などにより県市の連携が図られ、消費者の相談体制が強化された。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 消費者政策課
<p>【施策④】 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を行うために、要保護児童対策地域協議会を中心とした関係機関との連携を密にし、子どもの安全を最優先にした対応を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 要対協を通じ多くの関係機関と連携し、情報共有をし緊急性の高い児童については一時保護をし児童の安全を確保した。</p> <p>■成果 一時保護した児童が、要対協の関係者が連携して支援したため、家庭復帰して安定した生活を送ることができている。</p> <p>■新型コロナの影響 要対協の開催回数は例年の半分程度になっている。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部

主要施策・主要事業	令和2（20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑤】 地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ボランティア活動の支援を行い、幼児、児童、生徒の安全確保を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 全ての小学校区に学校安全ボランティアを配置し、危険箇所の確認や立哨による交通指導など、登下校時の見守り活動を中心に取り組んだ。</p> <p>■成果 幼児、児童、生徒の安全確保が図られ、地域での重大事故・事件等は発生していない。</p>	A	教育委員会
<p>【施策⑥】 DVの早期発見や発生防止を図るため、講座やパネル展など啓発活動を実施するとともに、阿南市配偶者暴力相談支援センターやDV被害者等支援ネットワーク等関係機関との一層の連携を図る。また、DV被害者の視点に立った相談・保護を実施し、自立支援を促進するとともに、児童相談と連携し、DVのある家庭で育つ子どもへの支援を図る。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 DV防止啓発パネル展（阿南市役所）を開催し広報啓発を実施。R2年5月から拡充した相談体制（DV相談ナビダイヤルの24時間化）や相談窓口についても広報周知した。</p> <p>南部圏域における関係機関との連携強化を図るため、「DV被害者等支援ネットワーク研修会」を開催し、警察、弁護士会、市町、母子生活支援施設、学校、民間団体等、被害者支援に携わる関係者47名が出席し、連携を深めた。</p> <p>■成果 「DV被害者等支援ネットワーク研修会」の開催により、関係機関同士の顔の見える関係性の構築ができた。</p> <p>DV家庭の母子について、児童相談や関係機関と必要な情報を共有し、相談・保護・自立支援など連携して対応することができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑦】 性暴力被害者支援センター「よりそいの樹とくしま（南部）」の定着を図るため、相談窓口の周知に努めるとともに、支援を担う関係機関と連携してスタッフのスキル向上に取り組み、被害者支援機能の強化を図る。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 デートDVや性暴力被害の未然防止のため、管内の中学校へ、若者向け啓発リーフレット「よりそいの樹とくしまって知っとる？」を配布した（20校2,580名）。</p> <p>性暴力被害者支援研修や全国研修会（オンライン開催）に参加し、相談員の専門的スキルの習得に努めた。</p> <p>■成果 広報啓発により相談先が身近にあることの周知が進んだ。職員のスキル向上により、性暴力被害者からの相談・支援に、迅速に対応できた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑧】 配偶者等からの暴力の防止の視点に立って、若年層を対象に、「デートDV防止セミナー」などの啓発を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 若年層を対象にデートDVやDV等の防止に関して理解と関心を深めてもらうために、中学校・高校で「デートDV防止セミナー」を延べ5回開催し、532人が受講した。</p> <p>■成果 DV防止についての理解が深まるとともに、若年層に対しデートDV防止を啓発できた。</p>	A	男女参画・人権課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●老人クラブ会員による、小学生の登下校時の通学路の不審者対策及び交通安全のための、見守り活動とあいさつ運動を実施する。</p>	<p>■令和2年度の実施 老人クラブ会員による小学生登下校時の見守り活動とあいさつ運動を実施。</p> <p>■成果 小学生の登下校時の安全確保に寄与した。</p>	<p>牟岐町</p>

2 世界を魅了する観光地域づくり

(1) 地域の強みを活かしたインバウンド戦略の展開

【プラン5】自然・文化・スポーツ等による新たな魅力の創造とレガシーの創出

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア DMOを核とした持続可能な観光地域づくりの推進
 ウ 参加型の体験プログラムの開発
 オ 国際スポーツ大会開催の機運醸成、レガシーの創出

イ 文化資産の継承と新たな魅力の創造
 エ アウトドアイベントの強化・拡充
 カ 生涯スポーツの拠点づくり

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が実施されインバウンド需要が喪失する中、「WITHコロナ・アフターコロナ」を見据えた「四国の右下」ならではの「新たな旅行スタイル」の構築や体験型プログラムの開発、ブラッシュアップなどに取り組み、インバウンド需要回復を見据えた受入環境整備が図られた。</p> <p>また、ワールドマスターズゲームズ2021関西についても、一般社団法人四国の右下観光局等と連携し、「事業者向けのオンラインセミナー」、「新たな観光プランの造成」、「海外向けプロモーション」、「外国人旅行者おもてなし対応マニュアル・指差しシートの作成」のほか、「機運醸成のためのスポーツ教室の開催」等により、大会効果を最大限に享受し、レガシーを創出する取組みを着実に進められた。</p> <p>また、拠点づくりとして、南部健康運動公園については、陸上競技場を完成させたほか、橋港小勝・後戸地区については、ソフトボール場4面目を整備するなど着実に事業を推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
一般社団法人四国の右下観光局の日本版DMO法人への登録 <'17> - → <'19> 登録	-	'19登録 登録	-	-	-	-
南部圏域内における外国人の延べ宿泊者数(暦年) <'17> 2,386人 → <'22> 11,000人	2,386人	4,000人 4,928人	6,000人 612人	9,000人	11,000人	△
ワールドマスターズゲームズ2021関西の競技開催に向けた体制整備 <'17> 推進 → <'22> 開催	推進	推進 推進	推進 推進	推進	開催	-
国際スポーツ大会開催への地元機運醸成に向けた「スポーツ教室」等の実施(累計) <'17> 1回 → <'22> 11回	1回	5回 5回	7回 7回	9回	11回	◎
来訪者の満足度(7段階評価中最高評価の割合) <'17> - → <'22> 25%以上	-	25%以上 35%	25%以上 -	25%以上	25%以上	-

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
南部健康運動公園陸上競技場の整備 <'17> 工事施工中 → <'20> 完成	工事施工中	推進	完成	—	—	◎
橋港小勝・後戸地区の緑地整備 <'17> ソフトボール場2面供用 → <'20> レクリエーション施設の概成	ソフトボール場 2面供用	推進	概成	—	—	◎

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 観光地域づくりの舵取り役を担うDMO「一般社団法人四国の右下観光局」を中心に、サステナブルツーリズムの視点に立ち、豊かな自然や伝統文化、郷土料理など様々な地域資源の”そのままの形”を守り、地域の魅力へと昇華させることで、継続的な観光客の呼び込みを実現し「儲かる観光」による持続可能な観光地域づくりを推進する。 (ア、イ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が実施されインバウンド需要が喪失する中、アフターコロナにおけるインバウンド需要回復を見据え、一般社団法人四国の右下観光局等と連携し、オンラインを活用した海外旅行会社向け提案営業や県内在住外国人のモニターツアーを実施した。 インバウンド受け入れのためのおもてなしセミナーの開催や旅先における緊急時の安全マニュアルや防災・避難マップのほか、指さしシートの制作など、インバウンド受入環境の整備を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> インバウンドオンライン商談会に参加し、DMVなど県南の観光資源のPRにより、インバウンド需要回復後の旅行需要の創出につながった。 おもてなしオンラインセミナーに20名が参加し、アフターコロナを見据えたインバウンド受入環境整備の推進が図られた。 <p>■新型コロナの影響</p> <p>海外からの往来自粛や渡航制限等により、インバウンド需要が喪失した。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策②】 これまで取り組んできたアウトドアスポーツや農林漁家体験を題材にしたプログラムに加え、地域色豊かな「祭り」や「伝統食」に触れるプログラムの開発や、「へんろ道」の保全活動ボランティアツアーなど、地域課題を題材にした体験プログラムの開発に取り組む。 (イ、ウ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ミニ遊山箱デザイン体験」や「備長炭作り見学・体験」など県南ならではの伝統文化や郷土料理などに触れることができる体験プログラムを地域と連携して企画し、モニターツアーによりブラッシュアップを図った。 JR四国と連携し「遍路道」を地元ガイドと散策する着地型旅行商品の造成に取り組み誘客促進を図った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターツアーのアンケートを踏まえ、改善点など事業主体にフィードバックすることで、コンテンツの磨き上げが図られた。 JR四国と連携して企画した「駅からウォーク」では、120名がツアーに参加し、県南への誘客促進につながった。 	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策③】 「四国八十八箇所霊場と遍路道」を将来の世代へ保存・継承していくため、四国他県や関係団体と連携して、世界遺産登録を目指した取組みを加速する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 金泉寺、安楽寺、法輪寺、金泉寺道、黒谷寺道の総合調査を実施するとともに、平等寺と平等寺道の国史跡の追加指定に向けた意見具申を行った。また、クラウドファンディングによる寄附金を原資に、鶴林寺道の補修を行った。</p> <p>■成果 世界遺産登録に向け、札所寺院・遍路道の調査及び史跡指定が進捗するとともに、遍路道の環境改善につながった。</p>	A	文化資源活用課
<p>【施策④】 旅先の文化や歴史体験への参加ニーズの高まりを受け、地域のお祭りの体験プログラムなど、ここでしか体験できない付加価値の高い体験プログラムを整備し、文化資産を観光資源として活用する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 太龍寺での「お遍路体験」や薬王寺での「写経や阿字観体験」など、県南ならではの伝統文化に触れることができる体験プログラムを地域と連携して企画し、コロナ禍で大型バスの観光需要が見込めない中、県内在住の外国人を対象とした「小型バス貸切ツアー」の商品化を目指した実証によりブラッシュアップを行い、インバウンド受入態勢の整備を図った。</p> <p>■成果 モニターツアーのアンケートを踏まえ、改善点など事業主体にフィードバックすることでコンテンツの磨き上げが図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑤】 県南の特色あるアウトドアイベントについて、英語版のホームページなど、海外への情報発信を強化するとともに、民間主催のイベント誘致に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 国や鳥取、兵庫両県、関西エアポート株式会社と連携し、ワールドマスタースターズゲームズ2021関西（WMG）を契機として、WMGに対する認知度の高い豪州のスポーツ愛好者をターゲットとしたプロモーション事業（メディア・インフルエンサー招請、広報動画制作及び動画を用いた広報）を実施し、県南の文化や自然をPRした。</p> <p>■成果 プロモーション事業による効果的な情報発信が出来たことで、豪州における県南の認知度向上につながった。</p> <p>広報動画制作及び動画を用いた広報事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画制作本数：8本 ・視聴数：126,943回 ・連携先WEBサイトのクリック数：2,554回 	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑥】 南部健康運動公園等を活用し、社会人や学生の団体が行うスポーツ合宿を誘致する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 県観光協会と連携し、旅行代理店に対しパンフレットを配布するなどPRに努め、大会やスポーツ合宿の誘致活動を実施した。また、県外からのスポーツ合宿の問い合わせに対するワンストップサービスを実施し、スポーツ施設と宿泊施設に観光を組み合わせたプランの提案を行うとともに、初めて合宿で来県した団体等に対し、直接合宿所へ出向き、県の特産品を差し入れるなど、本県の魅力を発信、想い出づくりのサポートを行った。</p> <p>■成果 (南部圏域対象実績) ○南部健康運動公園、まぜのおかオートキャンプ場 県外宿泊件数 7件 県外宿泊人数 700人</p> <p>■新型コロナの影響 令和2年度は、新型コロナの影響により、例年多くの利用者が見込まれる夏頃の大会の多くが中止となったほか、秋以降についても関西圏などに緊急事態宣言が発令されるなど、スポーツ合宿の実績が前年度から減少した。</p>	B	にぎわいづくり課
<p>【施策⑦】 東京2020オリンピック正式種目である「野球」におけるキャンプ地誘致に向けた活動を促進するとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西の実施競技となった「トライアスロン」、「アクアスロン」、「カヌー（スラローム）」、「サーフィン」、「軟式野球」において、市町及び関係機関と連携し、大会の開催に向け情報発信や機運の醸成、大会運営に携わる人材育成・組織づくりなどの受入態勢整備を進める。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催延期により、キャンプ地誘致に向けて引き続き関係者と協議を行うとともに、同じく開催延期となったワールドマスターズゲームズ2021関西（WMG）については、関係機関と緊密な連携を図りながら「カヌー（スラローム）」のコース整備、「トライアスロン」・「アクアスロン」のpara競技テスト及びライフセーバー講習会の実施、更にJAアグリあなんスタジアム他2球場を舞台に「オープン競技 軟式野球大会」を開催した。また、事前キャンプや競技における感染症対策検証のため、モニター合宿を実施した。 国際スポーツ大会開催の効果を最大限享受するため、一般社団法人四国の右下観光局等と連携し「事業者向けのオンラインセミナー」、「新たな観光プランの造成」、「海外向けプロモーション」、「外国人旅行者おもてなし対応マニュアル・指さしシートの作成」などインバウンド誘客・受入体制整備に向けた取組を推進した。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても実行できる業務を着実に前進させるとともに、感染症対策を講じた大会運営、スポーツ合宿等のノウハウを獲得し、「WITHコロナ」に対応した大会準備を加速させた。 事業者向けのセミナー開催、外国人旅行者おもてなし対応マニュアル等の作成によりインバウンド受入に対するスキルアップが図られた。 	A	南部総合県民局 地域創生防災部 スポーツ振興課

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑧】 トップアスリート等を講師とした実技講習会によるワールドマスターズゲームズ2021関西の出場機会の創出や、小学生を対象としたサーフィンスクールの開催により、地域を巻き込んだ「四国の右下」ならではのスポーツレガシーの創出を行う。 （オ）</p>	<p>■令和2年度取組 ワールドマスターズゲームズ2021関西の県南での開催競技である「サーフィン」「トライアスロン」に関連して、県内小中学生を対象とした「四国の右下サーフィン教室」を開催するとともに、徳島県出身のプロロードレーサーによるトレーニング動画を公開した。</p> <p>■成果 サーフィン教室の開催やトレーニング動画の公開により、競技の裾野を広げ、健康づくりを推進することができた。 ・サーフィン教室への参加者数：20名 ・「おうちdeトレーニング」動画再生回数：401回</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑨】 圏域における生涯スポーツの拠点づくりのため、南部健康運動公園や橘港小勝・後戸地区において、スポーツ・レクリエーション振興を目的とした陸上競技場や緑地等の整備を進める。 （カ）</p>	<p>■令和2年度取組 南部健康運動公園については、トラック・フィールド部の舗装工事が完了し、令和3年3月20日に、陸上競技場完成式典をとりおこなった。橘港小勝・後戸地区においては、ソフトボール場4面目のクレイ舗装工事を実施した。</p> <p>■成果 施策の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●7月1日から8月下旬まで、海水浴場（北の脇海水浴場、淡島海水浴場）の開設を行い、集客に努めるとともに観光地引き網事業やあななんマリンフェスティバル事業への支援など、海自然の魅力の情報発信に努める。また、若者同士の情報交換の場として、市のイメージアップや若者層の定住人口増加をめざし、羽ノ浦健康スポーツランド内のスケートボード場、阿南市屋内多目的施設（あななんアリーナ）をPRし、多くの若者の交流を図る。</p> <p>●西日本生涯還暦野球大会、西日本あかつき野球大会、野球のまち阿南少年野球全国大会、西日本500歳野球大会等の開催充実、阿南市屋内多目的施設（あななんアリーナ）を利用したの社会人野球や大学野球部の合宿、県外高校野球合宿の誘致受入を行う。また、野球と観光をセットにした「野球観光ツアー」の実施、大会や情報発信などにより、周辺を含めた地域の活性化を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、海水浴場開設等すべて中止となったため、パトロールにより注意喚起を行った。 ・若者同士の情報交換の場として、市のイメージアップや若者層の定住人口増加を目指し、羽ノ浦健康スポーツランド内のスケートボード場等をPRした。 ・第6回西日本500歳野球大会や女子硬式野球体験会をJAアグリあななんスタジアムで開催。合宿誘致では、富山未来高校、和歌山大学、選抜出場の敦賀気比・上田西高校を受入れた。また、野球と観光をセットにした「野球観光ツアー」を実施した。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケートボード場では3,486人、阿南市屋内多目的施設（あななんアリーナ）では8,785人の利用があり、多くの若者の交流が図られた。 ・西日本500歳野球大会（19チーム）、女子硬式野球体験（69人）の開催や合宿誘致、野球観光ツアーの実施により地域経済の活性化を図った。また、Facebook等による情報発信を行った。 	阿南市

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●林業者の伝統を活かした「木頭杉一本乗り大会」を7月に開催する。川口ダム湖でのカヌー、木製サップを活用した地域振興。南つるぎ登山道の魅力情報発信に努める。</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルスの影響により、イベント等は中止になった。南つるぎ地域活性化協議会の活動を助成することにより、各種イベント開催や登山道の整備活動、環境保全活動を行った。</p> <p>■成果 新型コロナウイルスの影響により、イベント等は中止になり、成果はだせなかった。南つるぎ登山道については、登山道の整備活動、環境保全活動を通じ、登山道の魅力情報発信に寄与した。</p>	<p>那賀町</p>
<p>●宿泊商品（民宿・旅館・民泊）・体験観光（サーフィン・SUP・シャワーライティング・山登り・クルージング・あんどん体験・かずら工芸・草木染他）・一次産業（農業体験：農業手伝い・漁業体験：釣り、はえ縄、天草・林業体験：炭焼き体験、樵木体験、狩猟体験）を自由に組み合わせて牟岐町を満喫していただく仕組みづくりを進める。</p> <p>●南阿波よくばり体験推進協議会が実施する教育旅行の取り組み拡充に努める。</p> <p>●観光協会や観光ガイドの会と連携して出羽島（重要伝統的建造物群保存地区）や遍路道などを活用した着地型観光プランメニューを企画し、歴史的文化的価値の継承や保存と経済循環を図る。</p> <p>●牟岐町の産物を他町の宿泊施設を備えた食事提供施設で、料理提供と産品生産者の紹介を行い産品の販売拡大と牟岐町の認知拡大を目指す。</p>	<p>■令和2年度取組 全般的にコロナの影響により、イベントはすべて中止になり、誘客活動も低迷した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南阿波よくばり体験推進協議会が自然・マリンスポーツアウトドア・漁業体験・農林業体験・味覚体験・歴史文化体験等の受け入れとして、教育旅行5校369人（208泊）、広島・徳島など個人客は3団体31人（8泊）を実施した。 ・観光協会、観光ガイド会と連携した出羽島ガイド（24名）を実施した。 ・観光協会、あんどんの会と連携したあんどん作り体験（59名）を実施した。 ・四国の右下観光局と連携して右下版スマートライフ先取り！ツアー（63名）などを実施した。 ・観光協会と連携して、体験やツアーに併せて、昼食や弁当の斡旋を実施した。（94名） ・商工会や観光協会と連携して、コロナの影響により実施されたGOTOトラベルやとくしま応援割等の申請手続き支援を行った。（57件） ・宿泊観光事業者に対してコロナ対策として感染拡大防止設備等導入に対する助成を行った。（9件） <p>■成果 コロナの影響で各種イベントは中止となり認知度の増加を図る取り組みは実施できなかったが、感染対策を徹底しコロナ過でも小規模な取り組みは実施できた。</p>	<p>牟岐町</p>

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●漁業協同組合、JAかいふ、道の駅、商工会や観光協会等と連携し、既存商品のブラッシュアップに努めると共に、美波ブランド商品認証規定を検討し、その基準に沿った新たな製品の創出や「美波の詰め合わせ」として推奨できる組み合わせ商品等の形成に取り組む。</p> <p>●商工会や観光協会が核となって取り組む物産のPR活動や、県内外の地域産品フェアへの参加、百貨店、商店街等での催事・見本市等における販売促進事業の支援を行う。</p> <p>●地域資源と既存の移住交流支援施設や体験施設を生かした着地型観光（体験ツアー）を進めるとともに空き家、空き家店舗等の利活用を模索し、よくばり体験拠点等を拡充する。</p> <p>●道の駅日和佐のチャレンジショップ、イベント支援用付帯設備、自転車ラック等を活用し誘客促進を図る。 また、地元食材を用いた新商品の開発に取り組み、道の駅日和佐や由岐ふれあいホール「ぼっぼマリン」などでの販売を行う。</p> <p>●南阿波よくばり体験推進協議会の取り組み拡充に努力するとともに、町内農林漁家民泊の受入態勢、体験メニューや組織の充実等に取り組む。</p> <p>●人と自然のふれあいを大切に、桜街道・夢マラソンやひわさうみがめトリアスロンの多くのアスリートを美波町に迎えて開催し、美波町や南部圏域のアウトドアフィールドを知り、体感する契機としてもらう。</p> <p>●薬王寺門前の再生に当たっては、増加する外国人お遍路の滞在時間、消費額の増加を目指して案内板の整備や話題性のある取り組み、魅力ある店舗の誘致や開業支援等に取り組む。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業協同組合、JAかいふ、道の駅、商工会や観光協会等と連携し、既存商品のブラッシュアップに努めると共に、美波ブランド商品認証規定を検討し、その基準に沿った新たな製品の創出や「美波の詰め合わせ」として推奨できる組み合わせ商品等の形成に取り組む準備を行う。 ・コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域産品フェアへの参加が出来ていない。 ・道の駅日和佐にて日和佐町漁協と共同で伊勢エビを目玉にしたイベントを行う予定だったが、コロナウイルス感染症によりイベントを行えていない。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、教育旅行がキャンセルとなった。四国の右下観光局との統合に向け、これまで教育旅行受け入れ等の活動のなかった阿南市、那賀町と協議しコロナ収束後の受け入れ態勢強化について検討した。 ・毎年大勢の参加者で賑わう桜街道・夢マラソン及びひわさうみがめトリアスロンであるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会が中止となった。今後は、コロナ対策を実施した大会の開催について検討を進める。 ・門前町の再生については、藍庵に続く空き家活用として桜屋の活用者を決定した。また3軒目となる空き家の改修準備を行い改修図面の作成を行った。桜町通りに面する建物で地域の建築的特徴を残す物件を美波遺産として認定し、銘板設置とWebサイトの作成を行った。また通りの街灯に歴史的写真と説明文を貼付、通りを歩いていただく仕掛け作りを行った。 <p>■成果</p> <p>令和2年度末をもって南阿波よくばり体験推進協議会は四国の右下観光局の教育旅行受け入れ部門と位置付けられ、将来は阿南市、那賀町も含めた幅広い体験メニューの提供が可能な環境が整った。</p>	美波町
<p>●「海部川風流マラソン」の開催、「まぜのおかオートキャンプ場」・「海陽町海洋自然博物館」での各種イベント・行事を拡充・充実し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>●「蛇王運動公園（野球場）」における四国アイランドリーグ等の大会開催を誘致する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>第13回海部川風流マラソンについては、コロナウイルス感染症の影響により、オンラインマラソンとして令和3年2月1日から令和3年3月21日の間で開催。</p> <p>■成果</p> <p>第13回海部川風流マラソン 参加者数833名、完走者数762名、完走率91.5%</p>	海陽町

【プラン6】世界に向けた魅力発信の強化

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 海外プロモーションの強化
ウ 「スマート回廊」における先端技術・科学体験の展開

イ 動画・SNS等による情報発信の強化

プラン評価	順調
事務局所見	令和元年度に整備した観光情報サイト「四国の右下観光局」の多言語化に加え、英語版SNSの運用、映像コンテンツの海外向け広告の実施などにより、外国人ユーザー数も目標を達成しており、インバウンド需要の回復を見据えた県南部の魅力発信が図られた。

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
観光情報サイト「四国の右下観光局」の外国人ユーザー数 〈'17〉 - → 〈'22〉 1,600ユーザー	-	1,000ユーザー 1,023ユーザー	1,200ユーザー 1,730ユーザー	1,400ユーザー	1,600ユーザー	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 「四国の右下」の魅力の効果的な情報発信を行い、ファンづくりを推進するため、一般社団法人四国の右下観光局において、情報の一元化や地域の魅力を体感することができる商品企画、プロモーションを行う。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 外国人地域おこし協力隊による英語版SNSや動画制作により、県南部の観光地や体験などの魅力を発信した。また、四国の右下観光局において、海外旅行会社とのオンライン商談会への参加や、外国人メディア向けのファムツアーや県内在住外国人向けのモニターツアーを実施し、インバウンド誘致や観光コンテンツの磨き上げを行ったほか、四国の右下観光局ウェブサイトにおいて、インバウンド向けモデルコースや体験プログラムなど、情報発信を行った。</p> <p>■成果 英語版SNSや動画制作により、インバウンド需要回復を見据え、県南部の魅力発信につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 ワールドマスターズゲームズ2021 関西の開催に向け、「四国の右下」で開催されるトライアスロン、カヌー、サーフィン、軟式野球の参加者や家族等の誘客を促進するため、商談会に参加するなど海外でのプロモーションを強化する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 ・四国運輸局、鳥取県及び兵庫県と連携し、ワールドマスターズゲームズ2021関西（WMG）に対する認知度の高い豪州のスポーツ愛好者をターゲットとして、豪州向けメディア・インフルエンサーを招請して情報発信を行うとともに、3県の観光コンテンツ映像を制作し、その映像を活用した動画広告によるプロモーションを実施した。</p> <p>■成果 ・徳島県、鳥取県及び兵庫県の3自治体に加えゲートウェイとなる空港が連携し、広域周遊のプロモーション事業による効果的な情報発信が出来たことで、インバウンド需要回復を見据えた県南の魅力発信につながった。 (WMGを契機とした豪州向けプロモーション事業成果)</p> <p>・メディアインフルエンサー招請 招請人数：2名、招請参加媒体数：4媒体、媒体接触者数：566,406名</p> <p>・旅行情報提供（映像） 動画制作本数：8本、動画再生回数：126,943回</p> <p>・純広告（オンライン） 媒体接触者数：10,081,119回（インプレッション数） 掲載本数：4本（サイト数）</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策③】 FIT（海外への個人旅行）誘客を促進するため、「四国の右下」の自然や食などを体感するモデルコースや観光スポットを動画を積極的に活用しSNS等で発信する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 県南の伝統文化や自然環境の魅力を伝える英語のプロモーション動画を作成し、YouTubeの徳島県チャンネルなどで発信した。</p> <p>■成果 英語によるプロモーション動画を新たに作成することで、海外に向け南部エリアの魅力発信が可能となった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●AMA（A阿南市，M室戸市，A安芸市）を広くアピールするために，関西地区でのメディアキャラバンを実施する他，広域観光ルートの開発や旅行会社，雑誌社に対して観光及び特産品等の情報発信を行う。また，定住自立圏観光圏を形成して，圏域の魅力等を紹介する。</p> <p>●道の駅公方の郷なかがわ，光のまちステーションプラザでの観光パンフレットの配布及び映像施設を利用した観光情報の発信，YouTubeによる動画配信サイトの利用，AMA（あま）ナビ等による動画情報の発信を行うとともに，AMA観光PRイベントの実施により，四国東南部への集客を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により，AMA地域の交流，関西地区でのPRも行えなかった。また，定住自立圏観光圏事業として，圏域の魅力紹介に取り組んだ。 ・道の駅公方の郷なかがわ，光のまちステーションプラザでの観光パンフレット配布，AMAナビによる情報発信を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏観光圏事業として，うみてらす北の脇では，SUP体験，施設案内を実施し，JAアグリあなんスタジアムでは，女子硬式野球体験会の撮影を行うなど，圏域における交流人口の拡大が図られた。 ・AMAナビを活用し，効果的な観光PRが図られた。 	阿南市
<p>●那賀町「徳島ドローン特区」として，那賀町の山，谷，川，ダム，豊かな自然を活用した空撮アテンドのワンストップサービスの実施やドローンマップを活用したコンテストを開催し，集客を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>町内のドローンフライトスポットをまとめた「那賀町ドローンマップ」のデジタルアース版をインターネット上に公開し，空撮アテンドを民間企業がワンストップサービスとして実施している。</p> <p>■成果</p> <p>コロナウイルス感染症の影響でコンテストは未実施。ドローンのフライトで訪れる人もまばらであった。</p>	那賀町
<p>●牟岐町の自然や産業など，魅力を町外へ発信することにより，交流人口の増加を目指すとともに，教育や文化，産業の新たな発見と充実をめざし地域の活性化を図る。</p> <p>●牟岐町に特化したソーシャル情報プラットフォーム（牟岐町アプリ）により，ユーザー登録すると自動的に牟岐第二町民になれば，牟岐町の様々な情報を受け取れるシステムを構築したので，関西・関東を中心に牟岐町ゆかりの方の加入を進め，牟岐町に興味を持っていただいた方等にも魅力情報発信を行う。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>移住定住ウェブサイト「MUGIZINE」では牟岐に関係する魅力ある移住者等を牟岐人記事として5件，牟岐人アプリでは様々な牟岐町に関する情報を21件，出羽島「おいでってば」HPに4件の新たな記事を掲載した。</p> <p>■成果</p> <p>令和2年4月～令和3年3月の期間に，移住手住ウェブサイト「MUGIZINE」に新規1722人，出羽島「おいでってば」HP新規記事に約60,000件アクセスがあり牟岐人アプリでは年間201人が新規登録した。</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●地域に埋もれている歴史文化資源を観光プロダクトとして掘り起こし、地域の魅力として発信する。</p> <p>●ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催を機に、美波町に訪れる外国人に対して観光プロダクトを販売する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐街道及び古道の利活用を目指し、現地調査及びルート選定を行った。 ・観光庁の誘客多角化事業を活用し、日本人にも外国人にも活用できるプロダクトとして美しい自然風景を借景した「バスケットランチ」、美しい国定公園エリアで「オイスターBAR」、里山に伝わる発酵茶「阿波晩茶収穫体験」、自分だけのオリジナルのお皿で頂く四国No.1フレンチ「ラトリエあべとつが瀬窯」、地域の名刹で心と体のメンテナンス「薬王寺体験」など、新たな観光プロダクト開発を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度において土佐街道及び古道の利活用における、現地調査及びルート選定を行うことができた。 ・観光庁の誘客多角化事業を活用することで、新たな観光プロダクトの開発を行えた。 	美波町
<p>●「まぜのおかオートキャンプ場」・「蛇王運動公園」・「B&G海南海洋センター」などの複合的スポーツ・レジャー施設の機能を最大限に利用した、企業・大学などのイベント・スポーツ合宿等の積極的な誘致活動やPR活動を行う。</p> <p>●町のキャラクター「ふるるん」を用いて県内外のイベント等に積極的に参加し、海陽町の魅力等のPRを行う。</p> <p>●地域に埋もれている歴史的・文化的・自然的資源を掘り起こし、地域の魅力として発信し、観光資源につなげる。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>R1.8.30 インスタグラム海陽町公式アカウント「slow_life_kaiyo」を開設し、令和2年度も引き続き、当アカウントを利用し、情報発信力を強化。また、マリンジャムにて、ブルーマリン号夜間航行の導入を目指し、試験航行に取り組んだ。</p> <p>■成果</p> <p>R2.3月末フォロワー800人 → R3.3月末フォロワー1,382人（582人増）</p> <p>令和3年度中にブルーマリン号夜間航行開始を目指す。</p>	海陽町

【プラン7】ストレスフリーな旅行環境の整備

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取り組み

ア 無料Wi-Fi, 他言語表記の整備促進

イ キャッシュレス決済, 手ぶら観光の普及促進

プラン評価	評価困難
事務局所見	<p>県管理道路において、旅行者の利便性を向上させるため、多言語表記を改善した道路標識の状況確認を実施した。</p> <p>また、一般社団法人四国の右下観光局において事業者向けのおもてなしセミナーを開催したほか、緊急時の防災・避難マップや受入側施設向けの指差しシートなどを作成することで、インバウンド受入環境の整備が図られた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
来訪者の満足度（7段階評価中最高評価の割合）〈再掲〉	-	25%以上	25%以上	25%以上	25%以上	-
〈'17〉 - → 〈'22〉 25%以上		35%	-			

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】</p> <p>外国人旅行者の多くはインターネットを通じて地域ならではの食や体験、宿泊などの情報を入手するため、無料Wi-Fi（無料公衆無線LAN）の整備や利用場所を周知する取組を推進します。</p> <p>（ア）</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>一般社団法人四国の右下観光局において、アフターコロナを見据えたインバウンドの最新動向や受入環境整備のためのおもてなしセミナーを開催し、キャッシュレス化やWi-Fi整備などの利用促進を行った。また、四国の右下観光局ウェブサイトにおいて「とくしまフリーWi-Fi」の周知を図った。</p> <p>■成果</p> <p>おもてなしセミナーの開催により、インバウンド受入環境整備の促進が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 外国人旅行者が「四国の右下」を訪れた際、観光地としての魅力を十分に伝えるため、旅行者にとって分かりやすい観光・地点案内表示など多言語表記の整備を促進します。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 一般社団法人四国の右下観光局において、外国人旅行者向けの「安全・安心基本マニュアル」や緊急時の「防災・避難マップ」のほか、受入施設側のおもてなしを図るため指差しシートを作成した。 また、県管理道路において、多言語表記の改善を図った道路標識の状況確認を実施した。</p> <p>■成果 「防災・避難マップ」や「指差しシート」の配布、道路標識の多言語表記により、外国人旅行者の利便性向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 県土整備部
<p>【施策③】 外国人旅行者が買い物しやすい環境を提供し「四国の右下」での消費を促進するため、観光施設や店舗でのQRコード等のキャッシュレス決済の導入を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 一般社団法人四国の右下観光局において、インバウンドの最新動向とキャッシュレス化等のインバウンド受入環境整備に関するセミナーを実施した。</p> <p>■成果 セミナーに観光関係事業者等20名が参加し、キャッシュレスの導入促進につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策④】 歩き遍路の方々が荷物なく手軽に「四国の右下」を楽しむことができるよう手ぶら観光を推進するとともに、外国人対応ができる取扱店舗を拡大する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 徳島県の「手ぶら観光サービス」に南部圏域では、継続して11施設が対象施設に登録されたほか、（一社）四国の右下観光局において、外国人旅行者おもてなしマニュアルや指差しシートを作成し、インバウンドの受入環境を整備した。</p> <p>■成果 歩き遍路をはじめとする観光客の周遊促進や利便性向上が図られた。 「手ぶら観光サービス」の取扱店舗については、11施設から拡大できなかった。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●牟岐町アプリの登録を推進することにより、カテゴリーごとに町内の多言語化された情報を受けることが可能となる。</p> <p>●観光施設等でのW i - F i 環境整備やキャッシュレス化の推進を図る。</p> <p>●牟岐町の遊び、食、宿泊などの体験ツアーを実施し、食だけでなく体験観光と合わせた交流事業を実施する。</p>	<p>■令和2年度取組 牟岐町アプリのメニュー選択は多言語に対応しているが、掲載された情報は多言語化されていないため今後の課題。</p> <p>■成果 年間201人が新規登録した。</p> <p>■令和2年度取組 モラスコむぎにW i - F i 環境を構築するため、関連機器を購入。</p> <p>■成果 令和3年度から運用開始。</p> <p>■令和2年度取組 観光協会、四国の右下観光局と連携して、体験ツアー等を実施した。</p> <p>■成果 ・観光協会、観光ガイド会と連携した出羽島ガイド（24名）を実施した。 ・観光協会、あんどんの会と連携したあんどん作り体験（59名）を実施した。 ・四国の右下観光局と連携して、四国の右下版スマートライフ先取りツアー（63名）などを実施した。</p>	牟岐町
<p>●外国人観光客誘致促進のため、ホームページ、パンフレットの多言語化、観光案内所への通訳者の配備、W i - F i 環境整備、多言語案内板整備を実施する。</p> <p>●ワールドマスタースゲームズ2021関西を見据え、様々な関係者と連携を強化し、外国人対応力の向上に努める。</p> <p>●増えている欧米系の外国人お遍路のニーズ（ベジタリアン、ビーガン）に対応出来るよう、町内飲食店と連携を図る。</p> <p>●観光案内所における外国人旅行者の災害時における携帯電話等の充電、災害情報の伝達環境を整備し、安心して旅行できる環境を整える。</p>	<p>■令和2年度取組 ・コロナ禍で外国人観光客は皆無であったが、観光案内所に英語対応の出来るスタッフの配置を行った。 ・毎月発行の町広報誌に外国語の日常会話を掲載し住民へ啓発を行った。 ・コロナ禍により外国人お遍路は皆無であったが、ベジタリアン、ビーガンにも流用できる精進料理、薬膳料理について事業を行った。あらたに出来た門前町組合を中心に薬膳料理の普及啓発、冊子づくりを行った。 ・観光案内所に非常用電源及び充電ケーブルと配置し、災害時における電源難民対策を行った。</p> <p>■成果 ・観光客特に外国人に対するサービスの充実が図られたとともに、門前町組合の立ち上げもでき、今後充実を図っていく。 ・各国の日常会話の掲載を楽しみにしている住民の声も聞かれ、啓発が図られている。</p>	美波町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●町内の観光スポット・宿泊施設・飲食店案内のパンフレット等を作製し、道の駅等で配布するとともに、ホームページに掲載する。また、外国語版のパンフレット作成について検討する。</p>	<p>■令和2年度取組 海陽町総合観光パンフレットを作製。</p> <p>■成果 海陽町総合観光パンフレット作製について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度の繰越事業となった。</p>	<p>海陽町</p>

(2) 交流が広がる交通体系の構築

【プラン8】道路ネットワークの整備促進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 四国横断自動車道，阿南安芸自動車道の整備促進	イ 一般国道，県道等の整備促進
--------------------------	-----------------

プラン評価	順調
事務局所見	<p>四国横断自動車道の徳島JCT～阿南間について，用地買収及び工事を促進し，徳島沖洲～徳島津田間が供用された。</p> <p>阿南安芸自動車道の桑野道路，福井道路については，用地買収，調査設計を促進した。また，海部野根道路については，調査設計を進めた。</p> <p>一般国道55号の阿南道路については調査設計，牟岐バイパスについては調査設計及び工事をそれぞれ促進した。</p> <p>阿南小松島線，一般国道193号，195号などの主要幹線道路において，用地買収及び拡幅工事等を実施した。</p> <p>いずれも，事業計画の達成に向け，順調に進捗している。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
四国横断自動車道（徳島JCT～阿南）の整備 '17 工事施工中 → '22 工事促進中 ('20>部分供用 徳島沖洲～徳島津田間) ('21>部分供用 徳島JCT～徳島沖洲間)	工事施工中	促進	部分供用	部分供用	▶	◎
阿南安芸自動車道（桑野道路）の整備 '17 ～ '22 用地買収促進中	用地取得促進	促進	促進		▶	—
阿南安芸自動車道（福井道路）の整備 '17 ～ '22 用地買収促進中	用地取得促進	促進	促進		▶	—
阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備 '17 調査中 → '22 用地買収促進中	調査中	事業着手 促進	促進		▶	—
一般国道55号阿南道路の整備 '17 那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事施工中 → '22 一般国道195号から橋町青木（一般国道55号）	那賀川大橋周辺 2.1kmの4車線化工 事施工中	4車化完成 促進	促進		▶	—
一般国道55号牟岐バイパスの整備 '17 工事施工中 → '22 工事促進中	工事施工中	促進	促進		▶	—

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
阿南ICへの追加ランプ設置(阿南勝浦線) <'17> 調査設計中 → <'22> 工事推進中	調査設計中	推進			▶	—
阿南安芸自動車道(海部野根道路)の整備と合わせた穴喰地区地域防災公園へのアクセス道路の整備(久尾穴喰浦線) <'17> 調査設計中 → <'22> 工事推進中	調査設計中	推進	推進			—
主要地方道阿南小松島線 持井工区の整備 <'17> 用地買収中 → <'22> 工事推進中	用地買収中	推進	推進		▶	—

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
【施策①】 近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道(徳島JCT～阿南間)の整備を促進する。 (ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度取組 徳島JCT～阿南間について、用地買収及び工事を促進し、徳島沖洲～徳島津田間が供用された。 ■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。 	A	南部総合県民局 県土整備部
【施策②】 高規格幹線道路と一体となって、高速交通ネットワークを形成する地域高規格道路である阿南安芸自動車道(桑野道路、福井道路、海部野根道路)の整備を促進する。 (ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度取組 桑野道路、福井道路については、用地買収、調査設計を促進した。海部野根道路については、調査設計を促進した。 ■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。 	A	南部総合県民局 県土整備部
【施策③】 一般国道55号阿南道路那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事及び一般国道195号から一般国道55号(橘町青木)までの間の整備を促進する。 (イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度取組 一般国道195号から一般国道55号(橘町青木)までの間の調査設計を促進した。 ■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。 	A	南部総合県民局 県土整備部
【施策④】 一般国道55号牟岐バイパスの整備を促進する。 (イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度取組 牟岐バイパスの調査設計及び工事を促進した。 ■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。 	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑤】 阿南安芸自動車道の整備効果を県南部に波及させる阿南勝浦線などの関連道路、地域間交流の促進や防災力の強化、渋滞緩和等に寄与する一般国道193号、一般国道195号、阿南小松島線などの主要幹線道路の整備を推進する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 阿南勝浦線、阿南小松島線、一般国道193号、195号などの主要幹線道路において、用地買収及び拡幅工事等を実施した。</p> <p>■成果 事業計画の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「四国の8の字ネットワークのミッシングリンクの解消」に向け、平時の救急救命や災害発生時における「命の道」として必要な「海部野根道路」について、早期事業化を関係町・県と連携し、国に要請する。</p>	<p>●「海部野根道路」については、「地域対策協議会」が発足するとともに現地説明会を行った。海部～牟岐間については、要望活動を行い引き続き事業化に向けて取り組んでいく。</p>	海陽町

【プラン9】次世代に向けた新たな地域公共交通ネットワークの構築

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 「次世代地域公共交通ビジョン」の策定
ウ DMV導入に向けた施設等整備

イ DMVや鉄道等のイベントによる新たな人の流れの創出

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>バス路線については、長大重複路線を再編し、阿南駅へ乗り入れや通学確保を目的とした新系統を設けるほか、新型コロナ回復期におけるインバウンドの受け入れも視野に入れ、バス路線情報のオープンデータ化、阿南駅へのデジタルサイネージの設置等を推進し、利用者の利便性向上を図ることができた。</p> <p>DMVについては、営業運行開始に向けて、駅舎改築や運転保安システムの性能試験の実施など、ハード・ソフト両面の取組を進めるとともに、「あさチェン推進会議」を中心として魅力ある観光コンテンツに取り組んだ。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
「次世代公共交通ビジョン」の策定 〈'17〉 - → 〈'19〉 策定	-	策定	-	-	-	-
		策定	-	-	-	
DMVを活用した観光コンテンツ 〈'17〉 - → 〈'22〉 推進	-	開発準備	開発・推進	推進	推進	-
		開発準備	開発・推進			
阿佐東線へのDMV導入 〈'17〉 - → 〈'20〉 導入	-	推進	導入		-	導入はR3に延期
		推進	推進			

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 「革新的な公共交通ネットワーク」の構築に向け、多様な担い手によるモーダル・ミックスを中心に、まちづくりと連携した交通網を形成し、利用者の増加につながる好循環を生み出せるよう、未来に向けた「地域公共交通の羅針盤」として「次世代地域公共交通ビジョン」を策定する。また、国・県・市町村、バス・鉄道事業者で構成する「徳島県生活交通協議会ワーキング部会」において、「公共交通の最適化」に向けて取り組む。（ア）</p>	<p>■令和2年度取組 令和2年10月のダイヤ改正において、ビジョンに沿った形で幹線系統バス路線の再編を実施し、長大路線や重複路線を再編、モーダルミックスの推進や合理化を行うとともに、利便性を確保するための増便などが行われた。 また、新型コロナ回復期におけるインバウンドの受け入れも視野に入れた、利用者の利便性向上を図るため、バス路線情報のオープンデータ化、阿南駅へのデジタルサイネージの設置等を推進した。</p> <p>■成果 【モーダルミックスの推進】 ・長大重複路線である丹生谷線、橋線を再編し、阿南駅へ乗り入れや通学確保を目的とした新システムを設けるなど利便性を向上 ・幹線系統バスの再編と連動して、運行するフィーダーシステムを再編 ・通学確保を目的とした系統（日赤病院前～橋西）を新設 【環境整備】 ・デジタルサイネージ設置1か所（阿南駅） ・多言語表記化1か所（阿南駅） ・バス情報のオープンデータ化（徳島バス、徳島バス阿南、徳島バス南部） 【利用促進】 ・JR牟岐線と高速バス（阿南大阪線）の連携「南阿波GoGoキャンペーン」（JR通学定期利用者を対象としたバスフリー乗車券配布） ・鉄道、バスの連携「おでかけきっぷ、お泊まりきっぷ」の販売 ・路線バス1日フリー乗車券の販売 など、利用者の利便性向上を図ることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課 海陽町
<p>【施策②】 （一社）四国の右下観光局や（株）阿佐海岸鉄道など関係機関と連携し、観光周遊ルートづくりをはじめとするDMVを活用した魅力ある観光コンテンツを開発する。（イ）</p>	<p>■令和2年度取組 （一社）四国の右下観光局や阿佐海岸鉄道（株）と連携しながら、「あさチェン推進会議」を中心とし、DMVを活用した滞在型コンテンツの造成、沿線マップ等、魅力ある観光コンテンツの開発に取り組んだ。</p> <p>■成果 ・滞在型コンテンツ開発数2件（田園穴喰駅フラワーパーク・八坂神社だんじり竹灯り） ・DMV沿線の観光スポットや体験、グルメなどをまとめた沿線マップ制作し関係各所に配布（10,000部）</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

<p>【施策③】 阿佐東線に2020年度導入予定のDMV等を活用し、中学校の総合学習、各種イベントによる利用促進と地域のにぎわいづくりに取り組む。また、四国の右下55フリー切符等の企画切符についても、各種イベントでのPRにより、利用促進を図り、観光振興に繋がるよう取り組む。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 企画列車の運行や子ども向けイベントの開催及びDMV展示やモードインターチェンジの実演など、利用促進と地域のにぎわいづくりの取組を推進した。また、DMVや「四国の右下55フリー切符」について商談会でPRを行い、県南の観光振興に繋がるよう取り組んだ。 ■成果 ・四国のみぎした55フリーきっぷ販売実績：568枚</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課
<p>【施策④】 阿佐東地域へ、国が一定の評価を示し実用化が可能となったDMVの導入や鉄道活性化に向けた取組みを促進する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 DMVの導入に向けて、阿佐海岸鉄道（株）と連携して駅舎の改築やモードインターチェンジの設置、運転保安システムの構築に取り組んだ。また、車両及び運転保安システムの性能試験を実施し、安全性の検証を進めた。 ■成果 車両のオンレール走行の実施、各駅舎の改築など、DMVの導入に向けた取組みが促進された。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課 海陽町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名	
<p>●民間バス事業者が運行する、市中心部と那賀川・羽ノ浦両町を結ぶ循環バス「ナカちゃん号」の運行支援を行う。</p>	<p>■令和2年度取組 阿南市地域公共交通協議会を開催し、運行計画について協議するとともに、国庫補助（地域公共交通確保維持改善事業）を活用し、運行事業者に対し補助金を交付し、路線の確保維持を行った。 ■成果 令和2年度利用者数 6,743人（前年度比19.9%減）</p>	阿南市	
<p>●75歳以上の高齢者及び運転免許自主返納者を対象としたタクシー料金助成制度継続、また、徳島バス南部への補助を継続することで、地域住民の生活交通の確保を図る。</p> <p>●日常的な交通体系の整備にあわせ、観光的な交通体系（レンタルサイクリング・シータクシー）を模索・検討する。</p>	<p>■令和2年度取組 高齢者のタクシー利用料金助成制度の継続、徳島バス南部への補助を継続し、住民の生活交通の確保を図った。 ■成果 配布率 52.6%（うち使用率 48.3%）</p> <p>■令和2年度取組 令和3年度にレンタルサイクルの実証をするよう協議した。 ■成果 なし</p>	牟岐町	

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●2系統化し利便性を高めた美波病院連絡バスを維持するとともに、拡充した高齢者タクシー助成事業を引き続き実施し、住民の生活交通の確保と美波町の交通体制の構築を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 病院連絡バス，高齢者タクシー助成事業の維持継続。</p> <p>■成果 病院利用者，高齢者の交通手段の確保が図られた。</p>	<p>美波町</p>
<p>●人口減少が進む現状において、関係町・県と連携し、持続可能なJR・阿佐海岸鉄道・徳島バス南部・町営バス等の公共交通ネットワークの再構築を検討する。</p>	<p>●持続可能な公共交通体制を確立するため、年に一度、地域公共交通会議を開催している。なお2020年度は、DMV導入協議会や阿佐東地域公共交通会議も開催し、2021年度DMV運行開始に向け、県と連携しながら取り組んでいる。</p>	<p>海陽町</p>

3 成長産業化による豊かな地域づくり

(1) 地域産業の担い手の育成と確保

【プラン10】次代を担う人材の育成

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 創業人材の育成・誘致	イ 観光人材の育成
ウ 新規就農者の育成と自立支援	エ 若手林業グループや「林業アカデミー」等と連携した担い手の育成
オ 「漁業アカデミー」等と連携した担い手の育成	

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>観光人材育成については、一般社団法人四国の右下観光局において、新型コロナウイルス感染症対策セミナーやインバウンド需要回復を見据えたおもてなしセミナーを開催し、インバウンドの受入環境を整えることができた。</p> <p>農業関係では、農業次世代人材投資事業の活用や、「きゅうりタウン構想」「けんなんニューファーマー育成講座」など、就農前後のサポートを充実強化したことで、8名の新規就農者を育成した。「きゅうりタウン構想」の取組みでは、海部きゅうり塾生の計画的な獲得ができなかったものの2名が新たに就農し、累計19名（16経営体）が栽培を開始したことで、産地の担い手確保が図られた。</p> <p>林業関係では、「緑の雇用」事業の活用や、充実した林業就業体験や林業技術研修を実施した結果、担い手の確保・育成が進んだ。「とくしま林業アカデミー」での即戦力となる人材の育成や那賀高校「森林クリエイト科」、徳島大学「生物資源産業学部」など教育機関が充実したことにより、さらに担い手の確保が期待できる。</p> <p>水産関係では、「とくしま漁業アカデミー」や就業間もない青年漁業者の経営安定化に向けた支援等を行うことで、浜を支える意欲ある担い手の育成・確保が進んだ。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
観光人材を育成するための講座・研修の実施（累計） '17 → '22 16件	—	4件 5件	8件 7件	12件	16件	○
新規就農者数（累計） '17 72人 → '22 146人	72人	101人 103人	116人 111人	131人	146人	◎
施設キュウリ栽培における新規就農者数（累計） '17 9人 → '22 32人	9人	20人 17人	24人 19人	28人	32人	△
新規林業就業者数（累計） '17 55人 → '22 100人	55人	70人 71人	80人 81人	90人	100人	◎
小中高校に対する森林・林業学習の実施（累計） '17 10件 → '22 60件	10件	30件 31件	40件 38件	50件	60件	◎

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
新規漁業就業者数(累計) 〈'17〉62人 → 〈'22〉118人	62人	85人	96人	107人	118人	◎
		81人	88人			
県内高校生等の漁業体験者数(年間) 〈'17〉20人 → 〈'22〉30人	20人	30人	30人	30人	30人	◎
		45人	28人			

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 海部地域において、施設キュウリ栽培の担い手を確保するため、JAや地域の篤農家と連携し、実践的な技術指導を行う「海部きゅうり塾」を開講し、移住者等の新規就農・自立を支援する。 (ア、ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 「海部きゅうり塾」を開講し、実践的な技術指導を実施した。また、主に県外からの新たな塾生候補を確保するため、移住フェアに参加した(東京1回：リモート)。 ■成果 新たに2名(累計19名(16経営体))キュウリ栽培を開始し、産地の担い手確保につながった。 ■新型コロナの影響 体験交流ツアーの中止や県外からの視察受入れの制限、また東京・大阪での移住フェアの開催が控えられるなど呼び込みの機会が減少することで、新たな塾生候補の確保につながらなかった。</p>	B	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策②】 若手林業従事者「山武者」や「もりもり」など地域林業関係者との連携を図り、小中高等学校および大学生を対象とした森林・林業体験を実施し、森林・林業への理解を深めるとともに、林業の担い手の確保につなげる。 (ア、エ)</p>	<p>■令和2年度取組 那賀町林業従事者会「山武者」や森林組合、林業事業者などのサポートを得ながら、フォレストキャンパス那賀等を活用して、那賀高校森林クリエイト科をはじめとした地域の小中高校の生徒を対象とした森林・林業体験を実施し、林業の担い手の確保につなげた。 ※R2実施回数(参加者数)：美波管内3回(92人)、那賀管内4回(72人) ■成果 コロナ禍で多人数の研修等の実施が難しい中、感染防止対策を行いながら、林業機械の操作体験や、植栽の体験研修を実施し、小中高校生に林業の知見が広められた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 四国の右下を訪れる観光客の満足度を高めるため、一般社団法人四国の右下観光局が行う観光人材育成事業を通じて、おもてなしの心で接する観光ガイドや、地域の魅力を体感する体験インストラクター、国際スポーツ大会での外国人対応する通訳ボランティアなど観光人材の育成に取り組む。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 宿泊事業者向けの新型コロナウイルス感染症対策セミナーや、事業者を対象としたおもてなしセミナーを開催し、観光人材の育成や受入環境整備を推進した。 ■成果 新型コロナウイルス感染症対策セミナー(参加者23名)やおもてなしセミナー(参加者20名)を実施することで、観光人材のスキルアップにつながった。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策④】 UJ1ターン者等に対して新規就農への意欲喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な拡大を図るため、「農業次世代人材投資事業」を実施する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 UJ1ターン者等の移住就農についてPR活動を行うとともに、就農後の定着を図り地域の担い手を育成するため、農業次世代人材投資事業を活用し、新規就農をサポートした。 また農業次世代人材投資事業受給者等に対して、簿記研修会、経営研修会、地元農業青年クラブ員との情報交換会（県南ニューファーマーフォーラム等）を開催するとともに、JA部会活動や個別の要望に応じて技術指導を行った。</p> <p>■成果 農業次世代人材投資事業（経営開始型）を、農業者54名（美波管内11名、阿南管内43名）が活用し、地域の担い手育成が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑤】 就農希望者等を対象とした営農基礎研修「けんなんニューファーマー育成講座」を通じて、農業の基本的な栽培技術から関連制度まで、広範囲で基礎的な知識、技術の習得を図るとともに、経営バランスのとれた人材を育成し、就農と地域への早期定着を支援する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 「けんなんニューファーマー育成講座」を、R2年5月～翌年1月まで、14回の講座を実施した。 本年度は、コロナ感染症防止対策を行いながら、講義方法を工夫することで計画どおり実施した。</p> <p>■成果 就農間もない者を含む6名が受講し、基礎的な知識・技術の習得が図られた。また、受講生から新たに3名が就農し、うち2名が農業人材次世代投資金の給付を受け営農を開始した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑥】 「那賀町林業テクノスクール」との連携により、新規就業者を対象にした林業技術研修を段階的に実施し、新規就業者のレベルアップと定着化が図られるよう、林業事業体等を支援する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 「那賀町林業テクノスクール」と連携し、高性能林業機械をはじめとした最新技術の習得やスキルアップを図り、担い手・就業者の確保に取り組んだ。「那賀高校森林クリエイト科」の他、一般の林業従事者に対しても様々な林業に関する技術講習を実施し、令和2年度は那賀高校生156名、一般102名の受講実績があり、新規就業希望者や林業就業者に対しレベルに応じた技術支援を行った。また、今後の計画的な研修実施のため、林業技術雨天研修施設の建設を支援した。</p> <p>■成果 森林・林業に係る研修の実施によって、那賀高校生の資格取得が進んだ。 3年生17名が、小型移動式クレーンや無人航空機(ドローン)操縦技能、日本農業技術検定など11種、延べ144件の資格を取得した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑦】 和食県有林にある「フォレストキャンパス那賀」を拠点に、「とくしま林業アカデミー」を対象にした現地研修や「那賀高校森林クリエイト科」を対象にした林業実習を実施することによって、即戦力となる人材を育成する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 和食県有林内の「フォレストキャンパス那賀」を活用して、「那賀高校森林クリエイト科」を対象に、伐木実習や植栽実習また林業機械の操作実習を3回実施した。</p> <p>■成果 とくしま林業アカデミーの伐木、搬出研修を実施するとともに、跡地で、那賀高校生の植栽実習を実施するなど、効率的な研修の実施により、担い手の育成が図られた。「那賀高校森林クリエイト科」から2名が現場技術者として南部圏域の林業事業体に就業した。また、「とくしま林業アカデミー」から管内事業体へ4名が就業した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑧】 豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 徳島森林管理署、南部総合県民局及び那賀町との連携・協力のもと、「労働安全衛生特別教育（チェーンソー、伐木）や刈り払い機」の資格講習の受講、スイングヤーダ・プロセッサ・フォワーダなどの高性能大型林業機械の操作体験実習を実施するなど、林業教育の充実を図った。また、地元木材加工会社と連携して、レーザー加工機等の設備を有効活用し、木工製品の商品開発に取り組んだ。</p> <p>■成果 国公立大学への進学や林業職の公務員、地域の林業関連産業への就職など、林業に関する様々な知識や技術を身に付けた人材を育成した。</p>	A	教育委員会
<p>【施策⑨】 料理教室やSNSなどによる情報発信を通じて魚食普及活動を行っている椿泊地区の若手漁業者団体「魚っSUN's」を支援する。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和2年度取組 「魚っSUN's」による小学生を対象にした魚食普及のための料理教室の開催を支援した（R2.10.18、YMCA阿南国際海洋センター、参加人数25人）。</p> <p>■成果 消費者に地元の魚をより身近に感じてもらうとともに、漁業および漁村地域への関心を高めることにつながった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑩】 「とくしま漁業就業マッチングセンター」の開設や、誰もが学べる「とくしま漁業アカデミー」の開講等を通じ、地域漁業の未来を担う青年漁業者を確保・育成する。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和2年度取組 「とくしま漁業就業マッチングセンター」や、誰もが徳島の漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」等を通じて新規漁業就業者の育成・確保に取り組んだ。</p> <p>■成果 南部管内で新たに7人が就業し、次代を担う漁業就業者の確保に繋がった。 ※阿南中央(2)、中林(1)、橘町(2)、伊島(1)、牟岐町(1)</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑪】 県内高校生を対象に、漁協と連携して、海士や小型定置網等の実践的な体験漁業に取り組むことによって、漁村地域における就業希望者の積極的な受け入れに向けた意識の醸成を図る。 (オ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部管内の漁業協同組合の協力の下、28人の高校生を対象に、漁業の「まるごと体験会」を2回実施した。 ※R2.10.16 日和佐（一本釣り漁業 19人参加） R2.11.6 日和佐（一本釣り漁業 9人参加）</p> <p>■成果 体験講習会に地元漁業者が一丸となって取り組み、新規就業者の受け入れに向けた漁村地域の意識向上が図られた。</p> <p>■新型コロナの影響 計画していた2地区（鞆浦、穴喰）での体験講習会が中止となった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「木頭ゆず」の更なるブランド化を推進する為、フランスなど海外において商談会への出展・ゆず産地PRを図り、新たな雇用環境の仕組みづくりを検討し、担い手の育成を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 コロナ渦ということを鑑みて、海外及び県外での商談会等（スーパーマーケットトレードショー2021（幕張メッセ）は参加。）は出来るだけ自粛を図り、代わりに県内、町内での「木頭ゆず」及び産地のPRを図った。県内では県やイオンと連携し、出展販売を実施。町内では那賀高校生や四国大学生等、若手生産者との連携による担い手の育成及び確保事業を実施。また新たな試みとしてオンラインによる商談などを実施。</p> <p>■成果 イオン等との連携事業からは、冬至には「ゆず」という再認識、また徳島のブランドとして「木頭ゆず」の知名度向上が図れた。町内事業では四国大学生等、那賀高校生等、未来の就農者等になり得る学生に対して産地及び「木頭ゆず」のPRが図れた。オンライン商談では、今後コロナ渦での一対応策の取組として試みが図れた。</p>	那賀町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●牟岐町ハナエチゼン栽培研究会，JAかいふ，徳島県と連携し，超早期米「はなえちぜん」のさらなるPRとブランド化，今以上の関西方面への販路拡大を図る。</p> <p>●牟岐の農業を守る会と株式会社泉源の商品である牟岐の米と魚を用いた特産品のプッシュアップを進め，6次産業化による消費拡大及び販路開拓を図る。また牟岐町特産品のブランド化を図る。</p> <p>●牟岐の農業を守る会，JAかいふと連携し，もち麦の生産・販売ともち麦を使用した商品開発を町外の大学生と連携して行い消費拡大と販路開拓を図る。</p> <p>●「実生ゆず」がフランスのミシェランガイド掲載の三ツ星レストランのシェフに高評価を経たことから，JAかいふ，徳島県と連携し，収穫者を含め安定した収穫の仕組みをつくる。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西圏の牟岐にゆかりのある方へハナエチゼンのDMを送付することでPRを実施し，関西圏への出荷分は即完売した。今後もDMやSNSを活用してPRしていくことでさらなる販路の拡大を図る。 ・牟岐の農業を守る会，徳島文理大学食物栄養学科，亀井製麺所，美波農業支援センターとの連携により，もち麦を使ったパスタの袋のデザインを作成した。今後，もち麦パスタは文理大学内のコンビニや亀井製麺所のインターネット販売を行うとともに，さらなる販路の拡大とPRを実施する。また，もち麦の販路の拡大も図るとともに，安定供給できるようもち麦の作付け面積の拡大を図る。 ・「牟岐実生ゆず」としてのブランド化を図り，新聞やテレビ，SNS等を活用してPRを実施した。今後もフランス等へ輸出するとともに，国内の販路拡大や実生ゆずを使った6次化を実施し，生産者の所得の向上を図る。 <p>■成果</p> <p>ハナエチゼンのブランド化は進められている。「実生ゆず」の6次産業化の取り組みは実施できた。もち麦をとおして徳島文理大学と連携し商品開発を進め，もち麦の作付け面積を増加することができ，生産者の担い手の確保につながっている。</p>	牟岐町
<p>●全国の希望者を対象に，短期（1週間）～中期（1ヶ月）間程度，一次産業に従事し，就業体験（インターンシップ事業）を行い，一次産業の後継者不足の解消と，移住・定住の促進を図るとともに，起業に係る各種助成制度を創設し，新規就業者に対する支援を行う。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>地域おこし起業支援補助金を活用して，1名の就業支援を行った。</p> <p>■成果</p> <p>1世帯が定住した。</p>	海陽町

【プラン11】担い手を育む地域の育成

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 地域おこし協力隊の活動支援
 ウ 「農の里」づくりによる産地強化
 オ 外国人材活用に向けた体制の整備

イ 「きゅうりタウン構想」の推進
 エ 林業成長産業化モデル地域（県南）における林業担い手の定着促進

プラン評価	順調
事務局所見	<p>「きゅうりタウン構想」の推進について、「交流拠点施設」を核とした体験交流ツアーや施設受入れ等の実施では、コロナ禍の影響を受け体験交流ツアーの中止や視察受入れの縮小もあり、年間の受入者数は減少し、参加者数は累計791名となった。</p> <p>産地や地域住民が主体となり、担い手確保ともうかる農業の実践に取り組む「農の里」づくりについては、「阿南・那賀未来の農業づくり協議会」が中心となり、「木頭ゆず」に続き、新たに「ケイトウの里」づくりをスタートした。若手生産者グループ「チーム木頭ゆず」の活動支援に加え、ケイトウ栽培に取り組む若手生産者グループ「相花夢」と連携することで産地の活性化に向けた活動を展開した。</p> <p>観光分野では、モニターツアー等で得られた意見を関係者間で共有した。また、一般社団法人四国の右下観光局における、おもてなしセミナーやマニュアル等の作成により、外国人旅行者の受入環境整備につながった。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
JAかいふの「交流拠点施設」を核とする体験交流ツアーや施設受入れ等の参加者数（累計） 〈'17〉 - → 〈'22〉 1,000人	-	400人	600人	800人	1,000人	◎
		710人	791人			
「農の里」に取り組む地域数（累計） 〈'17〉 - → 〈'22〉 4件	-	1件	2件	3件	4件	◎
		1件	2件			
観光人材を育成するための講座・研修の実施（累計） （再掲） 〈'17〉 - → 〈'22〉 16件	-	4件	8件	12件	16件	○
		5件	7件			

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 海部地域の特産品「施設キュウリ」を核とした地域創生をめざす「きゅうりタウン構想」の実現のため、「交流拠点施設」を中心に生産者や消費者への全国に向けた情報発信を行いつつ、移住促進による担い手確保と新規就農者の定着化を促進する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 JAかいふが整備した「交流拠点施設」を活用し、県内外から81名（累計791名）の体験交流ツアーや視察者を受入れるとともに、SNS (Facebook)等により、月1回程度の情報発信を実施した。 ※受入れ計10回：10/26（15名）、11/17（15名）、11/30（30名）他 また、新規就農者の自立・定着に向け、令和2年度に栽培開始した2名を含む19名（16経営体）に対して、就農後の栽培技術・経営力向上のためのサポートを実施した。 ■成果 「交流拠点施設」を活用した体験交流ツアー等により、県内外に向けた情報発信の強化と交流促進が図られた。 ■新型コロナの影響 体験交流ツアーや視察受入れの制限により、特に県外を中心に受入者数は大幅に減少した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策②】 阿南・那賀地域において、ブランド品目の生産力の維持・産地強化を図るため、産地や地域住民が主体となり「担い手確保」と「もうかる農業」を実践する「農の里」づくりを推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 「ケイトウの里」づくりでは、仏花以外の新たな需要を提案するため、ビクトリーブーケとして活用されるようPRに努めるとともに、供給力を高めるため、若手生産者グループ「相花夢」による担い手確保のための農業機械バンク制度や、新たな需要拡大に対応できる産地強化としてハウス整備を支援した。 ■成果 露地栽培が主体のケイトウの出荷期間を拡大するため、「相花夢」が行う周年供給体制に向けたハウス整備が進んだ（モデルハウス1戸16a）。また、これらの取り組みを通じ、新たにケイトウ栽培を始める新規就農者の確保につながった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 担い手の高齢化、後継者不足の対応策として、地域農業の生産性向上や農業生産活動の維持を図るため、営農の全部又は一部を協働で行う集落営農組織の育成及び担い手農家への農地集積を推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 阿南市那賀川町芳崎地区と長生町長生中央地区は、農地中間管理事業の重点推進地区として農地中間管理機構関連農地整備事業で、圃場整備事業を実施し、ブロッコリー等の野菜生産の推進を通じ、担い手への農地集積を進めた。 今後、阿南市那賀川町黒地地区、八幡地区等で費用負担によらず基盤整備を実施することができる農地中間管理機構関連農地整備事業を推進する上で、受け手として必要となる集落営農法人をはじめとする担い手の育成を推進する。 ■成果 芳崎、長生中央地区の農地について、農地中間管理機構による中間管理権の設定が完了した。（98.3%）</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策④】 県民が木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動である「木育」を推進するため、木とふれあい、木に学び、木でつながることができる「木育の拠点」を整備する。</p> <p>(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部地域では、海陽町（①まぜのおかオートキャンプ内）、阿南市（②那賀川図書館内、③トヨタカローラ徳島 阿南店内）、那賀町（④地域子育て支援センター及び⑤林業ビジネスセンター内、⑥相生森林文化公園あいあいらんど）に「木育の拠点」が整備されており、木材の良さを体験できる場を提供した。（⑦阿南市役所あなんフォーラム内の木育広場については、コロナウイルス感染症対策のため閉鎖中。） また令和2年11月に、那賀町林業ビジネスセンターで「第2回木育サミットwith那賀」を、東京おもちゃ美術館をはじめ県内外の林業・木材産業関係者等が参加して開催した。</p> <p>■成果 南部地域の「木育の拠点」の利用を促進するとともに、「第2回木育サミットwith那賀」を開催したことで、「木育」への気運を高めることができた。 （南部県民局管内に累計7カ所整備）</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑤】 林業成長産業化地域創出モデル事業の実施や、「那賀町テクノスクール」との連携、小中高生に対する林業体験に取組み、林業担い手の定着を推進する。</p> <p>(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 「那賀町林業テクノスクール」では、「那賀高校森林クリエイト科」102名及び一般156名、併せて累計258名を対象に技術研修を実施し、林業担い手の定着につなげた。 また、小中学生に対しても林業体験学習を2回（10月～12月）実施した。 林業成長産業化地域創出モデル事業を活用して地域外から林業就業希望者を集め、体験会（林業体験2デイズ）を実施した。</p> <p>■成果 中学生や高校生、一般者に対する幅広い就業体験を継続的に行うことで、林業への理解を深めることができた。 ～那賀高校卒業生の就業状況～ 令和元年度：林業事業体等へ7名、関係機関に3名が就業 令和2年度：林業事業体等へ10名、関係機関に2名が就業</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑥】 インバウンドの取組を強化するため、外国人目線での観光資源の発掘や、HP・SNSなどの多言語化を図るとともに、国際スポーツ大会で外国人の対応を行うボランティアの育成に取り組みます。 (オ)</p>	<p>■令和2年度取組 国内在住の海外メディアを対象としたファミツアーや県内在住の外国人を対象としたモニターツアー実施したほか、外国人地域おこし協力隊による英語版SNSによる情報発信を行った。 一般社団法人四国の右下観光局において、事業者向けの「おもてなしセミナー」開催や「外国人旅行者おもてなし対応マニュアル」を作成するなど、インバウンド受入環境を整備した。</p> <p>■成果 海外メディアファミツアー（受入2名）やモニターツアー（受入5名）により、外国人に刺さる観光コンテンツの磨き上げが図られたほか、緊急時の防災避難マップ、おもてなし指差シートの作成など受入環境整備につながった。 英語版SNSによる情報発信 投稿本数156回</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名	
<p>●産業の発展と振興及び農村を含む地域全体の活性化を図るため、「阿南市活竹祭」を開催し、特産品の販売をするなど阿南のPRに努める。</p>	<p>■令和2年度取組 新商品開発等に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。</p> <p>■成果 次年度開催に向けて、関係団体との協議を継続している。</p>	阿南市	
<p>●高校生・大学生等の新規就業者と都市等からの那賀町移住希望者を対象に、町と連携する雇用業者が農林業新規従事者募集を実施する。併せて、既存空き家屋等を雇用事業者が借り上げるシステムづくりを推進する。そして、借り上げた家屋を居住用に使用するにあたって改修が必要な場合、町はその改修費用の補助を雇用事業者に対して行う。これら施策により農林業新規雇用の増進を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 那賀高生を対象に木頭ゆず関係企業や阿南農協の見学説明会を開催、また四国大学生との連携を図り高齢等の理由により収穫できなかったゆず放置園を簡易な加工処理体験を実施した。</p> <p>■成果 次世代を担う地元の高中生や大学生に対しての地域の理解度を深め木頭ゆずや産地の魅力発見により担い手候補者の発掘を進めた。なお町内企業の就職活動促進にも寄与している。</p>	那賀町	

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●道の駅日和佐の物産館入り口脇の、ワンデイシェフ的な活用が出来るチャレンジショップを利用し、集客の向上に加え、飲食関係事業等の新たな展開を模索する。</p> <p>●農家の後継者不足解消及び農地保全に向けて、モデル地区を設定し、農作業を請け負う仕組みを研究する。</p>	<p>■令和2年度取組 令和2年度は5組の方がチャレンジショップを利用され、美波町での新たな事業の展開・商品を模索した。</p> <p>■成果 コロナ禍の中で道の駅日和佐の利用者の減少がある中で、チャレンジショップを有効的に利用することにより、新たな事業展開が図られた。</p>	<p>美波町</p>

(2) 生産を増やし、需要を拡大する「もうかる農林水産業」の推進

【プラン12】世界にはばたく農畜産物のブランド化・6次産業化等の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 農地整備や農業用水の安定供給によるブランド産地支援	イ 「木頭ゆず」・「阿波尾鶏」の販路拡大・6次産業化の推進
ウ 6次産業化に取り組む女性ネットワークの活動支援	エ 「農水連携」での6次産業化の推進
オ 「ストーリーテラー（商品の語り部）」の育成	カ ケイトウなど那賀町特産花きの新たな需要拡大

プラン評価	順調
事務局所見	<p>地理的表示（GI）を活用した「木頭ゆず」の商品開発や販路開拓が進んだ。また、海部郡の女性農業者を中心として、NPO法人やJA職員、輸出事業者など多様な事業者の持つ視点を活用するネットワークを構築し、農業者と女子大学生や輸出事業者等が連携した商品開発を推進したことにより、6次産業化の取組事例が増加した。</p> <p>「木頭ゆず」・「阿波尾鶏」等の海外輸出については、海外食品見本市への出展や量販店でのフェア等により販路拡大に取り組み、目標の9割に到達するなど新型コロナウイルス感染症の流行による輸出先国のロックダウンの影響を受けながらも前年度から増加した。</p> <p>また、女性農業者の商品開発スキルや訴求力を高め、ストーリーテラーとして直接バイヤー等と商談するなど6次化商品の販路開拓に取り組み、新たに3商品を開発した。</p> <p>町やJAと連携した担い手育成の支援により、ケイトウの新たな需要として、ビクトリーブーケに加え、アレンジメントや花束需要に向けた生産拡大の取組が進んだ。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
ゆず・阿波尾鶏等の海外輸出货量 <'17> 19t → <'22> 40t	19t	31t 28.2t	34t 30.8t	37t	40t	◎
「GI木頭ゆず」の6次化商品開発数（累計） <'17> - → <'22> 10商品	-	4商品 4商品	6商品 6商品	8商品	10商品	◎
南部の女性ネットワークを活用した6次化商品開発数（累計） <'17> - → <'22> 14商品	-	4商品 5商品	8商品 8商品	11商品	14商品	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 那賀川流域を中心とした汎用性の高い農地の整備や、良質な農業用水の安定供給に努めることにより、ブランド産地を支援する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 長生西部地区において、0.1haのほ場整備工事等を実施。 また、国営那賀川沿岸農地防災事業の那賀川今津地区・那賀川平島地区・那賀川南岸地区において、2.59kmの用水路改修工事を実施。</p> <p>■成果 管内のほ場整備率が82.5%となり、ブランド産地を支える汎用性の高い農地の整備が進むとともに、良質な農業用水の安定供給が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策②】 TPP11や日EU・EPA（EUとの経済連携協定）などの経済グローバル化にも対応し、南部圏域の基幹農業である施設園芸や土地利用型農業において、次世代に向けた生産・流通での構造改革を推進するとともに、ブランド品目及び育成品目等を中心とした「攻め」と「守り」のきめ細やかな支援により、産地の「体質強化」を実現する。 (ア、イ、ウ、エ、カ)</p>	<p>■令和2年度取組 海部郡及び阿南市の施設キュウリや那賀町のケイトウなど産地の核となる若手農業者の育成や、高性能林業機械導入による生産性向上、漁協施設設備の充実強化、さらには「木頭ゆず」の国内外への販路拡大など、次世代に向けた農林漁業者の取組をTPP関連事業（産地パワーアップ事業（国補）、農山漁村未来創造事業（県単））を活用し、産地を支援した。</p> <p>■成果 阿南市大野地区において、産地パワーアップ事業により、集出荷施設（アグリエール）を再編整備した。「木頭ゆず」においては、輸出に向けた生産体制の強化や、園芸関係ではハウス建設を未来創造事業を活用し、産地の体質強化につなげた。 ○ハウス建設関係内訳 きゅうり10a、フグサ119a、スタチ20a、いちご13a ケイトウ16a</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 丹生谷地域の「木頭ゆず」については、地理的表示（GI）を活かし、他産地との差別化やEU等への青果・加工品の輸出促進など、販路拡大を推進する。 また、「阿波尾鶏」の輸出拡大に向けて、「地域商社阿波ふうど」等と連携を図りながら、重点的な輸出先である香港での販売促進や他国・地域への販路拡大を支援する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 「木頭ゆず」については、地理的表示（GI）を活かした商品開発・販路拡大を支援するとともに、輸出体制を構築するため、海外輸出に対応した栽培管理指導やミカンバエ未発生調査の支援を行った。 「阿波尾鶏」については百貨店フェアやECサイトによる販売強化の支援を行った。</p> <p>■成果 「木頭ゆず」については、選果こん包施設での輸出検査の対応強化が図られるとともに、新たな商品開発・販路開拓が進んだ。 ※R2 新商品開発数：2商品 （木頭ゆず赤とうがらしソース、木頭ゆずとうがらしみそ） また、「阿波尾鶏」については、家庭用需要の喚起を図ることで、香港を中心に輸出量が増加した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策④】</p> <p>南部ならではの魚類、海藻類やキュウリ等の農水産物を活用した6次産業化の推進のため、6次産業化に取組む女性や関係事業者等とのネットワークを構築することで、女性視点の魅力ある商品の開発・販路拡大、農家レストランや農業体験等を支援する。</p> <p>また、多様な女性の視点と情報網を持つネットワークを活かし、南部地域を代表する特産品となり得る「農水連携」による新たな6次産業化商品の開発・PR等を推進する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>女性等の様々な視点を取り入れた商品開発を支援するため、農業者や大学生、加工事業者によるオンライン交流会や、農業者と大学との個別マッチングを実施した。また、加工研修会や交流会をとおして、女性農業者と地域外の農業者やフードコーディネーターとの連携を構築した。</p> <p>■成果</p> <p>四国大学や民間事業者と連携した商品開発等が進みニンジン加工商品等3商品が新たに商品化され、首都圏等に向け販売できた。</p> <p>※JAかいふ：EU向け輸出用実生ユズ果汁「Kaifu Misyo」 山上ファーム：「濃紅みつキャロットカレー」（四国大学と連携） 「濃紅みつキャロットすりおろしポタージュ」</p> <p>また、「牟岐の農業を守る会」は徳島文理大学と連携しもち麦を使用したパスタの開発を行っており、R3年夏までに販売を開始する予定である。</p> <p>さらに、若手女性キュウリ農家を中心に規格外のキュウリを乾燥・パウダー加工し、焼き菓子等の商品に活用する6次産業化の取り組みに着手した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑤】</p> <p>商品と地域の「物語」をバイヤーや消費者に伝える「ストーリーテラー（商品の語り部）」を育成し、商品とその背景にある地域のPRを強化することで、6次産業化商品の販路拡大やインハウンドの誘客促進に繋げる。</p> <p>(オ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>農業者が商談会で直接バイヤーへ売り込みを行う機会の創出や、新聞やテレビ、ラジオ等の積極的な受け入れによりPR技術の向上を図った。また、食育イベントや給食への活用により、地域内での認知度を向上させ、地域全体でPRする体制づくりの支援を行った。</p> <p>■成果</p> <p>「実生ゆず」や「もち麦」について地域全体でPRできる体制が整った。また、商談ができる農業者を育成することで、商談が効果的に行え、東京の産地直送事業を展開する販売会社やフランスやスイスへの販路拡大が行えた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑥】</p> <p>那賀町の特産品「ケイトウ」を中心とした花き産地の再生・活性化を図るため、スポーツイベントのビクトリーブーケとして提案するなど、新たな需用拡大を図るとともに、生産供給体制の強化や人材育成に取り組む。</p> <p>(カ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>「とくしまヴォルティスJ1 復帰記念」や県南地域で開催された「第6回西日本500歳野球大会」にて、「勝利の花」ケイトウのビクトリーブーケを贈呈するとともに「聖火リレータッチ巡回」等で展示し、ケイトウの新たな活用案を提案した。</p> <p>また、新規栽培者に対する初期投資の負担軽減やベテラン農家とのマッチングによるマンツーマンでの栽培、経営指導を支援した。</p> <p>■成果</p> <p>ケイトウの新たな需要として、ビクトリーブーケに加え、アレンジメントや花束需要の可能性が生まれた。また、若手生産者グループ「相花夢」による周年供給体制の整備が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「木頭ゆず」の更なるブランド化を推進する為、フランスなど海外において商談会への出展・ゆず産地PRを図るとともに、農作業お助けセンターを核として、新たな雇用環境の仕組みづくりを検討し、担い手の育成を図る。〈再掲〉</p> <p>●鹿肉加工商品を開発販売し、ブランド化することにより、地場産業として定着化させ地域の雇用創出を図る。</p>	<p>※「木頭ゆず」については〈再掲〉プラン10に記載。</p> <p>■令和2年度取組 コロナ対策として、年度前半はジビエカーの利用を中心に、家庭向けの新商品を開発支援など創意工夫しながら事業実施を行った。しかしコロナの影響が強く、鹿肉加工の中心であった(株)四季美谷温泉が休業、その後解散となった。そのため販売等が出来なくなり、地場産業として定着化、地域の雇用は図れなかった。</p> <p>■成果 成果は上記のとおり得ることが出来なかった。次年度については、新たな鹿肉加工事業者を迎え、今後の取組の方向性など、県を含め連携を図り、支援を中心にブランド化の確立等を図っていく。</p>	那賀町
<p>●牟岐町ハナエチゼン栽培研究会、JAかいふ、徳島県と連携し、超早期米「はなえちぜん」のさらなるPRとブランド化、今以上の関西方面への販路拡大を図る。</p> <p>●牟岐の農業を守る会と株式会社泉源の商品である牟岐の米と魚を用いた特産品のプッシュアップを進め、6次産業化による消費拡大及び販路開拓を図る。また牟岐町特産品のブランド化を図る。</p> <p>●牟岐の農業を守る会、JAかいふと連携し、もち麦の生産・販売ともち麦を使用した商品開発を町外の大学生と連携して行い消費拡大と販路開拓を図る。</p> <p>●「実生ゆず」がフランスのミシェランガイド掲載の三ツ星レストランのシェフに高評価を経たことから、JAかいふ、徳島県と連携し、収穫者を含め安定した収穫の仕組みをつくる。</p> <p style="text-align: right;">〈再掲〉</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西圏の牟岐にゆかりのある方へハナエチゼンのDMを送付することでPRを実施し、関西圏への出荷分は即完売した。今後もDMやSNSを活用してPRしていくことでさらなる販路の拡大を図る。 ・牟岐の農業を守る会、徳島文理大学食物栄養学科、亀井製麺所、美波農業支援センターとの連携により、もち麦を使ったパスタの袋のデザインを作成した。 <p>今後、もち麦パスタは文理大学内のコンビニや亀井製麺所のインターネット販売を行うとともに、さらなる販路の拡大とPRを実施する。また、もち麦の販路の拡大も図るとともに、安定供給できるようもち麦の作付け面積の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「牟岐実生ゆず」としてのブランド化を図り、新聞やテレビ、SNS等を活用してPRを実施した。今後もフランス等へ輸出するとともに、国内の販路拡大や実生ゆずを使った6次化を実施し、生産者の所得の向上を図る。 <p>■成果 ハナエチゼンのブランド化は進めれている。「実生ゆず」の6次産業化の取り組みは実施できた。もち麦をとおして徳島文理大学と連携し商品開発を進め、もち麦の作付け面積を増加することができ、生産者の担い手の確保につながっている。〈再掲〉</p>	牟岐町
<p>●商工会や観光協会、漁業協同組合、JAかいふ、場合によっては民間事業者や大学等とも連携を模索し、新たな技術や装置の試験導入も試みながら、既存産品をベースとして或いはいくつかの産品を組み合わせる新たな産品を創出し、販路開拓を試みる。</p>	<p>■令和2年度取組 「駅弁・惣菜開発」をベースにして新たな商品の開発を模索し、他の関係団体との連携を図った。</p> <p>■成果 新商品開発に対する職員の意識改革にも繋がった。</p>	美波町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●有機作物栽培の元気農業研究会（勉強会）の実施。海陽町野菜のブランド化を行うとともに消費者へ向けた野菜の価値をPRし、消費拡大、新規販売ルートの開発を目指す。</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルスによる影響により勉強会やイベント出品等一部の活動が予定通りに実施できなかった。</p> <p>■成果 上記の影響により予定した成果を得られなかったが、研究会会員の技術力向上により、オーガニックフェスタ栄養価コンテストで最優秀賞を獲得し、ブランド化に寄与することができた。</p>	<p>海陽町</p>

【プラン13】 県南ならではの水産物のブランド化等の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 「海部の魚」のPR・販売促進
ウ 低利用・未利用素材などの水産物の6次産業化商品の開発支援

イ 大学等高等教育機関や企業と連携した新たな漁業の創出
エ 種苗放流や藻場造成など「資源管理型漁業」の推進

プラン評価	順調
事務局所見	種苗放流による水産資源の維持・増大や水産物出荷・流通施設の整備による漁獲物の付加価値向上等に取り組んだ結果、県産水産物のブランド力強化が図られるなど、目標達成に向け、順調に進んでいる。

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
水産加工品の開発数(累計) <'17> 1商品 → <'22> 10商品	1商品	4商品 4商品	6商品 7商品	8商品	10商品	◎
水産物出荷・流通施設の整備箇所数(累計) <'17> 13箇所 → <'22> 25箇所	13箇所	19箇所 21箇所	21箇所 22箇所	23箇所	25箇所	◎
水産関係の6次産業化の取組件数(累計) <'17> 8件 → <'22> 12件	8件	9件 9件	10件 10件	11件	12件	◎
魚・貝類の種苗放流の実施件数(累計) <'17> 41件 → <'22> 69件	41件	51件 53件	57件 58件	63件	69件	◎

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 海部郡の全12漁協、関係町等で組織する「とくしま海部水産物品質確立協議会」を中心に、海部郡内の水産物の産地強化を支援するとともに、ブランド化、6次産業化を推進し、漁家所得の向上、漁協経営の安定を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 「とくしま海部水産物品質確立協議会」による産直市におけるPR販売やイセエビ動画の配信など、海部郡内の水産物の産地強化に向けた取組みを推進した。</p> <p>■成果 かいふ水産ブランド「海部の魚」等の知名度向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策②】 漁協の冷凍冷蔵庫、活魚出荷施設など、出荷・流通施設整備を支援し、品質向上による漁家経済の安定・向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 水産物の品質向上による漁家経済の安定・向上を図るため、農山漁村未来創造事業（県単）を活用した漁協の施設整備を支援した。</p> <p>■成果 牟岐東漁協における水産物鮮度保持施設（冷凍庫）の整備が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 海藻、貝類の養殖拡大を視野に入れ、大学や企業と連携し、新しい漁業の創出を図る。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 美波町の漁業者等で組織する「美波の海の恵み研究会」によるワカメの養殖試験を指導するなど、新しい漁業の創出に向けた取組みを推進した。</p> <p>■成果 早取りの養殖ワカメ「明けの春姫」など、新しい漁業の創出に向けた取組みが推進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 美波町
<p>【施策④】 漁業関係者と大学等が連携して、地元食材、低利用・未利用の素材を用いた新商品の開発などの活動を支援する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 漁業関係者等による地元食材であるタコを用いた新商品の開発に向けた活動を支援した。</p> <p>■成果 新たに3商品（タコのアヒージョ、タコのマリネ、タコの Pastaソース）が開発され、平成29年度からの累計開発数は7商品となった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 海陽町 美波町
<p>【施策⑤】 自治体や漁協が実施する種苗放流および増養殖場整備など、資源増大や漁場機能の回復を図る取組みを支援する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 水産資源の増大や漁場機能の回復を図るため、国や県単の補助事業を活用し、漁協が実施するアワビ・トコブシの種苗放流の取組みを支援した。</p> <p>■成果 アワビ種苗放流3件（伊島漁協、牟岐東漁協、牟岐町漁協）、トコブシ種苗放流2件（牟岐東漁協、牟岐町漁協）の実施により、水産資源の増大が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●広域浜プランの取組みのひとつである、アワビ輪採制事業で収穫したアワビのブランド化を図る。</p> <p>●「アワビまつり」において、漁協と連携してアワビをはじめとする地元鮮魚・魚介類の販売や海を活かしたPRを実施することで、交流人口の増加を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 R2はコロナの影響によりすべてのイベントは中止となった。また、輪採制アワビについては採捕予定だったが、放流貝の更なる成長を見込むため、予定期間を延長。</p> <p>■成果 アワビ不漁が続く見込みであることから、アワビから牟岐の新鮮な水産資源としてナガレコ、活魚、イセエビなど幅広く水産資源をPRするため、アワビまつりから「漁師まつり」として再出発していく。</p>	牟岐町
<p>●美波の海の恵み研究会等が、海藻養殖事業にてブランド化した早摘みワカメ“明けの春姫”とワカメめかぶを配合した植物発酵エキス配合飲料“ハルヒメ”の販路拡大を支援する。</p>	<p>■令和2年度取組 例年同様、明けの春姫生産・販売に関する支援を行った。ハルヒメは賞味期限延長試験の実施、企画展での販路拡大等を行った。</p> <p>■成果 研究会等の明けの春姫種苗は温暖化を要因とする海水高温化により枯死し、植え直しを行った種に関しても枯死したため収穫できなかった。地元小学校の六次産業化授業で使用する種苗に関しては生長が見られ確保できたため、メディアに取り上げてもらいブランドの維持を図った。ハルヒメは賞味期限延長試験に成功し販売期間が長くなった。企画展への出品により認知度向上できた反面、コロナによる消費減退により県外への販促が滞った。</p>	美波町
<p>●町内3漁協（浅川、鞆浦、穴喰）合同で「とれとれ市」（鮮魚販売）を漁協主体により開催する。また、冷凍加工設備を使用し、地元食材を学校給食に提供するとともに新商品と販売ルートの開発を行う。</p>	<p>●コロナのため「とれとれ市」未開催</p>	海陽町

【プラン14】 県南林業の成長産業化の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 競争力・生産性の高い林業・木材産業の推進
 ウ 「新たな森林管理システム」の本格運用
 オ 計画的な路網整備の促進

イ 伐採・再造林による循環型林業の促進
 エ 森林環境譲与税を活用した林業の成長産業化の推進

プラン評価	要改善
事務局所見	<p>令和元年度からスタートした「スマート林業プロジェクト」により、これまで取り組んできた搬出間伐に加え、主伐による県産材の増産を図るため、フェラーバンチャなどの主伐に対応した先進林業機械の導入やドローンの有効活用を進め生産性の向上を図るとともに、コンテナ苗木などを活用した再造林を進めた。</p> <p>また、令和元年度から始まった「新たな森林管理システム」の構築を支援するとともに、「森林環境譲与税」の活用を図るなど、森林資源の循環利用と持続的な林業を展開した。</p> <p>今後も先進機械の導入や、「とくしま林業アカデミー」及び「那賀高校森林クリエイト科」と連携した人材育成を図るとともに、令和2年度に「雨天研修施設兼管理棟」が建設された「那賀町林業テクノスクール」と連携した林業資格研修等に取り組み、県産材生産量の拡大に努めるとともに再造林の実施により循環型林業を促進し、林業の成長産業化に繋げる。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
県産材の生産量 <'17> 15.2万m ³ → <'22> 26.3万m ³	15.2万m ³	20.9万m ³	22.4万m ³	23.8万m ³	26.3万m ³	△
主伐後の再造林面積 <'17> 79ha → <'22> 95ha	79ha	80ha	85ha	90ha	95ha	○
		43ha	75ha			

主要施策・主要事業	令和2 ('20) 年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 年々充実を続ける森林資源の積極的な活用を図る「スマート林業プロジェクト」を推進する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■ 令和2年度取組 林業生産の基盤となる高性能林業機械の導入（美波1台＋那賀4台）や林内路網の整備はもとより、「とくしま林業アカデミー」により即戦力となる12名の林業技術者を育成するとともに、新たな需要となる木質バイオマス発電所が安定的に稼働を推進した。</p> <p>■ 成果 木材の増産体制の充実が図られた。</p>	A	スマート林業課 南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策②】 「ウッドソリューションセンター」を中心に、事業地確保による主伐等の推進に向けた取組みを展開する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 林業における様々な課題を解決する「ウッドソリューションセンター」について、美波管内では、海部森林組合内に「海部ソリューションセンター」を設置し、主伐を中心とした事業地確保に取り組んでいる。那賀管内では、「那賀町森林管理サポートセンター」による境界明確化や機械化推進など、主伐実施に向けた取組みを行った。</p> <p>■成果 森林整備の事業地確保が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 これまで取り組んできた搬出間伐に加え、主伐による県産材の増産を図るため、先進的な林業機械の導入や効率的な路網の整備等により、生産性の向上を図るとともに、主伐後の再造林も積極的にを行い、森林資源の循環利用と持続的な林業を展開する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 新林業システムについては、高性能林業機械の導入や作業路網の開設を支援した。また、伐採後の再造林を積極的に行うなど、森林資源の循環利用と持続的な林業の展開に取り組んだ。</p> <p>■成果 南部管内で高性能林業機械を（美波1台＋那賀4台）導入するとともに、作業路網の開設により、生産性向上に向けての効率化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策④】 主伐後の造林経費の負担軽減を図るため、植栽時期を選ばず、年間を通じて植栽が可能となる次世代苗木（コンテナ苗）を活用した造林を推進する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 森林所有者への負担が大きい再造林について、森林環境保全直接支援事業や環境林整備事業の「造林公共事業」を活用して、造林を実施した。</p> <p>■成果 伐採後の新植について、大半がコンテナ苗木による造林が行われており、裸苗からコンテナ苗へ、低コスト造林への移行が進みつつある。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑤】 平成31年度4月から施行された「森林経営管理法」に基づき、市町村が主体となった「新たな森林管理システム」の構築・運用を支援するとともに、「森林環境譲与税」の積極的な活用による森林の適正な整備・管理・担い手の育成、さらには木材の利用を促進するなど、「林業の成長産業化」に向けた取組みを加速する。</p> <p>(ウ、エ)</p>	<p>■令和2年度取組 「とくしま南部地域森林管理システム推進協議会」を母体として海陽町に「ハローフォレスト海部」が、那賀町に「ハローフォレスト阿南・那賀」が開設され、森林所有者の持つ山の管理についての相談に対応するとともに、所有者に対し林業経営の意向調査を実施した。</p> <p>■成果 意向調査の区域が拡大すると共に、「森林環境譲与税」を財源とした森林境界の明確化、森林整備事業も実施され、適切な森林の整備・管理・担い手の育成、木材利用を促進する体制が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑥】 効率的な森林施業を実施するため、林道・林業専用道や作業道等を適切に組み合わせたネットワークを整備するなど、計画的な林内路網整備を推進する。</p> <p>(オ)</p>	<p>■令和2年度取組 効率的な森林施業を実施するため、円滑な皆伐作業に必要な林道・林業専用道や、間伐材搬出用の作業道等を整備延長する等、計画的な林内路網の整備・配置を推進した。</p> <p>■成果 令和2年度に県内で149kmの林内路網が整備されるなど、効率的な森林施業につながった。</p>	A	スマート林業課 森林整備課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●木粉を材料とした二次製品の販路拡大に向けた市場調査等を支援する。</p> <p>●木づかい住宅支援事業により、町産材の活用を推進する。</p> <p>●里山の高林齢化した未整備林を整備し、地域住民の生活圏周辺の森林環境と生活環境の改善を図る。</p> <p>●林業の担い手確保と育成を図るとともに、新たな施業システムの導入に向けた研究・開発を推進する。</p>	<p>■令和2年度取組 市場調査等により(株)那賀ウッドで製造された木粉から二次製品として、木粉簡易トイレ（災害時等の吸着剤）、Ecoうちわ、Ecoポットなど新商品を開発し販売を行った。</p> <p>■成果 木粉を使った新商品については、形成技術の進歩もあり、より複雑な形状が製造できつつある。また、SDGsの観点からプラスチック代替材料として需要が見込まれる。</p> <p>■令和2年度取組 木づかい住宅等支援事業：1件 15.85㎡</p> <p>■成果 町内の新築案件が1件にとどまった。今後はリフォームや非住宅にも支援を拡充する。</p> <p>■令和2年度取組 里山再生を図るため3.24haの森林を伐採。令和3年度に広葉樹を植栽する。</p> <p>■成果 集落周辺の日照が良くなるなど評価は高い。</p> <p>■令和2年度取組 林業体験「3Days」や那賀高校クリエイト科の生徒を対象に伐倒体験や高性能林業機械の試乗体験を実施し担い手確保に努めた。また、新たな施業システムの研究・開発として、「ケーブルグラップル」の開発を行った。</p> <p>■成果 新型コロナウイルスの影響もあり3Daysを2Daysとし、林業アカデミー生を対象とするなど規模を縮小して実施せざるをえなかった。ただ、2年度は林業アカデミー生が那賀町の林業事業体への就職がなかったのが課題である。</p>	<p>那賀町</p>

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●森林環境譲与税並びに森林環境税を活用し森林の境界線を明確化することで、施業の効率化、高速化を図る。また、意向調査に基づき、とくしま南部地域森林管理システム推進協議会等と連携を図りながら、森林の資源管理、経営についての可能性を探る。</p> <p>●整備されていない広葉樹林帯から備長炭を作り、備長炭を活用した新たな商品開発に取り組む。また、樫木林業による循環型林業の推進を図り、体験型林業をとおして人材育成を推進する。</p> <p>●木材利用のため、大学の建築サークルやかいふの木の家と連携して、町有施設改修事業において木材利用を推進する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> とくしま南部地域森林管理システム推進協議会へ負担金を支払い、明確化事業河内地区にて、森林整備事業（間伐）を川長地区にて実施。意向調査は河内地区東側と内妻地区、中村地区で実施した。 コロナ感染拡大防止のため、体験イベントについては実施無し。 徳島大学建築サークルAUTがかいふの木の家と連携し、町有施設「CAN・SO」を改修。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 意向調査：463件、明確化事業：37ha（9筆）、森林整備事業：5.75ha 町有施設「CAN・SO」の浴槽を改修。海部産木材を活用。 	牟岐町
<p>●森林環境譲与税を活用し、森林整備をはじめ、担い手の確保や林業就業者の育成を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>とくしま南部地域森林管理システム協議会により森林管理に対する意向調査、森林境界の明確化及び森林整備として間伐を実施した。</p> <p>■成果</p> <p>意向調査1地区480件、森林境界明確化 赤松地区72ha、森林整備（間伐）12.07haを実施した。</p>	美波町
<p>●海陽町産材活用住宅建築推進事業費補助金対象を拡充し、町産材の活用を推進する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>海陽町産材を活用した住宅や倉庫の建築費の補助</p> <p>■成果</p> <p>申請実績なし</p>	海陽町

(3) 「超スマート社会」の実現

【プラン15】「スマート農林水産業」の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア IoT技術導入等による先進農業モデルの構築
ウ 漁業におけるリアルタイム水温等情報配信システムの利用推進

イ ドローン等を活用した森林調査やシカ防護柵の見回り効率化

プラン評価	順調
事務局所見	<p>次世代園芸技術を導入したキュウリ農家の10aあたりの収量については、「きゅうりタウン構想」の目標とする30トンの実現に向けて着実に栽培技術が向上している。</p> <p>管内で開催された産業用ドローンによる苗木資材等運搬研修に参加し、管内事業者とドローンの活用について検討した結果、新たな利活用についての機運が高められた。</p> <p>また、ICTを用いた海水温の観測機設置は、順調に進んでおり、効率的な漁業の推進に寄与している。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
年収1,000万円を目指し次世代園芸技術を導入したキュウリ農家の10aあたりの収量 <'17> 23t → <'22> 30t	23t	25t	28t	29t	30t	◎
ドローン活用した林業用防護柵の見回り地区数 <'17> 試験実施 → <'22> 推進	試験実施	実証試験実施	推進			—
ICTを用いた海水温の観測機設置箇所数 <'17> — → <'22> 5箇所	—	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	◎

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】</p> <p>「きゅうりタウン構想」を実現するため、次世代園芸技術（養液栽培、複合環境制御、IoT技術）の導入・定着を図り、ベテラン農家並の多収技術を確立することにより、新規就農者の生産性向上を実装するモデルを構築する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>IoT等の次世代園芸技術を導入した7経営体が、目標収量の達成に向けて取組み、2経営体が目標収量の28トン達成した。また、これまでに知見をもとにマニュアルを改訂した。</p> <p>■成果</p> <p>栽培経験の浅い新規就農者でもマニュアルを基に栽培管理を行うことで、さらなる生産性向上が可能であることが明らかとなった。</p>	A	南部総合農政局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 林地において、ドローンを活用したシカ防護柵の管理技術の実証や、森林調査の利用などを検討し、林地管理の効率化を促進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 シカ防護柵の見回り区域の拡大を推進するとともに、管内で開催された産業用ドローンによる苗木資材等運搬研修に参加し、管内事業者とドローンの活用について検討した。</p> <p>■成果 管内での研修の結果、ドローンの新たな有効活用が実証され、管内事業者のドローン利用に対する機運が高められた。 ※導入の状況 R1年に海部森林組合1台導入 R3年に坂本林業1台導入予定</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 ICT技術を用いて海水温等のデータを集積し、漁獲量との関連性を調べるなど、「リアルタイム水質情報配信システム」の活用を促進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 伊島地先に観測機器を設置し、ICT技術を用いて海水温等のデータを集積する体制を整備するなど、「リアルタイム水質情報配信システム」の活用に向けた取組を促進した。※設置場所（R1：今津，椿泊，伊座利 R2：伊島）</p> <p>■成果 ICT技術を用いた効率的な漁業の推進に寄与した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 水産研究課

【プラン16】革新技術を活用した地域課題の解決

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 集積するS0企業と連携したICT人材の育成	イ コワーキングスペースの積極的活用
ウ IoT・AI等を活用した、戦略的なインフラのメンテナンス<再掲>	エ 「i-Construction」の取組みによる建設現場の生産性向上

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>サテライトオフィス進出企業と地元企業とのマッチングイベントを実施し、地元企業が持つ課題に対してサテライトオフィス進出企業のノウハウを活かしたアクションプランを作成するなど、地域課題の解決を図るとともに、サテライトオフィス進出企業の定着を図る取組みが実施できた。</p> <p>さらに、LED関連企業の応用製品開発や製品の付加価値化を支援するため、とくしまオンリーワンLEDの認証やLEDサポートセンターの運営を行った。一方で、新型コロナウイルスの影響により、LED応用製品の海外における大規模展示会での出展支援を中止した。</p> <p>また、土砂災害による被害から生命・財産を守るため、指定を完了させた土砂災害警戒区域に関する情報を広く住民に周知した。</p> <p>床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）や河川改修事業（福井川）においては、ICT土工により築堤工事が完成した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
コワーキングスペースを活用した地域課題の解決や新しいビジネス創出 <'17> - → <'22> 推進	-	推進				-
LED新製品開発支援件数（県全体・累計） <'17> 145件 → <'22> 290件	145件	200 212	230 234	260	290	◎
LED応用製品の海外市場開拓数（県全体・累計） <'17> 10ヶ国 → <'22> 18ヶ国	10ヶ国	12 12	14 12	16	18	○

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 水産研究課美波庁舎に設けたコワーキングスペース「ミナミマリラボ」等において、サテライトオフィス、大学、地元企業、地域住民等多様な主体が連携した地域課題の解決への取り組みやAI、IOTなどSociety 5. 0の革新技術に対応できる人材の育成等を促進する。 (ア、イ)</p>	<p>■令和2年度取組 サテライトオフィス進出企業と地元企業とのマッチングイベントを実施し、地元企業が持つ課題に対してサテライトオフィス進出企業のノウハウを活かしたアクションプランを作成。 ■成果 参加したIOT関連の進出企業から業務のIT化の提案があり1社が受注。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町
<p>【施策②】 IoT・AI等を活用し、費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図るため、予防保全等の計画的なインフラのメンテナンスを推進する。〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 ビデオカメラを搭載した道路パトロール車による路面性状調査を実施した。 ■成果 新技術を活用した路面点検自動化が管内全域に展開できた。〈再掲〉</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策③】 土砂災害による被害から生命・財産を守るため、土砂災害警戒区域に関する情報を広く地域住民等に対して周知するとともに、きめ細やかな雨量情報を提供するIoT雨量計の設置を推進する。〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 IoT雨量計を19箇所設置した。（阿南管内7箇所、那賀管内5箇所、美波管内7箇所） ■成果 局地的集中豪雨等の事前準備として、きめ細やかな雨量情報の提供に寄与し、地域住民の安心・安全に役立てられた。〈再掲〉</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策④】 今後の労働力不足に対し、安全で魅力ある建設現場とするため、「i-Construction」の取り組みを推進し、建設現場の生産性向上を図る。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部健康運動公園の舗装工事、床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）の5箇所等においてICTを活用した工事を実施した。 ■成果 作業の省力化や効率化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑤】 LEDバレイ徳島の世界展開を進めるため、LED関連企業の開発・生産、ブランド化、販路開拓などを支援することにより、次世代LED産業クラスターの形成を推進する。 (ア、イ)</p>	<p>■令和2年度取組 県産LED製品の国際市場における競争力の飛躍的向上を図るため、国際規格・ISO17025を満たす「LED測光試験所」である工業技術センターにおいて、県内企業の製品に国際規格適合の成績証明書を付与し、海外展開を後押しした。 ■成果 LED応用製品の海外市場開拓数：12ヶ国（目標14ヶ国） ■新型コロナの影響 海外大規模展示会への出展中止</p>	B	新未来産業課
<p>【施策⑥】 徳島大学など県内高等教育機関、県内企業、工業技術センターの共同研究の推進等により、LED応用製品の開発支援に取り組む。 (ア、イ)</p>	<p>■令和2年度取組 国内大手や海外企業の低価格製品に対抗するためには、より付加価値の高い製品づくりが求められていることから、県独自の認証制度や共同研究の推進により県内LED企業における応用製品の開発支援に取り組んだ。 ■成果 LED新製品開発支援件数：234件（目標230件）</p>	A	新未来産業課

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑦】 県内LED関連企業が開発・生産する高品質なLED応用製品を大規模展示会から発信し、国内外市場における販路開拓を支援する。 (ア、イ)</p>	<p>■令和2年度取組 新たな市場展開を目指す県内LED企業の情報発信や販路開拓を支援するため、徳島ビジネスチャレンジメッセ（オンライン）への出展を支援した。 ■成果 LED応用製品の海外市場開拓数：12ヶ国（目標14ヶ国） ■新型コロナの影響 海外大規模展示会への出展中止</p>	B	新未来産業課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●阿南市における「LED 光のまちづくり」の各種施策について研究・検討する。</p> <p>●阿南高専と連携して設置したインキュベーションセンターにおいて、LED製品など新たな技術を開発する企業等を支援する。</p> <p>●インターネット動画サービス等により、「青色LED発祥の地阿南」「光のまち 阿南」を世界に発信することで、新しい利用の方向性を求める。</p> <p>●「光のまちステーションプラザ」を核としたLED体験・体感の充実を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 ・阿南インキュベーションセンターに入所中の4社において、新技術の研究を進めた。また、最新情報入手のために県企業支援課との連携に努めた。 ・光のまちステーションプラザにおいて、光のまちづくり事業の歴史及びオブジェの展示を行い、事業の一環として光のイベントを実施した。 ■成果 「光のまち阿南」を世界に発信するための意見交換会等を開催、冬の光のイベントでは、コロナ感染対策を行い、ステージイベントをチューブで生配信し、本市の「光のまち」としての知名度向上が図られた。</p>	阿南市
<p>●ドローンの活用により、農林業への利活用等地域課題の解決に向けた社会実装を行う。</p>	<p>■令和2年度取組 ドローンを利活用した業務を行う地域商社（法人格を有する）を設立するため、地域商社設立協議会を立ち上げ、設立準備を行った。 ■成果 令和3年度中に希望者を募集しプロポーザル実施の上、地域商社を設立する。</p>	那賀町
<p>●地域課題解決のための事業を、産官学連携によりICTを活用して実証を進める。</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施なし</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●止まらない通信網の全町展開に向けスマートシティ構想の構築を図る。</p> <p>●サテライトオフィス、大学等と連携し、防災対策など地域課題解決に向け取り組んでいる事業のさらなる発展と充実を図る。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・止まらない通信網の全町展開に向けスマートシティ構想の構築を図る。 ・サテライトオフィス、大学等と連携し、防災対策など地域課題解決に向け取り組んでいる事業のさらなる発展と充実を図る。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行計画の作成完了。 ・ニタコンサルタント（県内企業）の新規進出により、町道等の冠水モニタリングシステム開発、実証を開始した。 	<p>美波町</p>

4 自然とともに歩む地域づくり

(1) 美しく豊かな自然環境の保全と継承

【プラン17】多様な自然環境の保全

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 貴重な自然資源の保護と次世代への継承
ウ 地域特性を活かした多様で健全な森林への誘導

イ 森林の公有林化の推進
エ 「適正管理計画」に基づく野生生物の適正管理

プラン評価	順調
事務局所見	<p>南部圏域の豊かな自然環境を保全するため、間伐等による森林整備や、公有林化による森林の適切な保全・管理が進んでいる。</p> <p>千年サングサポーター数は、順調に増加している。今後も継続したサポーター募集・保全活動に取り組むとともに、次世代を担う若年者への啓発活動を軸に、あらゆる機会を捉えて情報発信して行く。</p> <p>狩猟免許新規合格者数(累計)は、9割以上達成しており、令和元年度以降の新規試験合格者の約2/3は、60歳未満の人が占めるなど、比較的若い世代への普及が進んでいると見られる。</p> <p>しかし、現状において、狩猟免許所持者の3/4以上は、60歳以上であることから、南部地域の高齢化・人口減少が進行する中、若年層への啓発活動を一層強化し、受検者数の増加を図って行く必要がある。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
民間協働で取り組む自然資源の保護活動支援者(千年サングサポーター)数 <'17> 321人 → <'22> 360人	321人	330人 333人	340人 342人	350人	360人	◎
公的管理森林面積(累計) <'17> 3,079ha → <'22> 4,900ha	3,079ha	3,800ha 4,059ha	4,200ha 4,452ha	4,500ha	4,900ha	◎
狩猟免許新規合格者数(累計) <'17> 333人 → <'22> 540人	333人	420人 409人	460人 439人	500人	540人	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 県南部の生物多様性の保護と「千年サンゴ」をはじめとする貴重な自然資源を守り、次世代に継承するため地域住民等と連携した保護活動を推進する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、体験学習や各種イベントを通じての啓発が実施できなかったが、千年サンゴと生きるまちづくり協議会と連携し、千年サンゴの保全活動等に取り組んだ。 ※千年サンゴ保全活動 2回、海中環境調査 1回 ■成果 千年サンゴサポーター 342人</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策②】 水源林をはじめとする環境や防災面で重要な森林について、所有者の管理放棄や目的が明らかでない森林買収などに対応するため、公有林化（県版保安林、県・市町有林化等）を進め、適切な保全を図る。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 県有林化等推進事業や企業局の森づくり支援事業等により、森林を取得したほか、徳島森林づくり推進機構による分収林の買収等を行うとともに、県版保安林の指定を行い、森林の公有林化や公的管理を進めた。 ■成果 県と那賀町による森林の取得85.26haに加え、徳島森林づくり推進機構による公有林化（森林取得、分収林買収、管理受託）を155.37ha実施したほか、県版保安林を42.03ha指定し、また、「森林経営管理法」に基づく、林業経営に適さない森林の市町村による管理（公的管理）110.25haも加え、森林の公有林化や公的管理を推進した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策③】 造林・間伐による人工林の適正な整備や、「樵木林業」による広葉樹林の整備など、健全で豊かな森林の維持造成を図る。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部圏域において、造林の実施に加え、下刈や間伐、作業道開設などの適切な森林整備を進めた。 ■成果 約1,056ヘクタールの間伐事業や約29.5千メートルの森林作業道の開設など、公益的機能の維持増進のため、健全で豊かな森林づくりを推進した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策④】 「徳島県二ホンジカ適正管理計画」の達成のため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲に加え、指定管理鳥獣捕獲等事業による県が主体となったシカの個体数調整捕獲を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 「徳島県二ホンジカ適正管理計画」の達成に向け、阿南・海部海岸地域を含む県内7地区で指定管理鳥獣捕獲事業を実施した。 ■成果 県内で二ホンジカを906頭捕獲するなど、二ホンジカの個体数調整捕獲を推進した。</p>	A	鳥獣対策・ ふるさと創造課
<p>【施策⑤】 狩猟への関心を高めるため、各市町の鳥獣被害対策協議会や研修会等において情報提供を行うとともに、働く世代が狩猟免許を取得しやすいよう、日曜日に試験を実施することで、新たな狩猟人材の確保を図る。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 試験日を受験しやすい日曜日に設定し、年7回実施。各市町の鳥獣被害対策協議会や猟友会との連携を強化し、講習会等により試験概要等の周知に努めた。 ■成果 30名の狩猟人材を確保した。 ※受験者数 31名（合格者30名、合格率約97%）</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●生物多様性あなん戦略に基づき、「阿南市生物多様性ホットスポット」選定地の保全・活用の仕組みづくりについて関係者及び関係団体等と共に検討し、課題を共有する。</p>	<p>■令和2年度取組 「阿南市生物多様性ホットスポット」である伊島のササユリ保護活動について、阿南高専と連携し、伊島ささゆり保全の会の運営に参画した。ササユリ生育調査、除草作業、今までの調査結果をまとめた「伊島ササユリ保全マニュアル」の作成など、多岐にわたる活動を行った。 また、本市の豊かな生物多様性を計画的かつ適切に保全し、その持続的な利用によって本市の活性化を図ることを目的とした生物多様性あなん戦略を広報する冊子「ごっついあなん」を作成した。市民や関係団体に当市における生物多様性の保全・活用について広報するとともに第8回生物多様性フォーラム（参加者28名）では、鳴門市におけるコウノトリ保護活動の講演の後、本年度の活動紹介、課題共有等を行った。</p> <p>■成果 「ごっついあなん」や「伊島ササユリ保全マニュアル」は新聞にも取り上げられ、市民のみならず県内の各種団体からも問い合わせがあり、その資料的価値の高さが窺われ、生物多様性保護やその活用について多くの方々の関心を高めることができた。</p>	<p>阿南市</p>
<p>●「美波町ウミガメ保護条例」に基づき、「大浜海岸のウミガメ及びその産卵地」の保全を図るとともに、イベント等を通じて自然環境保護の重要性を啓発し、ウミガメと人間が共存出来る豊かな自然環境を守る。</p>	<p>■令和2年度取組 5月20日から8月20日までの間、夜間の大浜海岸への立入禁止とともに付近の車両通行禁止を行った。令和2年度はコロナ禍において、イベントの開催は中止した。同期間中にウミガメ上陸を知らせるがメールの配信やパトロールの点灯等ウミガメの上陸を周知することは中止し、監視員の観察だけ行った。</p> <p>■成果 大浜海岸での上陸産卵の実績は、3頭上陸産卵という結果であった。</p>	<p>美波町</p>

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「海陽町海部川保全条例」・「海陽町ふるさとの水を守る条例」の制定により、きれいな水環境の実現を図る。</p> <p>●竹ヶ島海中公園自然再生協議会を通じてエダミドリイシの採卵、稚サンゴ育成と移植及びサンゴ育成モニタリング調査の実施による保全・再生活動を行う。</p>	<p>■令和2年度取組 海陽町内の河川12地点において、前期・後期の年2回の水質と底質調査を行った。令和2年度において、海陽町ふるさとの水を守る審議会は開かれていない。</p> <p>■成果 調査の結果、水質について問題はなかった。底質についても、過年度と比較しても安定した底質状態で特異な点はみられなかった。</p> <p>■令和2年度取組 エダミドリイシの採卵と育成及び移植作業の実施と活動の情報発信</p> <p>■成果 ・8月エダミドリイシの採卵と育成及び11月に移植作業の実施。 ・穴喰小学校生徒及び珊瑚保全活動関係者のケーブルテレビでの情報発信映像の作成と番組放送の実施。</p>	<p>海陽町</p>

【プラン18】総合的な環境教育・環境学習の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 生活排水対策の推進

ウ 高校生等のボランティア活動への参加促進

イ 海洋漂着物や海洋プラスチックごみ問題の啓発

エ 河川を対象とした環境学習やフィールド講座の実施

プラン評価	順調
事務局所見	<p>「徳島のみずべ」の魅力を発信する環境学習やフィールド講座を実施することにより、児童・生徒の河川環境保全への意識の向上につながった。</p> <p>環境啓発については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、イベント型の環境教育が実施できなかったが、啓発資料を充実させたことにより、目標達成へ向けての手段の強化が図られた。業績指標については、環境啓発イベントの減少が影響し、目標に達しなかったものがあるが、今後とも、地域の団体と連携し、啓発の機会を的確に捉えるとともに、情報通信の活用など、イベントの有無に左右されない手法を積極的に取り入れ、環境思想の普及啓発を推進する。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
環境啓発イベント等に参加し、具体的な環境行動を宣言する人数(累計) 〈'17〉 ー → 〈'22〉 400人	ー	100人	200人	300人	400人	◎
「みなみから届ける環づくり会議」の「環境ボランティア活動証明制度」を活用した環境ボランティア受入れ団体数 〈'17〉 ー → 〈'22〉 5団体	ー	3団体	3団体	4団体	5団体	◎
牟岐少年自然の家を拠点とした自然体験・交流体験等への参加者数 〈'17〉 800人 → 〈'19~'22〉 年間900人	800人	900人	900人	900人	900人	◎
小中高校に対する森林・林業学習の実施(累計)〈再掲〉 〈'17〉 10件 → 〈'22〉 60件	10件	30件	40件	50件	60件	◎
		31件	40件			

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 地域の实情に適応した生活排水の適正処理を推進するため、水質保全に関する啓発を行うとともに浄化槽キャンペーンや浄化槽の維持管理に関する啓発・指導を実施する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 徳島県浄化槽月間（10月）において、水質保全及び浄化槽の啓発街頭キャンペーンを実施したほか、新設浄化槽設置管理者を対象に浄化槽教室を開催した。 ※浄化槽水質検査未受検者への受検指導（10月、1月） 浄化槽教室開催 4回</p> <p>■成果 受検指導により、水質検査未受検者のうち約7%が受検し、受検率の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策②】 みなみから届ける環づくり会議の水質ワーキングが中心となり、親子連れを対象とした水環境保全に関する環境教育を実施する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、イベント型の環境教育が実施できなかったが、啓発資料を作成し、周知を図った。</p> <p>■成果 啓発資料をホームページに掲載することにより、学習機会の拡大を図った。</p> <p>■新型コロナの影響 イベント型の環境教育が実施できなかった。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策③】 若年層を対象に県南の海をフィールドにした体験型イベントや講座を通じて海洋環境の現状を学び、保全のため自分たちが何ができるか考える機会を創出し、具体的な環境行動を促します。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、イベントや講座の開催ができなかったが、環境学習教材の制作に県南地域の高校生の参加を得ることにより、環境に対する関心を喚起する機会とした。 また、次のとおり普及啓発を図った。 ・ 移動啓発スポットコーナーを設置し、啓発パネルを展示。 ・ 啓発資料「徳島のきれいな海を守るために行動しよう」を作成し、県ホームページに掲載。</p> <p>■成果 環境学習教材の制作により、制作過程における関心を喚起するとともに、啓発手段を強化し、今後の普及啓発推進につなげることができた。</p> <p>■新型コロナの影響 イベントや講座の開催ができなかった。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策④】 牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 牟岐少年自然の家を拠点とし、地域の特性を生かした活動を充実させるため、運営協議会等を開催し、牟岐町渡船組合や牟岐町観光協会・漁協等、地域住民の協力を得て、様々な主催事業を実施した。</p> <p>■成果 例年以上の参加希望があったが、天候不順のため年度末の主催事業を次年度へ開催延期とした。</p>	A	教育委員会
<p>【施策⑤】 みなみから届ける環づくり会議が策定した「環境ボランティア活動証明制度」を活用して、高校生等が地域の環境ボランティアに参加しやすい仕組みづくりを推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 県南地域の高校生等に環境ボランティア活動の場を提供するため、民間企業等による環境ボランティア受入の拡大に努めた。</p> <p>■成果 受入団体数 3団体 表彰基準を満たした1名を表彰した。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑥】 豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。</p> <p>〈再掲〉</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 徳島森林管理署、南部総合県民局及び那賀町との連携・協力のもと、「労働安全衛生特別教育（チェーンソー、伐木）や刈り払い機」の資格講習の受講、スイングヤーダ・プロセッサ・フォワーダなどの高性能大型林業機械の操作体験実習を実施するなど、林業教育の充実を図った。また、地元木材加工会社と連携して、レーザー加工機等の設備を有効活用し、木工製品の商品開発に取り組んだ。</p> <p>■成果 国公立大学への進学や林業職の公務員、地域の林業関連産業への就職など、林業に関する様々な知識や技術を身に付けた人材を育成した。</p> <p>〈再掲〉</p>	A	教育委員会
<p>【施策⑦】 河川環境保全への意識啓発を行うとともに、「徳島のみずべ」の魅力を発信する環境学習やフィールド講座を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和2年度取組 小学生を対象に環境学習やフィールド講座を実施した。 （阿南管内：4校）</p> <p>■成果 河川環境保全への意識の向上につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑧】 若手林業従事者「山武者」や「もりもり」など地域林業関係者との連携を図り、小中高等学校および大学生を対象とした森林・林業体験を実施し、森林・林業への理解を深めるとともに、林業の担い手の確保につなげる。〈再掲〉 (ウ), (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 那賀町林業従事者会「山武者」や森林組合、林業事業体などのサポートを得ながら、フォレストキャンパス那賀等を活用して、那賀高校森林クリエイト科をはじめとした地域の小中高校の生徒を対象とした森林・林業体験を実施し、林業の担い手の確保につなげた。 ※R2実施回数(参加者数)：美波管内3回(92人)、那賀管内6回(136人) ■成果 コロナ禍で多人数の研修等の実施が難しい中、感染防止対策を行いながら、林業機械の操作体験や、植栽の体験研修を実施し、小中高校生に林業の知見が広められた。〈再掲〉</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑨】 県民が木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動である「木育」を推進するため、木とふれあい、木に学び、木でつながることができる「木育の拠点」を整備する。〈再掲〉 (ウ), (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部地域では、海陽町（①まぜのおかオートキャンプ内）、阿南市（②那賀川図書館内、③トヨタカローラ徳島 阿南店内）、那賀町（④地域子育て支援センター及び⑤林業ビジネスセンター内、⑥相生森林文化公園あいあいらんど）に「木育の拠点」が整備されており、木材の良さを体験できる場を提供した。（⑦阿南市役所あなんフォーラム内の木育広場については、コロナウイルス感染症対策のため閉鎖中。） また令和2年11月に、那賀町林業ビジネスセンターで「第2回木育サミットwith那賀」を、東京おもちゃ美術館をはじめ県内外の林業・木材産業関係者等が参加して開催した。 ■成果 南部地域の「木育の拠点」の利用を促進するとともに、「第2回木育サミットwith那賀」を開催したことで、「木育」への気運を高めることができた。 （南部県民局管内に累計7カ所整備）〈再掲〉</p>	A	南部総合県民局 農林水産部
<p>【施策⑩】 土地改良施設や農地等の保全及び農山漁村地域の活性化の推進に対し、理解と熱意を有する地域のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成とその活動を支援する。 (ウ), (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 農山漁村地域の活性化を図るため、那賀町、牟岐町及び美波町の4名の「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動（地域内外住民との農業体験交流の場づくりと景観保全の実施、耕作放棄地を活用したビオトープづくりによる環境整備、耕作放棄地の解消と景観作物の植栽、ワークショップ等による地域活性化）を支援した。 ■成果 「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動の支援により、農山漁村地域の活性化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●食と健康のつながり，食の大切さを学ぶ「薬食同源」を推進するため，食育キャラクター（海陽戦隊ゲンキレンジャー）による子どもへの食育啓発，関係機関とともに小学生を対象とした栽培体験授業や思春期の子どもを持つ保護者を対象とした食育講演会の実施，また，地元の主婦を対象として料理研究家を招き，地元食材を使った料理等の開発や広報誌・HPで旬の農水産物とそのレシピの紹介を行う。</p> <p>●農水産物の直産市の開催や学校給食・保健福祉施設等における地域食材の積極的利用，地産地消協力店・生産者の登録・HPでの紹介を行う。</p>	<p>■令和2年度取組 町内各保育所・幼稚園計5箇所で食育推進劇「海陽戦隊ゲンキレンジャー」を開催し，幼児への食事バランスの重要性や食の大切さを普及啓発を実施した。また，3箇所の保育所・幼稚園には食育の出前講座を年5回ずつ開催。生活リズムや食のマナーに関して等の講座を子どもの理解に合わせて媒体を活用し実施。食育だよりを作成し，保護者にも啓発を実施している。</p> <p>■成果 食育啓発劇や食育出前講座はポピュレーションとして実施しており，保育士等からは啓発があることで食への関心が高まっており，保護者にも話をおこないやすくなっているという意見をいただいている。</p> <p>●コロナ禍のため産直市未開催。</p>	<p>海陽町</p>

(2) 豊富な自然資源等の利活用

【プラン19】自然と調和したまちづくりの推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 集落で取り組む総合的な鳥獣害対策の普及	イ 公共工事における環境配慮の実施
ウ 県管理道路における道路照明灯等のLED化の推進	エ 木製（間伐材）ガードレール等の整備・修繕を推進

プラン評価	順調
事務局所見	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための共同活動（農地・農業用施設等の保全）に対し、交付金による支援を行うことで、2,997haの地域資源の保全が図られた。</p> <p>また、新規に事業を予定している農業農村整備事業3地区の事業計画作成において、「徳島県田園環境配慮マニュアル」に基づく、動植物の生育環境に配慮した事業計画を策定した。</p> <p>さらに、集落で取り組む総合的な鳥獣害対策の取組みが進んだ。</p> <p>河川の護岸においては、コンクリートブロック粗面積工法で施工するなど、自然環境に配慮した工事を実施するとともに、県管理道路においては、道路照明灯のLED化を実施した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組むモデル集落数（累計） 〈'17〉 7集落 → 〈'22〉 28集落	7集落	16集落	20集落	24集落	28集落	◎
「徳島県田園環境配慮マニュアル」に基づく事業計画策定地区数（累計） 〈'17〉 14地区 → 〈'22〉 19地区	14地区	16地区	17地区	18地区	19地区	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 侵入防止柵の設置などのハード整備とモンキードッグ育成や鳥獣を寄せ付けない環境整備などのソフト対策を組み合わせ、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策を推進する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 阿南市宮内地区では、サルの大型捕獲檻による捕獲活動により、集落全体で鳥獣被害に対する意識を高めた。美波町西山地区では、電気柵を活用した鳥獣対策研修会を実施した。牟岐町喜来地区では、鳥獣被害防止対策の研修会やスリングショットを用いたサルの追い払い活動等を実施した。那賀町では、サルの追い払いに効果的なモンキードッグの導入（1頭）が進んだ。</p> <p>■成果 令和2年度は、モデル集落を3地区で育成し、集落で取り組む鳥獣被害対策が実施された（R1：5地区、累計20集落）。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮にあたり、農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動により行われる取組みや、中山間地域等における農業生産活動を推進する取組み等を支援する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 多面的機能支払交付金を活用し、2,997haの農地に対する農業の多面的機能の維持・発揮のための地域協働活動を支援した。</p> <p>■成果 農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動が促進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
<p>【施策③】 「阿波地美栄」の消費拡大やPRを推進するとともに、未利用資源の利活用を推進する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルス感染拡大による需要減少により、阿波地美栄処理施設で拡大した在庫を県内飲食店等に提供し、「阿波地美栄まつり」、「阿波地美栄パンまつり」、「阿波地美栄カフェまつり」、「阿波地美栄カレーまつり」を開催するとともに、「阿波地美栄料理レシピグランプリ」の開催や「阿波地美栄ガイドブック」を作成し、「阿波地美栄」の消費拡大やPRを推進した。</p> <p>■成果 延べ85店舗の飲食店等で約15,000食の阿波地美栄料理が提供され、消費拡大や認知度向上につながり、阿波地美栄処理施設における処理頭数が前年比88%まで持ち直した。</p> <p>■新型コロナウイルスの影響 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、飲食店の営業縮小や外食の自粛により、シビエ食材の需要が減少し、処理施設での在庫が拡大したため、一時的に捕獲したシカ・イノシシの受入れの制限を行っていた。</p>	A	鳥獣対策・ ふるさと創造課
<p>【施策④】 景観や生物多様性など自然環境の保全を図るため、「徳島県田園環境配慮マニュアル」や「徳島県公共事業環境配慮指針」に基づき、環境負荷の少ない計画や工法を採用した公共事業に努める。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 農業農村整備事業の新規3地区において、自然環境調査に基づいた環境配慮事業計画を策定すると共に継続中の9地区で自然環境に配慮した工事を推進した。</p> <p>また、河川整備（大津田川や福井川等）において、ふとんかごや環境保全型ブロックを使用するとともに、コンクリートブロック種に粗面タイプのブロックを使用するなど、自然環境に配慮した工事を実施した。</p> <p>■成果 環境負荷の少ない計画や工法を採用した公共事業により、景観や生物多様性など自然環境の保全が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 県土整備部
<p>【施策⑤】 省エネルギー対策の推進として、県管理道路における道路照明灯等のLED化を推進する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 県管理道路において、道路照明灯のLED化を912基実施。（阿南管内215基、那賀管内422基、美波管内275基）</p> <p>■成果 省エネルギー対策の推進につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑥】</p> <p>県管理道路において、道路景観の向上のみならず、県産材（間伐材）の利用促進に効果的で、木材産業の活性化に寄与する木製（間伐材）ガードレール等の整備・修繕を推進する。</p> <p>(エ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>木製（間伐材）ガードレール等の整備・修繕に向け、調査・設計を推進した。（日和佐牟岐線）</p> <p>■成果</p> <p>県産材（間伐材）の利用促進につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●阿南市内にある水銀防犯灯のLED型防犯灯への交換を検討する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>夜間における犯罪の防止と市民の通行の安全を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯灯の維持管理及び新設を行った。</p> <p>■成果</p> <p>令和2年度は、LED防犯灯51灯を新設し、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与した。</p>	阿南市
<p>●牟岐の自然を守り、次世代継承のため、地元住民、団体などによる連携のもと、自然と共存するまちづくりに向けた環境保全活動、地域の活性化に繋がる活動を推進する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <p>県や千年サンゴと生きるまちづくり協議会と連携し、千年サンゴの保全活動を継続的に実施し、地域資源として観光振興等への活用を図った。</p> <p>■成果</p> <p>保全活動2回、環境調査1回</p>	牟岐町
<p>●田井ノ浜、恵比須浜、沿岸域や沖合ダイビングスポット、日和佐川中・上流域など、改善や拡充の余地を有する空間を再調査し、観光協会や関係住民等と連携しながら集客スポットとして再生又は創出する。</p> <p>●県猟友会が実施する研修会や狩猟免許受験費用の一定額を助成することで、新規狩猟免許取得者を確保し、有害鳥獣駆除従事組織の持続に努める。</p> <p>●ウミガメを含む生物に悪影響のある光害に対して、関係機関が連携し対策を模索する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、田井ノ浜海水浴場の開設は中止となり、恵比須浜キャンプ場についても閉鎖となるなど、アウトドアスポットも相次いで閉鎖となった。 美波町単独事業として、狩猟免許取得に要する講習会費と受験費用に対する助成を実施した。 ウミガメへの光害対策として、民間の宿泊事業者や寺院、及びテニスコート利用者にご協力いただき、照明時間の短縮を行うなど減光対策を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度における狩猟免許取得実績としては、新規に2名の狩猟有資格者が確保できた。 大浜海岸での上陸産卵の実績は、3頭上陸産卵という結果であった。 	美波町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名																		
<p>●海陽町産材活用住宅建築推進事業費補助金の対象を新築住宅だけでなく、増築・店舗・倉庫等にも対象を拡充し、町産材の活用を促進することにより、町産材の流通を活性化し、未管理森林の発生を防止し、健全で豊かな森林の維持・造成を図る。</p> <p>●町内にある防犯灯を、新設又は更新するものから、順次LED型防犯灯へと転換する。</p> <p>●有害鳥獣の計画的な駆除及び集落単位での防護施設の整備等を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 海陽町産材を活用した住宅や倉庫の建築費の補助</p> <p>■成果 申請実績なし</p> <p>■令和2年度取組 新設7基、更新40基。</p> <p>■成果 防犯灯のLED化により、明るさが向上することで安全性が高まり、さらに長寿命化、電気代の削減などの効果があった。</p> <p>■令和2年度の取り組み 有害鳥獣を計画的に駆除する。</p> <p>■成果 有害鳥獣の駆除件数 総数 986頭</p> <table border="0" data-bbox="996 630 1780 726"> <tr> <td>イノシシ（成獣）</td> <td>203頭</td> <td>（幼獣）</td> <td>16頭</td> <td>合計</td> <td>219頭</td> </tr> <tr> <td>シカ（成獣）</td> <td>702頭</td> <td>（幼獣）</td> <td>1頭</td> <td>合計</td> <td>703頭</td> </tr> <tr> <td>サル</td> <td>64頭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	イノシシ（成獣）	203頭	（幼獣）	16頭	合計	219頭	シカ（成獣）	702頭	（幼獣）	1頭	合計	703頭	サル	64頭					<p>海陽町</p>
イノシシ（成獣）	203頭	（幼獣）	16頭	合計	219頭															
シカ（成獣）	702頭	（幼獣）	1頭	合計	703頭															
サル	64頭																			

【プラン20】自然エネルギー・水素エネルギー活用の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 自然エネルギー「地産地消」プロジェクトの推進	イ 「自立分散型電源」の導入促進
ウ 水素ステーションの整備	エ 災害時電源確保モデルの展開

プラン評価	要改善
事務局所見	<p>「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の具現化に向け、産学官金による「徳島県自然エネルギー活用プロジェクトチーム」の会合を開催し、電力自給率の向上に向けて協議し、方向性を確認した。今後、各種補助金を活用し、自然エネルギー電力自給率の向上を図る。</p> <p>「川口ダム自然エネルギーミュージアム(川口エネ・ミュージー)」を核とした科学技術による人材育成や、川口ダム湖畔を中心としたスマート回廊周辺地域のにぎわい創出に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染症対策として、一時休館を行ったほか、魅力発進力のあるデジタルアート設備の一時休止や工作・実験教室等のイベント中止などにより、体験者数の目標未達に大きく影響した。一方、スマート回廊魅力発進のため、YouTube「川口ダムエネ・ミュージーチャンネル」を開設し、動画配信するなど新たな取組みを実施した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
川口エネ・ミュージー年間延べ体験者数 〈'17〉17,370人 → 〈'22〉18,500人	17,370人	17,500人	17,800人	18,100人	18,500人	△
燃料電池バスの運行 〈'17〉－ → 〈'22〉運行	－	推進	推進	推進	運行	－
		推進	推進			
エコカーを活用した電力供給に関する普及啓発の実施数 (累計) 〈'17〉5件 → 〈'22〉10件	5件	7件	8件	9件	10件	◎
		7件	8件			

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策①】 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、温室効果ガス排出削減や分散型エネルギーによる災害対策、地域の活性化等を目的として、「自然エネルギー」の導入を促進する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の具現化に向け、産学官金による「徳島県自然エネルギー活用プロジェクトチーム」により方策を検討、実施した。 今後、各種補助金等を活用し、自然エネルギー電力自給率の向上を図る。</p> <p>■成果 R3年1月に「徳島県自然エネルギー活用プロジェクトチーム」の第2回会合を開催し、電力自給率の向上に向けて協議、方向性を確認した。</p>	A	グリーン社会推進課
<p>【施策②】 川口ダム自然エネルギーミュージアム「川口エネ・ミュージー」とその周辺施設が連携し、自然エネルギー活用、先端のデジタル・ロボットテクノロジーや科学展等の体験による賑わいづくりに取り組めます。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和2年度取組 「川口エネ・ミュージー」を核とした科学技術による人材育成や、川口ダム湖畔を中心としたスマート回廊周辺地域の活性化に貢献した。また、スマート回廊魅力発信のためYouTube「川口エネ・ミュージーチャンネル」を開設し、動画配信に取り組んだ（令和2年度動画再生回数：1,997回）。</p> <p>■成果 川口エネ・ミュージー年間延べ体験者数 <目標>17,800人→<実績>6,535人</p> <p>■新型コロナの影響 新型コロナウィルス感染症対策として、一時休館を行ったほか、魅力発信力のあるデジタルアート設備の一時休止や工作・実験教室等のイベントを中止したことにより、体験者数の未達に大きく影響した。</p>	B	企業局
<p>【施策③】 地域防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立分散型電源」の導入を促進する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組 四国電力や金融機関と連携したワンストップの相談窓口を設け、県の補助金・貸付金制度に加え、国補助金の活用により、個人や事業者及び避難施設への「自立・分散型電源」の導入を支援した。</p> <p>■成果 ワンストップ相談により、「自立・分散型電源」の導入を考えている個人や事業者を支援することができた。 また、「自立・分散型電源導入促進ワーキンググループ」（R元年度創設、以下「自立・分散WG」）と連携し、R2年度に事業用自然エネルギー発電施設等に災害時の非常用電源として地域で活用する「自立・分散型電源モデル構築事業費補助金」を創設・実施し、5件の補助を実施した。</p>	A	グリーン社会推進課

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
【施策④】 地球温暖化対策の切り札となる究極のクリーンエネルギー「水素」の利活用拡大のため、「水素ステーション」の整備を促進するとともに、「燃料電池バス」をはじめ水素モビリティの積極導入を促進する。 (ウ)	■令和2年度取組 「親子で体感！『燃料電池バスモニターツアー』」を開催するなど、本県における水素モビリティ導入拡大に向けた取組みを推進した。 ■成果 県内における水素エネルギーの積極運用が図られ、地方から水素社会実現に向けた取組みが進展した。	A	グリーン社会推進課
【施策⑤】 電気自動車など次世代エコカー（EV、FCV、PHV等）の優れた蓄電・発電機能を災害時の非常用電源として有効活用するため、県及び市町村の公用車を次世代エコカーに更新するとともに、それを用いて防災拠点や避難所等へ電力を供給する取組（V2Hの設置等）を推進する。 (エ)	■令和2年度取組 「走る発電所」として災害時の非常用電源に期待されるFCVを活用し、「海陽町避難所開設運営訓練（海陽町）」をはじめとする県内イベント等で外部給電のデモンストレーションを実施するなど、普及啓発に努めた。 ■成果 普及啓発により、環境性能だけではなく、災害時の非常用電源としても有効な次世代エコカーへの理解が深まった。	A	グリーン社会推進課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
●地域の活性化とコミュニティの再生を図るため「地域自立型クリーンエネルギー発電事業」の可能性を調査する。 ●三重大学船岡教授が発明した相分離変換システムのパイロットプラントを整備しリグノフェノール及びナノセルロース・リグノフェノール複合体の製造実験を行う。 石油製品に替わる応用製品などを開発するため、リグノフェノール及びナノセルロース・リグノフェノール複合体のサンプルを製造する。	■令和2年度取組 那賀町が加盟する技術組合（LIPS）の組合員である関西化学機械製作（株）が自社製造したLNCCサンプルの組合内部での評価を行った。また、サンプルの要望が増加したLPについても、サンプル配布に向けてラボレベル機材を用いたLP新規製造プロセスの検証を実施した。 ■成果 組合内部で、LNCCをPPへ添加した結果、機械的強度がデータのばらつきはあるものの、過去の報告とほぼ同様の傾向が見られることを確認した。那賀町は、県立広島大学と共同研究にて、LP新規製造プロセスを模索し、サンプル配布製造のおよそ1/4スケール機材で残留成分の極めて少ない高品質なLPが製造可能であることを確認した。	那賀町
●町内の未利用地（工場跡地・土砂採石場跡地）等への企業による大規模太陽光発電施設の誘致や、住民への住宅用太陽光発電システム設置費用の助成制度などにより、「地域自立型クリーンエネルギー」の導入を促進する。	■令和2年度取組 海陽町住宅用太陽光発電システム設置費補助金の広報（HP及び広報誌へ記載）及び受付（問い合わせ件数約20件）を行い、クリーンエネルギーの普及促進を行った。（R2年度当初予算160,000円×7件分） ■成果 補助実績として申請件数2件で実績額320,000円（160,000円×2件分）となった。	海陽町

5 にぎわいと笑顔あふれる地域づくり

(1) 訪れたい、住み続けたい魅力的な地域の創造

【プラン21】「四国の右下ファン」の創出・拡大

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 大学生等と地域の協働による地域課題の解決
ウ サテライトオフィス誘致の加速

イ 多様化する移住・定住希望者のニーズに対応した切れ目ないサポート

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>平成27年度に設置した「『四国の右下』若者創生協議会」において、県民局と圏域内市町が一体となり移住・定住・交流促進、サテライトオフィス誘致に取り組むとともに、ホームページやSNSを活用し、地域に密着した情報を発信した。</p> <p>また、圏域を網羅する「移住アドバイザー」を配置し、市町移住相談員のスキルアップと連携強化等を推進。移住施策の現状を共有した上で、圏域として足並みをそろえた施策を展開することができた。</p> <p>さらに、サテライトオフィス開設に関心のある企業に対し、ワンストップで対応するコンシェルジュを配置し、サテライトオフィスに関する相談、視察受入れ等に一元的に対応したほか、県南における新しい働き方（ワーケーション等）を提案する動画を作成し、サテライトオフィス誘致の深化に取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、南部圏域でのフィールドワーク参加学生数は昨年度に比べ減少したが、関係が途絶えることのないよう、地域と連携したプログラムの実施や「第二のふるさと便」の提供により、地域と学生との交流促進・県南の魅力発信をすることができた。</p> <p>県南ゆかりの若者が県南で活躍する方々へのインタビューを通して、地元の魅力を発見し、将来的に地元で暮らしたいと思ってもらえるよう意識醸成を行った。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
県外からの移住者数 〈'17〉 380人 → 〈'22〉 500人	380人	350人 469人	400人 325人	450人	500人	○
県外からの移住者数(45歳未満) 〈'17〉 282人 → 〈'22〉 350人	282人	250人 349人	280人 238人	320人	350人	○
サテライトオフィスの誘致(累計) 〈'17〉 24社 → 〈'22〉 34社	24社	28社 28社	30社 30社	32社	34社	◎
南部圏域でのフィールドワーク参加学生数(延べ参加人数) 〈'17〉 535人 → 〈'22〉 500人	535人	500人 1,146人	500人 516人	500人	500人	◎

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 大学生と地域の交流による「四国の右下ファン」の創出や大学生目線による地域課題の解決を目的に、南部圏域において県内外の大学生によるフィールドワークを実施する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 県内1大学・県外2大学の学生が県南でのフィールドワーク又は県南と連携したプログラムを実施することで、地域資源の発掘や若者の発想や視点を活かした地域活性化に向けた取組みを推進した。</p> <p>■成果 参加学生は地域との交流を深めることで、地域への愛着を持つことができ、今後も地域と関わりをもつ「四国の右下」ファンを創出した。 新型コロナウイルス感染症の影響によりフィールドワークを中止する例もあったが、代わりとなる県南と連携したプログラムの実施・南部圏域を身近に感じられるグッズなどを詰め込んだ「第二のふるさと便」を提供することにより、産官学が一体となり、県南の魅力発信・交流促進への取組みを進めることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町
<p>【施策②】 「ひと」と「しごと」が好循環する持続可能な「まち」の実現に向け、県と市町で「『四国の右下』若者創生協議会」を設置し、「大学生と地域の“密な”連携・協働による関係人口の拡大・深化」、「地域ニーズに基づく人材誘致・育成による移住・定住」及び「集積を活かしたサテライトオフィスの誘致」を促進する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 ・大学生と地域の交流によって課題を解決する「県南地域づくりキャンパス事業」を実施した。 ・「HP「四国の右下」移住ナビ」や「Facebook「四国の右下」暮らし」を活用し、移住に関する情報や地域の暮らしに関する情報発信を行った。 ・移住アドバイザーによる移住相談体制の充実を図った。 ・サテライトオフィス総合窓口として、コンシェルジュを専任配置した。 ・サテライトオフィスの連携等の促進を目的とした「四国の右下」右上がり研究会を実施した。</p> <p>■成果 ・HPやFacebookで情報発信を行うことで、移住に向けた関心の醸成を図り、移住を促進した。 ・移住アドバイザーによる研修会を開催し、空き家や教育など移住施策の現状を学習・共有し、南部圏域として足並みをそろえた施策を展開することができた。 ・コンシェルジュが進出を検討している企業に対して、相談、受入れ支援を行い、サテライトオフィス誘致を促進した。 ・研究会を実施することで、サテライトオフィス同士のみならず地元企業とも連携し、新たなビジネスの創出を推進するとともに県南での新しい働き方について提案した。 以上のことから南部圏域における徳島ファンの増加、交流人口の拡大、人材環流及び地域の活性化を図ることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策③】 移住希望者を対象として、圏域内での担い手確保や新規創業を促し、働く場や地域おこし協力隊等の働き方を発信するとともに、商工関連団体との連携を強化することにより創業等をトータル支援する体制を構築、また、圏域内の生徒・学生を対象としたキャリア教育により、人材還流と地域活性化を推進する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン移住フェアで移住希望者と地域の事業所等のマッチングや情報発信を行った。 ・アドバイザー研修会において、地域おこし協力隊と情報交換を行った。 ・南部圏域にゆかりのある若者が県南部で活躍する方々へのインタビューを実施した。 ・都市部の高校生に対して県南地域で活躍する人を講師としたオンライン授業の実施したほか、都市部の高校生と県南部の高校生との交流を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン移住フェアにおいて地域ならではのやりがいのある仕事や地域で頑張る人を紹介することができた。 ・地域おこし協力隊同士の連携強化を図ることができた。 ・地元の若者が、インタビューを通して地域の魅力を知り、将来的に地元で暮らしたいと思えるよう意識醸成を図るとともに、HP等を通して、県南の魅力ある人々を全国に紹介することができた。 ・今後の都市部の生徒の受け入れに向け、フィールドワークを含め県南地域における「地域の学び」について検証することができた 	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策④】 SNSや移住者フェア等を活用し、市町の移住相談で多い相談内容である空き家や仕事に関する情報などを全国へ発信し、県南部への移住に向けた関心の醸成を行う。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「HP「四国の右下」移住ナビ」や「Facebook「四国の右下」暮らし」において、仕事や空き家などの情報提供を行った。 HPで60件、Facebookで231件の記事を掲載した。 ・農業体験や先輩移住者との対談をまとめた移住体験ツアー動画を作成し、Facebook等で公開した。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住に向けた関心の醸成を図り移住を促進した。 	A	南部総合県民局 地域創生防災部
<p>【施策⑤】 市町や移住者受入れに積極的な住民団体を対象とした移住の受入れに関する研修会を開催し、移住促進のためのスキルアップや圏域内のネットワーク化を推進する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町担当者や移住支援員に対し、移住アドバイザーを活用による研修会を5回開催した。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信の方法や空き家等の現状について共有するとともに、普段から相談しやすい関係を構築するとともに南部圏域として足並みをそろえた施策を展開することができた。 	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑥】 全国屈指の光ブロードバンド環境や地域資源を活かし、さらなる企業の誘致や新たな雇用の創出を図るため、「『四国の右下』若者創生協議会」に、ワンストップで視察相談・案内に対応する総合相談窓口（コンシェルジュ）を設置するとともに、オフィス開設に関心のある企業に対する認定制度の活用や、圏域アクティビティを組み合わせた視察ツアーの実施を行う。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 総合相談窓口としてコンシェルジュを配置し、サテライトオフィス企業や検討企業に対して相談対応、受入支援を行った。 また、南部圏域独自のサテライトオフィス認定制度を活用し、費用面・情報面の支援を行い、検討企業の進出、サテライトオフィス進出企業の定着を後押しした。 ■成果 視察受入：51団体、148人 新規認定企業数：3社</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 とくしまぐらし応援課 各市町
<p>【施策⑦】 美波町を舞台にサテライトオフィス誘致の創成期を描く映画「波乗りオフィスへようこそ」のショートムービー等を活用し、首都圏で県南の豊かな自然と新しい働き方をPRすることを通じ、主要都市に本社を置く企業における南部圏域へのサテライトオフィス進出の機運を醸成する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 南部圏域に進出しているサテライトオフィス企業を取材し、新しい生活様式導入に伴う社会変化にあわせた新しい働き方（ワーケーション等）を提案する動画を作成した。 ■成果 新しくリニューアルした「とくしまサテライトオフィス・プロモーションサイト」に作成した動画を掲載し、徳島県に興味を持つ企業に対して周知を行った。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 とくしまぐらし応援課 各市町
<p>【施策⑧】 ワーク・ライフ・バランスの向上や勤務形態の多様化に適切に対応するため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、企業の従業員や個人テレワーカーが利用できる「テレワークセンター徳島」を拠点とした企業のテレワーク導入に向けた施策を積極的に展開するとともに、テレワーカー及びテレワークコーディネーターの養成を行うことで、テレワークの普及を図る。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 「テレワークセンター徳島」では、テレワーク業務ができる「ワーキングスペース」等を備え、個人・企業の方々が利用できる環境を整備し、テレワークを導入しようとする企業向けの導入ガイドの作成やセミナーの開催、普及啓発を行うイベントを実施するとともに、雇用型テレワークの普及を図るため、テレワーク導入企業等からの相談対応、助言を行う「テレワークコーディネーター」の養成及び企業への派遣など、認知度を上げる取組みを推進し、新型コロナウイルス感染拡大を防止しながら生産性を維持する働き方として有効である、テレワークの普及啓発に取り組んだ。 ■成果 ・「テレワークセンター徳島」による令和2年度テレワーク導入企業13社 ・「テレワークコーディネーター」2名、「テレワーカー」7名養成など、テレワークの普及啓発が図られた。</p>	A	労働雇用戦略課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●移住交流支援センターの設置による、U・I・Jターン者等の受入れの整備。</p> <p>●利活用可能な空き家物件情報の把握に努める。また、定住自立圏共生ビジョンの取組内容に基づき、圏域町と連携して空き家情報の連携体制を検討した上で情報の共有に努める。</p> <p>●かもだ岬温泉保養施設内「かもだカフェ」の支援、富岡商店街での「阿南まちゼミ」への支援など、地域住民の活躍と交流により、地域の魅力を発信する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常における移住相談のほか、主にリモートでの開催となった移住フェア等に参加し、移住促進コーディネーターが中心となって相談者に対して個々のニーズに応じた情報提供を行った。 ・また、利活用可能な空き家を抽出し、所有者と交渉して阿南市空き家バンクに登録した。 ・かもだ岬温泉保養施設「かもだカフェ」の支援、富岡商店街等での「阿南まちゼミ」、「あなんまちマルシェ」の支援を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度においては、99件の移住相談があり、26件の現地案内を実施した。また、3件の空き家調査（インスペクション）を実施し、結果を「阿南市移住交流支援センター」HPに公開した。 ・「あなんまちマルシェ」の分散開催など、コロナ禍においても、地域住民の活躍と交流により地域の魅力を発信するための環境整備・充実が図られた。 	阿南市
<p>●那賀町における移住交流人口増加を図るため、移住交流推進地としてブランド化させる、プロモーション活動を実施する。また、移住・定住支援員による新規移住交流推進事業を計画・実施する。</p> <p>●移住者の増加を図るため、那賀町での田舎暮らしの魅力を情報発信するとともに、U・I・Jターンの移住希望者に対し、移住に係る障害の低減と増加する空家の有効活用を進めるべく、売買及び貸借費用の低減補助を行う。また各地域組織団体等での空家の紹介、移住者生活支援等の具体的な方法を検討する。</p> <p>●那賀町への移住希望者に対し、那賀町での田舎暮らしを体験することの出来る、「おためしハウス」を整備する。既存の空家を借り上げ、改修し、生活体験をしてもらうことにより、具体的な魅力を実感してもらいU・I・Jターン希望者の増加を促進する。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JOIN主催の移住・地域おこしフェア及び地域仕掛人市にオンライン出展し、移住相談・しごとの紹介を行なった。木沢地区に旧教員住宅を活用したおためしハウス「木沢移住支援施設」3戸を整備した。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談・しごとの紹介を行ったが直接移住には結びついてはいない。「木沢移住支援施設」は1名が入居中である。 	那賀町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●空き家バンクの内容（件数、種類）の充実と、HP,パンフレットなどで情報発信を行う。あわせて、空き家及びその地域でのモデルとなるライフスタイルの提案と受入地域のコーディネーターを育てる。</p> <p>●住宅改修に係る助成制度を創設し、移住促進を図る。</p> <p>●牟岐町に特化したソーシャル情報プラットフォーム（牟岐町アプリ）により、ユーザー登録すると自動的に牟岐第二町民になれば、牟岐町の様々な情報を受け取れるシステムを構築したので、関西・関東を中心に牟岐町ゆかりの方の加入を進め、牟岐町に興味を持っていただいた方等にも魅力情報発信を行い関係人口の増加につなげる。</p>	<p>■令和2年度取組 HPと移住定住ウェブサイト「MUGIZINE」で空き家バンク情報を掲載し情報発信を行った。牟岐町ゆかりの方への加入を勧め、牟岐人アプリに牟岐町の情報を掲載し情報発信を行った。オフィシャルとしては21件の情報を掲載。</p> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの活用 3件 ・住宅改修 3件 ・牟岐人アプリ新規登録者数 201件 ・移住定住ウェブサイト「MUGIZINE」新規アクセス者1,722人 	牟岐町
<p>●移住交流センターによる移住希望者のニーズにあった空き家情報の提供やお試し滞在施設の活用など移住交流コーディネーター及び地域づくり団体と連携し、移住の推進を図る。</p> <p>●コミュニティビジネスの創出のためのノウハウや育成のための助成を継続し、支援を行う。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、対面での移住相談会がすべて中止となるなか、コロナ禍でも可能な移住支援方法を模索しながら事業を行った。 ・事業の継続を行った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談からオンライン相談へとつなぐ流れの構築や、オンラインでのわかりやすい空き家物件の紹介、町の概要説明、既移住者との現地からのオンライン相談などの新たな取り組みにより、オンライン相談の可能性と限界を明らかにすることができた。 ・コロナ禍により地域コミュニティの維持に留まった。 	美波町
<p>●空き家を地域資源として捉え、空き家バンクの機能が最大限に発揮できるよう、積極的な情報収集及び情報発信に努めるとともに、各種助成制度により必要な支援を行いながら、移住の促進及びサテライトオフィスの誘致を図る。</p> <p>●移住体験施設を有効に活用し、まちの暮らしの体験を通して、移住を促進する。</p>	<p>■令和2年度取組 町ホームページや窓口等で空き家バンク登録物件の情報を発信し、令和2年度は新たに17件を登録した。</p> <p>■成果 合計15件（賃貸11件、売買4件）の契約が成立し、移住・定住につながった。また、空き家改修支援補助金制度を利用した空き家の改修を9件実施し、空き家の有効活用につながった。なお、移住促進及びサテライトオフィスの誘致は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言のため、誘致ができなかった。</p> <p>■令和2年度取組 神野移住体験施設の暮らし体験をHPで紹介。なお、令和2年度からは穴喰移住体験施設も入居募集が本格的にはじまった。</p> <p>■成果 移住体験施設退去者の中では、残念ながら海陽町に移住する世帯はいなかった。しかし、穴喰移住体験施設に新しく関東圏から入居するなど、入居希望者もふえている。</p>	海陽町

【プラン22】「地域の宝」を育む結婚・妊娠・出産・子育て支援

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 「道の駅」における子育て応援
ウ 安全・安心な妊娠・出産への支援

イ 出逢い・交流の場づくり, 結婚支援
エ 子育て世代の経済的・心理的負担軽減のための支援の充実

プラン評価	順調
事務局所見	<p>「道の駅」において、妊婦向け屋根付き優先駐車場スペース整備に向けた設計業務を実施した。 那賀町の「認定こども園」及び「放課後児童クラブ」の開設を支援するとともに、1市2町における「病児・病後児保育事業」を補助することにより、安心して子育てができる環境整備に資することができた。 高校文化祭の機会を利用した啓発は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、出前講座において、心と体の健康づくりに関する普及啓発・情報提供を行い、若い世代からのライフプラン教育を推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
「道の駅」における子育て応援箇所数(累計) <'17> - → <'22> 2箇所	-	1箇所 1箇所	1箇所 1箇所	2箇所	2箇所	◎
小中高校生を対象としたライフプラン教育の実施回数 (累計) <'17> 79回 → <'22> 173回	79回	113回 119回	133回 133回	153回	173回	◎
認定こども園設置数(累計) <'17> 13箇所 → <'22> 17箇所	13箇所	15箇所 15箇所	16箇所 16箇所	17箇所	17箇所	◎
放課後児童クラブの設置数(累計) <'17> 18クラブ → <'22> 30クラブ	18クラブ	30クラブ 28クラブ	30クラブ 28クラブ	30クラブ	30クラブ	◎

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 少子高齢化対策の一環として、既存の「道の駅」に子育て世代を応援する施設の整備を推進する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 「道の駅もみじ川温泉」において、妊婦向け屋根付き優先駐車場スペース整備に向けた設計業務を実施した。 ■成果 子育て世代を応援する施設整備の着実な推進につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策②】 「とくしまマリッジサポートセンター（略称：マリッサとくしま）」を拠点とし、地域の特色を活かした魅力ある婚活イベントを開催するなど、市町等と連携し独身者に出逢いの機会を提供し、結婚を支援する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 結婚したい独身者の希望を叶えるため、「マリッサとくしま」を拠点とし、ICTや縁結びボランティアを活用した、きめ細やかな支援を実施した。 また、南部圏域では、阿南市において出張登録会を開催し、会員の増加に努めた。 ■成果 市町等と連携した結婚支援の取組につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策③】 不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 医療保険が適用されない体外受精・顕微授精に要する不妊治療費の一部助成を実施。R3年1月1日以降は助成対象・助成金額が拡大している。 ※R2年度助成件数 107件 ■成果 申請者の経済的負担軽減が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策④】 小中高校生を対象に安全安心な妊娠・出産につながる心と体の健康づくりに関する基本的な正しい知識の普及啓発、情報提供等を行い、若い世代からのライフプラン教育を推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会や高校文化祭での普及啓発活動は実施できなかった。たばこやアルコールの出前講座により、心と体の健康づくりについて健康教育を行うなど、若い世代からのライフプラン教育の推進に努めた。 ■成果 R2年度 14回 次代を担う若い世代が自分や相手の心と体の健康に関心を持つ機会とすることができた。 ■新型コロナの影響 講演会や高校文化祭での普及啓発活動は実施できなかった。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑤】 乳幼児等の疾病の早期発見と早期治療を促進するとともに、安心して子どもを産み育てられるよう、市町が実施する子どもはぐくみ医療費助成事業に対して助成する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 管内1市4町に助成を行い、子どもの健全な発育の促進と、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努めた。 ■成果 子育てにおいて安心して医療にかかることができ、子どもの健全な発育の促進が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑥】 人生経験の豊富な高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力の強化が図られることから、圏域内の子育て活動を実施しているシニア団体を支援する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 子育て支援活動を行うシニア団体を表彰した。 ■成果 子育て支援活動への協力意欲を高め、地域の子育て力の強化につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策⑦】 すべての子どもに適切な保育を保障し、質の高い幼児教育を提供できる認定こども園の設置を促進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 那賀町のわじきこども園及びあいおいこども園の開設（R3年4月）に係る支援を行った。 ■成果 質の高い幼児教育を提供できる環境整備につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策⑧】 昼間に保護者が家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を確保する放課後児童クラブの拡充を図るとともに、放課後児童クラブ利用料無料化制度を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、開設及び運営等の補助を行った。 ■成果 安心して子育てができる環境整備につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策⑨】 短期のパートタイム就労など、子育て家庭の様々なニーズに合わせ、より一層利用しやすくなるよう、一時預かりサービスの拡充を図る。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 保護者の勤務形態の多様化に伴うニーズに応じた一時預かりサービスを提供する市町村に対し、補助を行った。 ■成果 安心して子育てができる環境整備につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策⑩】 経済的負担軽減するため、保育所・幼稚園等保育料無料化制度を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 保育所等における第3子以降の保育料無料化の支援が、1市4町全域で実施された。 ■成果 多子世代における経済的負担の軽減につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策⑪】 子育て環境の多様なニーズに対応するため、病児・病後児預かりの受け入れ体制の強化を促進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 病児・病後児保育事業を行う1市2町に対し補助を行った。残りの2町についてもファミリー・サポート・センターにおいて病後児預かりの体制が図られた。 ■成果 安心して子育てができる環境整備につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策⑫】 保育所を利用せず、在宅で育児をしている家庭の負担を軽減するため、様々な子育て支援サービスを利用できるクーポンを交付する事業に取り組む市町村に対して助成する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 在宅で0歳から2歳までの乳幼児を育児する家庭の負担を軽減するため、子育て支援サービスの利用料の支払いに使用できるクーポンを交付する市町村に対し、補助を行った。 ■成果 在宅で育児をしている家庭の負担軽減につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●子育て支援施策や家庭づくり等の情報提供・発信を行う。</p>	<p>■令和2年度取組 那賀町園小連携推進協議会において、入学準備リーフレットを作成し、令和3年3月に小学校入学家庭へ配布を行った。</p> <p>■成果 町内こども園と小学校が連携し、入学時の家庭のサポート等をお知らせすることにより、小学校の新生活が順調に行える環境をつくる。</p>	那賀町
<p>●特別支援連携協議会を中心に関係機関と連携し、幼少時から就労に至るまでの支援体制の強化を図る。</p> <p>●子育て支援事業としてファミリーサポートセンター事業を推進するとともに、事業の中で子どもたちと地域住民との交流の場を設ける。</p>	<p>■令和2年度取組 特別支援連携協議会を中心として個々のケース会議の実施等、専門機関と連携し支援に繋げるとともに、本町にはない高校までの見守り支援体制も構築している。</p> <p>■成果 小学校ケース会議 3件 中学校ケース会議2件 高校生ケース会議1件により家庭でのフォローの仕方等アドバイスをもらうことで安心してもらった。</p> <p>■令和2年度取組 ファミリーサポートセンターの事業周知のため保育園等で広報活動を実施。</p> <p>■成果 ファミリーサポートセンターの活動件数111件。</p>	牟岐町
<p>●子育て世代包括支援センターの設置に向けた検討を進める。</p> <p>●多様な出産・子育て支援制度の充実と情報発信を行う。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月子育て世代包括支援センターを開設した。 子どもはぐくみ医療費助成事業の対象者の所得制限を撤廃した。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉・こども園・学校・地域等各関係機関と連携し、切れ目のない支援に努めた。 子どもはぐくみ医療費助成事業の対象者の拡大に繋がった。 	美波町
<p>●海陽町婚活実行委員会（コンカローレ海陽）主催による、地域資源を活かした婚活イベントを開催するとともに、とくしまマリッジサポートセンターと連携して、独身男女に出会いの場を提供し、婚姻率の向上を図ることにより、移住・定住を促進する。</p> <p>●子育て世帯が交流や相談できる機会を充実させ、子育て世帯が相互間また、子育て支援機関とのつながりを深めることにより、子育てしやすいまちづくりに取り組む。</p>	<p>●南阿波定住自立圏連携事業として、1市4町共同での婚活イベント開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント中止。海陽町婚活実行委員会でのイベント開催もなし。</p> <p>■令和2年度取組 海部庁舎3階に開所している子育て支援センター「あのね」では、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所として、子育てについての相談、情報の提供、助言を行い、親子で楽しめるイベントも企画・実施しました。</p> <p>■成果 令和2年度の実績は、延べ1,806人の利用</p>	海陽町

(2) だれもがいきいきと暮らし、かがやく地域の創造

【プラン23】「地域の絆」によるまちづくりの推進

徳島県南部圏域振興計画第5章

ア 地域コミュニティの活性化	イ 精神障がい者ピアサポーターの養成・活動支援
ウ 障がい者の自立支援の推進	エ 生活困窮者の自立支援
オ 地域の共同活動促進による農地や農業用水等の保全	カ 企業・大学・NPOとの協働による農山漁村集落の活性化
キ 住民団体や企業等と連携した公共施設の新たな維持管理の推進	

プラン評価	要改善
事務局所見	<p>県民局所管のNPO法人に対し、積極的に情報提供を行い、官民協働・連携の推進を図った。</p> <p>農地等においては、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための共同活動（農地・農業用施設等の保全）に対し、交付金による支援を行うことで、2,997haの地域資源の保全が図られた。</p> <p>県管理河川・道路において、官民協働で約18haの草刈りを実施し、「新たな維持管理システム」づくりにつながった。</p> <p>精神障がい者ピアサポーターによる交流会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しており、交流の機会が持てなかった。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'20(R2)達成度
精神障がい者ピアサポーターによる交流会等の実施回数 (累計) <'17> - → <'22> 9回	-	1回	3回	6回	9回	△
農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組む 地区面積 <'17> 3,075ha → <'22> 3,000ha	3,075ha	3,000ha	3,000ha	3,000ha	3,000ha	◎
		3,022ha	2,997ha			

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】</p> <p>NPO法人等の充実した活動の展開及び地域住民の社会貢献活動への参加・参画の促進を図り、NPO法人等市民活動団体の活性化と官民協働・連携の推進を図る。</p> <p>(ア)</p>	<p>■ 令和2年度取組</p> <p>未来創生政策課、とくしま県民活動プラザと連携し、県民局管内のNPO法人等の活動の支援や活性化への支援を図った。</p> <p>■ 成果</p> <p>NPO法人1団体の設立認証をした。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 人生経験の豊富な高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力の強化が図られることから、圏域内の子育て活動を実施しているシニア団体を支援する。 〈再掲〉 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 子育て支援活動を行うシニア団体を表彰した。 ■成果 子育て支援活動への協力意欲を高め、地域の子育て力の強化につながった。 〈再掲〉</p>	A	次世代育成・青少年課
<p>【施策③】 県健康福祉祭において地域における高齢者が参加しやすい環境を整備するとともに、高齢者の生きがいと健康づくりをさらに推進し、より多くの「元気高齢者づくり」を目指すため、「県南部、県西部サテライト大会」を開催する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 高齢者の生きがいと健康づくりのスポーツの祭典として、県内に広く定着している県健康福祉祭を、県南部地域や県西部地域の高齢者がより身近で参加しやすい大会とするため、南部・西部サテライト大会を実施。 ○南部サテライト大会 ・日時：令和2年10月3日ほか ・会場：那賀川河川敷明見グラウンドほか ・参加者数：196人（種目：ゲートボールほか） ■成果 生涯スポーツへの機運醸成が図られたとともに、高齢者の健康と生きがいづくりの広域的な交流の機会を創出することができた。 ■新型コロナの影響 参加対象者が高齢者であることから、競技団体の判断によりやむを得ず中止となった種目もあったが、できる限りの感染対策を講じた上で競技団体と連携し、一部の種目を実施することができた。 ○中止となった主な種目 ※（）は令和元年度参加者数 ・グラウンド・ゴルフ（449人） ・ディスコン（75人） ・ラダーゲッター（72人）</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 ダイバーシティ推進課
<p>【施策④】 地域の医療・福祉機関等と連携し、精神障がい者ピアサポーターの養成・支援体制を整備する。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 ピアサポーターによる研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ■成果 なし（実施形態等を検討） ■新型コロナの影響 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p>	C	南部総合県民局 保健福祉環境部

<p>【施策⑤】 障がい者が高齢者等に対し、日用品等の移動販売や見守り活動を行うことにより、働く意欲と特性に応じ活躍できる場を創出し、地域に貢献する活動の推進を図る。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 「障がい者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない”事業」として、中山間地の高齢者等への買い物支援や見守り活動の支援のため、移動販売車導入を支援した。 ■成果 その結果、阿南市、海部郡（牟岐町、美波町、海陽町）において、障がい者等が移動販売による地域の見守り活動等を実施した。</p>	A	障がい福祉課
<p>【施策⑥】 生活保護受給者をはじめ生活困窮者の自立を促進するため、ハローワーク等関係機関と連携して就労支援を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 生活保護受給者の稼働年齢層（15歳から64歳）の中から就労可能な28人を選定し、重点的に就労支援を行った。 ■成果 10人が就労を開始し、うち9人が保護脱却に至った。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部
<p>【施策⑦】 土地改良施設や農地等の保全及び農山漁村地域の活性化の推進に対し、理解と熱意を有する地域のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成とその活動を支援する。〈再掲〉 (オ)</p>	<p>■令和2年度取組 農山漁村地域の活性化を図るため、那賀町、牟岐町及び美波町の4名の「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動（地域内外住民との農業体験交流の場づくりと景観保全の実施、耕作放棄地を活用したピオトープづくりによる環境整備、耕作放棄地の解消と景観作物の植栽、ワークショップ等による地域活性化）を支援した。 ■成果 「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動の支援により、農山漁村地域の活性化が図られた。〈再掲〉</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
<p>【施策⑧】 過疎化や高齢化に悩む農山漁村集落と、社会貢献・地域貢献の一環として農山漁村地域を応援したい企業・大学・NPOとの協働による農山漁村の活性化に係る活動を「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」により支援する。 (カ)</p>	<p>■令和2年度取組 「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」により応援を求める農山漁村集落と協働パートナーとの協働による農山漁村地域の維持保全活動を支援する予定であった。 ■成果 南部管内では活動が実施されなかった（県全体では17件実施）。 ■新型コロナの影響 新型コロナの影響により、南部管内では活動実施に至らなかった。</p>	C	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
<p>【施策⑨】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮にあたり、農地・農業用水等の保全のため、地域の共同活動により行われる取組みや、中山間地域等における農業生産活動を推進する取組み等を支援する。（再掲） (キ)</p>	<p>■令和2年度取組 多面的機能支払交付金を活用し、2,997haの農地に対する農業の多面的機能の維持・発揮のための地域協働活動を支援した。 ■成果 農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動が促進された。（再掲）</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑩】 地域住民の河川・道路敷地の草刈り活動を支援し、その取り組みを一層促進するため、公共施設の新たな維持管理を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(キ)</p>	<p>■令和2年度取組 県管理河川・道路において、官民協働による草刈りを実施した。 (阿南管内：河川21団体・97,870㎡、道路6団体・16,500㎡) (那賀管内：道路6団体・42,594㎡) (美波管内：河川1団体・1,500㎡、道路9団体・25,800㎡)</p> <p>■成果 公共施設の「新たな維持管理システム」づくりにつながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部
<p>【施策⑪】 ワーク・ライフ・バランスの向上や勤務形態の多様化に適切に対応するため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、企業の従業員や個人テレワーカーが利用できる「テレワークセンター徳島」を拠点とした企業のテレワーク導入に向けた施策を積極的に展開するとともに、テレワーカー及びテレワークコーディネーターの養成を行うことで、テレワークの普及を図る。〈再掲〉</p> <p style="text-align: right;">(キ)</p>	<p>■令和2年度取組 「テレワークセンター徳島」では、テレワーク業務ができる「コワーキングスペース」等を備え、個人・企業の方々が利用できる環境を整備し、テレワークを導入しようとする企業向けの導入ガイドの作成やセミナーの開催、普及啓発を行うイベントを実施するとともに、雇用型テレワークの普及を図るため、テレワーク導入企業等からの相談対応、助言を行う「テレワークコーディネーター」の養成及び企業への派遣など、認知度を上げる取組みを推進し、新型コロナウイルス感染拡大を防止しながら生産性を維持する働き方として有効である、テレワークの普及啓発に取り組んだ。</p> <p>■成果 ・「テレワークセンター徳島」による令和2年度テレワーク導入企業13社 ・「テレワークコーディネーター」2名、「テレワーカー」7名養成など、テレワークの普及啓発が図られた。〈再掲〉</p>	A	労働雇用戦略課

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●NPO法人との連携を図りながら、ボランティア活動の活性化を図るための情報提供や、活動支援を行う。</p> <p>●利活用可能な空き家物件情報の把握に努める。また、定住自立圏共生ビジョンの取組内容に基づき、圏域町と連携して空き家情報の連携体制を検討した上で情報の共有に努める。〈再掲〉</p> <p>●阿南市内各地域の伝統芸能、伝統文化を掘り起こし、共有の財産として後世に引き継ぐための施策を展開するとともに、広報あなんやSNSの活用により各地域の祭りなどの行事を広く市民にPRする。</p>	<p>■令和2年度取組 ・ふるさとづくり基金を活用し、阿南市の活性化及び地域の振興を推進する事業に助成を行った。 ・利活用可能な空き家を抽出し、所有者と交渉して阿南市空き家バンクに登録した。〈再掲〉 ・阿南市に200年以上前から伝わる阿波人形浄瑠璃の人形座「中村園太夫座」に活動補助金を交付し、広く一般に周知するための公演を1月31日に実施した。</p> <p>■成果 ・市内3団体に補助金を交付し、阿南市の活性化に寄与するとともに、魅力あふれる地域づくりを実践する気風を醸成した。 ・3件の空き家調査（インスペクション）を実施し、結果を「阿南市移住交流支援センター」HPに公開した。〈再掲〉 ・伝統文化の継承がなされると共に、本市における貴重な文化遺産の振興が図られた。</p>	阿南市

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●コミュニティの維持・活性化のほか、産業の振興や後継者育成など地域にあった活動を実施するまちづくり協議会に対して必要な支援を行い、地域の特性を活かしながら、住みよいまちづくりを目指すことを推進する。</p> <p>●文化事業として、町内に多く存続する農村舞台で、「丹生谷清流座」などが人形浄瑠璃を公演する。昨年、襖からくりの修繕を行った辺川神社農村舞台も加え現在、公演が行える舞台（八面、拝宮、川俣、北川、辺川、鎌瀬、坂州）の7カ所の農村舞台を活用し、人形浄瑠璃を上演する。また、人形浄瑠璃以外の利用について模索する。</p>	<p>■令和2年度取組 コミュニティ助成事業を活用し、土佐集会所新築工事を行った。和無田部落御神輿修理を行った。また、町内まちづくり協議会12団体に対しての補助を行った。</p> <p>■成果 土佐集会所新築工事により、土佐地区住民が集まる場が出来たことに地区の活性化が図られた。和無田部落御神輿を修理することにより、地区のお祭りが活性化された。また町内まちづくり協議会に補助を行うことにより、各団体の住民が交流が図られ、活性化が図られた。</p> <p>■令和2年度取組 コロナ禍により殆どの農村舞台公演が中止となったが、農村舞台を活用した音楽公演を丹生谷清流座が主催者となり、リモートにより公演を行った。</p> <p>■成果 コロナウイルス感染症の影響を受けたため評価しがたい。</p>	那賀町
<p>●出羽島集落において、重伝建事業による町並み保存と空き家の多角的有効活用を並行して実施し、行政・地域・地域住民の受け入れ体制整備を推進する。</p> <p>●空き家を活用した交流施設の活用を実施する。</p>	<p>■令和2年度取組 重伝建事業としては年間2件の修理・修景を継続実施することで出羽島の町並み保存を図っている。</p> <p>■成果 修理3件完了。</p> <p>■令和2年度取組 出羽島交流施設「波止の家」で来島者の休憩や島の案内、また、観光協会と連携した地元婦人会による食事提供を行い来島者と島民が交流している。</p> <p>■成果 令和2年度来館者数107人。</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●定住促進対策条例，小規模事業起業支援制度等の有機的連携を通じ，空き家や空き店舗等の再生による小さな経済の創出と集積による地域活性化に取り組む。</p> <p>●少子高齢化が進行する地域において，介護予防をはじめ地域の見守り等に取り組む地域づくり団体を支援する。また，既存公共施設（美波町高齢者福祉センター）を改修し，高齢者をはじめ子ども等が気軽に集い，地域で支え合う拠点整備に取り組む。</p> <p>●地域コミュニティの維持，活性化のための地域おこし協力隊事業や地域づくり団体への各種支援を実施すると共に長期にわたる活動の実証や検証を行う。</p> <p>●にぎやかな過疎→「にぎやかそ」のブランド化と魅力あるまちづくりに向け，町と住民が一体となり取り組む。</p>	<p>■令和2年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進対策条例，小規模事業起業支援制度等の有機的連携を通じ，空き家や空き店舗等の再生による小さな経済の創出と集積による地域活性化に取り組む。 ・遊休施設であった美波町由岐老人福祉センターの1階部分を活用した「まったりカフェ・みなみ」をオープンして4年が経過した。飲み物や軽食を振る舞って地域の独居高齢者らの憩いの場として定着していたが，令和2年度は，新型コロナウイルス感染症対策のため，お弁当の宅配方式も取り入れ，感染予防に努めながら高齢者の介護予防に務めた。 ・地域おこし協力隊を町内各種団体等に4名配置し，観光，移住，産業育成等地域活性化に取り組んだ。 ・美波町と住民が一体となり「にぎやかそ」のブランド化を図るため，「にぎやかそ」の定義及び使い方の整理を行うと伴に，毎月発行される自治体広報誌にて「にぎやかそ」の取組例を紹介し住民への理解を図った。 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度には4件小規模事業起業支援制度を利用している。その内の2件は定住促進対策条例も併用し，飲食店をオープンした。他の2件は，飲食料品小売店・旅行業をオープンした。 ・お弁当の宅配を行うことで，介護予防や見守りに繋げることができた。 ・他地域からきた協力隊員による新たな発想などこれまでにない取り組みも図られた。 ・自治体広報誌にて「にぎやかそ」の取組例を紹介したことで，「にぎやかそ」に対する住民への理解が深まった。 	<p>美波町</p>

<p>●海陽町元気になる「和」条例の基本理念の1つである「活力ある地域づくり」実現するため、「海陽町集落右上がり事業」による、農水産物の出荷支援等の農水業振興と同時に買い物弱者対策及び高齢者の見守りサービスを行い、農山漁村の活性化を図る。</p> <p>●地域おこし協力隊事業を活用し、地域コミュニティの維持・活性化を図る。</p> <p>●耕作放棄地解消に向け、企業、NPOなどを含めた観光農業、グリーンツーリズムなどの多面的な取組みを推進する。また、農用地としての利用が困難な場合は、太陽光発電施設用地等としての利用など、耕作放棄地の有効活用を図る。</p>	<p>■令和2年度取組 海陽町集落右上がり事業による農産物の出荷支援及び、高齢者の見守りサービスを行った。</p> <p>■成果 出荷支援額として、7,087千円の実績</p> <p>■令和2年度取組 地域おこし協力隊事業では、地域の産直市である「すぎのこ市場」で、地域特産物を利用した新商品の開発やふるさと納税返礼品選定等を行った。</p> <p>■成果 地域特産物に付加価値がつくことで、地域産業の活性化や生産者間での地域コミュニティが活性化された。</p> <p>■令和2年度取組 徳島県農地中間管理機構を通じて、農地を集積した。</p> <p>■成果 貸主登録 38件 マッチング件数 2件</p>	<p>海陽町</p>
---	---	------------

【プラン24】だれもがかがやく未来に向けた学びの場の確保

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 県立総合大学校南部校主催講座の充実・利便性向上
ウ 「牟岐少年自然の家」体験活動拠点化の推進

イ 人口減少に対応した小中一貫教育の推進
エ 高等教育機関との連携強化

プラン評価	順調
事務局所見	<p>県立総合大学校南部校において、大規模災害に備えるため、地域防災力の向上を図る「防災講座」や、地域の魅力を再発見するとともに魅力を次の世代へ伝えていくことを目指した「南部の魅力再発見講座」、南部圏域で活動する学生による発表を実施するなど、受講者が南部圏域の地域課題について考え、学ぶ機会を提供することができた。</p> <p>県立牟岐少年自然の家で県内中学生と県内ALTが英語を通して交流する「世界に飛び出せ！イングリッシュキャンプ」、那賀高校森林クリエイト科における、国、県、町が連携した林業教育など、地域資源を活かした人材育成に取り組んだ。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'20(R2)達成度
県立総合大学校南部校主催講座数 〈'17〉12講座 → 〈'22〉20講座	12講座	20講座 25講座	20講座 22講座	20講座	20講座	◎
牟岐少年自然の家を拠点とした自然体験・交流体験等への参加者数(再掲) 〈'17〉800人 → 〈'19~'22〉年間900人	800人	900人 857人	900人 850人	900人	900人	◎

主要施策・主要事業	令和2('20)年度実施状況及び成果	評価	担当
<p>【施策①】 県立総合大学校南部校において、圏域の特性を活かした講座を充実させ、将来を担う人材の育成を図る。 (ア)</p>	<p>■令和2年度取組 県立総合大学校南部校において、大規模災害に備えるため、地域防災力の向上を図る「防災講座」や、県民が地域に愛着と誇りを持ち、地域の魅力を再発見するとともに魅力を次の世代へ伝えていくことを目指した「南部の魅力再発見講座」を実施した。</p> <p>■成果 南部圏域における地域の文化・自然に関する講座を実施したほか、地域に根付き、次世代の担い手となる人材を育成する。</p>	A	南部総合県民局 地域創生部

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策②】 県立総合高等学校の主催講座等をオンデマンド配信するなど、県民の生涯学習に関する利便性の向上や学習機会の充実を図る。 (ア)</p>	<p>■令和2年度の取組 県立総合高等学校のホームページにおいて、ワンストップサービスによる総合高等学校の講座情報の提供や、主催講座のインターネット配信などを行った。 また、コロナ禍においても、「ニューノーマル」に対応するため、オンライン講座を導入したり、自宅などに居ながら総合高等学校の単位を取得できる「放送・ネット活用講座」を実施した。</p> <p>■成果 コロナ禍においても、県民の生涯学習に関する利便性の向上や学習機会の充実が図られた。</p>	A	県立総合高等学校本部
<p>【施策③】 大学との連携による地域の課題解決や活性化を図るため、「大学等サテライトオフィス開設支援制度」を活用し、大学のサテライトオフィスを誘致し、地域に密着した教育・研究活動や地域貢献活動を支援する。 (ア)</p>	<p>■令和2年度の取組 高等教育機関との連携を強め、5大学（徳島大学、鳴門教育大学、徳島文理大学、明治大学、神戸学院大学）が、4市町（阿南市、那賀町、美波町、海陽町）に7箇所のサテライトオフィスを設置しており、「地域住民を対象とした勉強会」や「地域の教員に対する相談業務」など、地域貢献活動を行う際の拠点として活用された。</p> <p>■成果 県内外の大学のサテライトオフィスの誘致を通じ、大学の有する知的・人的資源や社会貢献機能を活用して、地域の人材育成や課題解決が推進された。</p>	A	県立総合高等学校本部
<p>【施策④】 急激に人口減少が進む中、小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保障するという「小中一貫教育（徳島モデル）」を県内に普及するため、県南部においてICTを活用した合同授業等に取り組む。 (イ)</p>	<p>■令和2年度取組 令和2年度とくしま行動計画及び徳島県教育振興計画における小中一貫教育実践地域の目標値であるパッケージスクール3地域、チェーンスクール8地域については、達成した。また、県南部の阿南市立椿町中学校区においては、3校（椿小学校、椿泊小学校、椿町中学校）をつないだテレビ会議システムを活用し、合同防災学習やさまざまな交流活動を行い連携を図った。</p> <p>■成果 令和2年度は京都の大学とオンラインで合同防災学習を実施するなど、継続的なシステム活用により、学習の成果も上がっている。</p>	A	教育委員会
<p>【施策⑤】 牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を推進する。〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 牟岐少年自然の家を拠点とし、地域の特性を生かした活動を充実させるため、運営協議会等を開催し、牟岐町渡船組合や牟岐町観光協会・漁協等、地域住民の協力を得て、様々な主催事業を実施した。</p> <p>■成果 例年以上の参加希望があったが、天候不順のため年度末の主催事業を次年度へ開催延期とした。〈再掲〉</p>	A	教育委員会

主要施策・主要事業	令和2（'20）年度実施状況及び成果	評価	担 当
<p>【施策⑥】 外国人との交流や体験活動の機会を提供する際に、県南施設や観光資源などを有効活用し、小・中・高校生を対象にした英語によるキャンプ等を実施し、グローバル人材育成の取組みを行う。 (ウ)</p>	<p>■令和2年度取組 令和2年11月29日（日）、県立牟岐少年自然の家で県内中学生37名を対象に、県内ALT8名と英語を通して交流する「世界に飛び出せ！イングリッシュキャンプ」を実施した。大学教授によるアイスブレイキングプログラムや小グループでのオリエンテーリング（グリーンアドベンチャー）を通して、参加者同士が積極的に交流し、グローバル人材育成の取組となった。新型コロナウイルスへの感染予防の観点から、日帰りプログラムとした。</p> <p>■成果 県南での自然体験を通して、同世代の生徒同士や外国人とのコミュニケーションが活発になり、短期間ではあったが、新しいことに積極的に挑戦しようとする意欲が見られるなど、グローバル人材の育成が促進された。</p>	A	教育委員会
<p>【施策⑦】 豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。〈再掲〉 (エ)</p>	<p>■令和2年度取組 徳島森林管理署、南部総合県民局及び那賀町との連携・協力のもと、「労働安全衛生特別教育（チェーンソー、伐木）や刈り払い機」の資格講習の受講、スイングヤード・プロセッサ・フォワードなどの高性能大型林業機械の操作体験実習を実施するなど、林業教育の充実を図った。また、地元木材加工会社と連携して、レーザー加工機等の設備を有効活用し、木工製品の商品開発に取り組んだ。</p> <p>■成果 国公立大学への進学や林業職の公務員、地域の林業関連産業への就職など、林業に関する様々な知識や技術を身に付けた人材を育成した。 〈再掲〉</p>	A	教育委員会

市・町関連施策	令和2（'20）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●大学との共同研究により、建築に携わる学生の人材育成を兼ねて空き家の利活用を進める。</p> <p>●大学生、高校生、中学生が主体となり、多様な学びの場づくりに取り組み、地域住民や外部支援者等との交流を通じて町を担う人材を創出する。</p>	<p>■令和2年度取組 徳島大学建築サークルAUT及び地域の方々（かいふの木の家、大工さんなど）と協働で、牟岐町所有の旧民宿船戸荘の利活用を行った。</p> <p>■成果 全5回のWSを行い地域の方々の指導の下、家具の製作、周辺の環境整備、里山体験、浴室の改修など、大学のサテライトオフィスの完成という目標を掲げ、地域の方々との交流を深めることができた。</p> <p>■令和2年度取組 令和2年度、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、来町可能な県内大学生には対面で、県外大学生とはリモートで小・中学生に向けた多様な学びの場づくりを継続実施。地域住民からの支援も受けながら子どもたちへ郷土愛を育む事業を実施している。</p> <p>■成果 コロナ禍でできる限り実施したことで関係人口の目標はほぼ達成している。</p>	牟岐町
<p>●門前町の再生、道の駅の魅力向上や新商品開発、南海トラフ地震・津波対策や事前復興まちづくり計画、点在集落の持続と活性化など、多様な分野において、それぞれ専門性を有する大学や研究者、学生等との連携を深める。</p>	<p>■令和2年度取組 門前町のほか、まち中再生における神奈川大学との連携では、設計士が美波町に駐在し活動をおこなった。</p> <p>■成果 新型コロナの影響により、学生の来町が困難であったため業務の縮小並びに中止を余儀なくされたなかで、これまでの研究を深度化することで、より理解を深めることができた。</p>	美波町
<p>●豊かな自然と地域資源（ストック）を活かして、教育機関と連携し、「山村留学」による小中学生の受け入れを実施する。</p> <p>●地域、大学及び行政の連携の下、地域をキャンパスに大学が授業を実施し、若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化のための取組みを図る。</p>	<p>●新型コロナウィルス感染症による蔓延防止措置により、「山村留学」事業は行われなかった。</p> <p>●新型コロナウィルス感染症による蔓延防止措置により、キャンパス事業は行われなかった。</p>	海陽町

